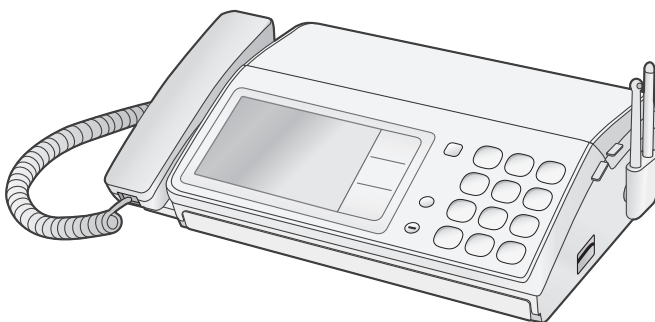
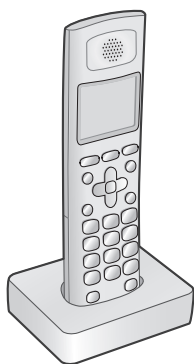


SHARP®

デジタルコードレスファクシミリ 取扱説明書

[ファッピ:]
fappy*
FAX makes it happy.

形名 ユーエックス シー エル
UX-900CL (子機 1台タイプ)
ユーエックス シー ダブル
UX-900CW (子機 2台タイプ)



技術基準適合品

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

- ・この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に「安全に正しくお使いいただくために」(☎7ページ)を必ずお読みください。
- ・この取扱説明書は、いつでも見ることができるところに必ず保存してください。

別売品・消耗品

＜ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください＞
別売品・消耗品は当社の純正品や指定品をお使いください
(詳しくは ☎137ページ)。

品名	形名	サイズ	希望小売価格 (税抜価格)
ファクシミリ用普通紙	PP110MA4	A4サイズ (250枚)	630円 (600円)
インクリボン (お買いあげ時にセットされて いるインクリボンはお試し用 です。お早めに新しいインク リボンをお買い求めください)	UX-NR8G	A4幅×33m 1本	1,312円 (1,250円)
	UX-NR8GW	A4幅×33m 2本1組	2,415円 (2,300円)
デジタルコードレス子機用 充電電池(ニッケル水素充電電池)	M-003		1,680円 (1,600円)

こまったときは

本機が正しく動かないなど
お困りのときは、

116~136ページ
をご覧ください。



もくじ

ご使用前に
電話・電話帳

留守番電話

ファクス

印刷・コピー

SDカード

便利な機能

ナンバー・
ディスプレイ

こまったときは

ご参考に

さくいん

ND ナンバー・ディスプレイ対応
ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ

※NTTへのサービス申し込みが必要です(有料)。

ナンバー・ディスプレイサービスのお問い合わせは
局番なしの**116番**へ



ニッケル水素電池の
リサイクルにご協力ください。

こんなときはご確認ください

本機のご使用に関して、困ったことがある場合には、以下のページをご確認ください。

電話 について

- 電話がかけられない
 - 回線種別を変更 (☞ 23ページ)
 - それでも改善しないときは (☞ 116ページ)
- 着信音が鳴らない (☞ 120ページ)



ファクス について

- 送れない (☞ 119ページ)
- 受けられない (☞ 120ページ)



コピーや印刷 について

- 印刷できない (☞ 121ページ)
- 印刷した画像が汚い (☞ 121ページ)
- 記録紙に白や黒の線が入る (☞ 126ページ)
- 原稿や記録紙がつまった (☞ 127ページ)
- インクリボンがなくなった (☞ 134ページ)



子機 について

- 使えない (☞ 121ページ)
- 子機の通話中に雑音が入ったり、声途切れたりする
 - 設置場所を確認する (☞ 10ページ)
 - それでも改善しないときは (☞ 11ページ)



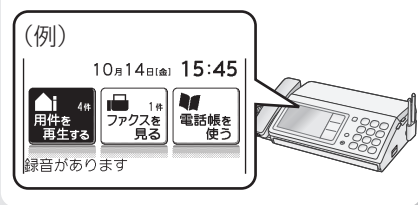
留守番電話 について

- 留守モードが正しく働かない
(☎ 122ページ)



エラー表示 について

- エラー表示やエラー音が出たときは (☎ 130ページ)



別売品 について

- 別売品について (☎ 137ページ)

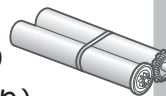
子機の充電電池：M-003



インクリボン：

UX-NR8G (1本入り)

UX-NR8GW (2本入り)



こんなときはご確認ください

- ひかり電話などの光回線に契約を変更したときは
 - 回線種別を変更 (☎ 23ページ)
 - 携帯とくたくダイヤルを使用しない設定に変更 (☎ 87ページ)
 - その他困ったことがあるときは (☎ 124ページ)

ご契約の内容によっては、一部のサービスの番号にかけられません。
詳しくは、ご契約の光電話会社にご確認ください。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番電話

ファクス

印刷・コピー

SDカード

便利な機能

ナンバー・ディスプレイ

ごまっただときは

ご参考に

さくいん

もくじ

✓ こんなときはご確認ください ……	2
もくじ ……	4

ご使用の前に

付属品の確認 ……	6
✓ 安全に正しくお使いいただくために ……	7
ご使用の前に知っていただきたいこと ……	10
親機各部のなまえ ……	13
子機各部のなまえ ……	15
液晶ディスプレイ ……	16
基本的な操作のしかた ……	18
✓ 親機の準備 ……	20
いろいろな接続 ……	24
インクリボンを確認する ……	25
子機の準備 ……	26
お気に入りの待受画面に変更する ……	28
音の設定を変える ……	29
日時を設定する ……	30
自分の番号・名前を登録する ……	31

電話・電話帳

✓ 電話をかける・受ける・かけ直す ……	32
✓ 相手の方の声や名前を確認してから 電話に出る（聞いてから応答） ……	35
✓ 迷惑電話をお断りする ……	37
内線通話する ……	39
✓ ワンタッチダイヤルを使う ……	40
✓ 電話帳に登録する ……	42
文字を入力する ……	46
✓ 電話帳で電話をかける ……	49
電話帳を転送する ……	50
電話の詳細メニューについて ……	52

留守番電話

留守設定する ……	54
録音を再生／消去する ……	55
応答メッセージを選ぶ ……	57
外出先から録音を聞く（リモート操作） ……	58
留守番電話の応答回数を変更する ……	59

ファクス

✓ ファクスを送る ……	60
✓ 画面に手書きしてファクスを送る （手書きファクス） ……	64
✓ ファクスの受けかたを選ぶ ……	67
電話に出てからファクスを受ける ……	69
ファクス自動受信を設定する ……	70
✓ 受信したファクスを見る （見てからプリント） ……	71
画面上で受信ファクスに書き加える ……	75

印刷・コピー

✓ 記録紙のセットのしかた ……	76
✓ メモリー受信したファクスを 印刷する ……	77
コピーする ……	78
登録した内容を印刷する ……	79

SDカード

SDカードを取り付ける／取り外す ……	80
✓ SDカードに通話内容をすべて 録音する（SD自動録音） ……	83
SDカードへ原稿を保存する （スキャン機能） ……	84
SDカードにファクス／録音データを保存する ……	85
SDカードに電話帳のデータを保存する ……	85
SDカードから携帯電話の電話帳を読み込む ……	86

便利な機能

携帯とくどくダイヤル機能を利用する ……	87
子機を増やす ……	88
1つの電話回線で複数の番号を使う （モデムダイヤルインサービス） ……	89
着信音や動作音を鳴らさないようにする （おやすみモード） ……	92
不在時の着信をお知らせする ……	93
✓ 画面にメモを手書きする／ 指定時間にメモを表示する ……	94
伝言などを録音する（メモ録音） ……	97
通話内容を録音する（今から録音） ……	97
通話内容をさかのぼって録音する （戻って録音） ……	98
親機をもっと便利に使う ……	99
子機をもっと便利に使う ……	100
ドアホンをつなぐ ……	101
ドアホンと話す ……	104
キャッチホン／キャッチホン・ディスプレイ ……	105

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する ……	107
着信時に点灯／点滅するランプについて （あんしんLED） ……	108
着信を音声でお知らせする ……	109
着信記録（着信履歴）を使う ……	111
着信鳴り分けを使う ……	112
特定の種類・特定の番号の着信をお断りする ……	113
通話後に電話番号を登録する （着信らくらく番号登録） ……	114
ネーム・ディスプレイを利用する ……	115

こまったときは

✓電話がかけられない	116
✓声が聞こえにくい	118
ファクスを送れない	119
ファクスを受けられない／着信音が鳴らない	120
コピーや印刷ができない	121
子機が使えない	121
留守モードが正しく働かない	122
SDカードが使えない	122
ナンバー・ディスプレイが使えない	123
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	123
その他 こまったときは	124
停電になったときは	125
タッチに正しく反応しないときは	125
記録紙に白や黒の線が入るときは	126
✓原稿や記録紙が つまったときは	127
✓エラー表示／エラー音について	130
お手入れのしかた	133
使用済みのインクリボンを交換する	134
充電池を交換する	135
故障かな？と思ったときは (修理依頼される前に)	136

ご参考に

別売品／消耗品	137
登録や設定・電話帳の内容を初期化する	138
特別設定について	139
区点コード一覧表	142
仕様	144
✓登録／設定早見表	146
リモート操作手順カード	153
保証とアフターサービス (よくお読みください)	155
お客様ご相談窓口のご案内	156
✓さくいん	161
保証書	163

お調べになりたい内容が、もくじから探しにくいときは、さくいん (161ページ) をご覧になると見つかる場合があります

Datalight is a registered trademark of Datalight, Inc.
FlashFX™ is a trademark of Datalight, Inc.
Copyright 1993-2004 Datalight, Inc., All Rights Reserved

<こんなことができます>

相手先の電話番号を登録する

ページ

- 40 ワンタッチダイヤルに登録
- 42 電話帳に登録

紙を使わないでファクスを送る

- 73 受信したファクスをそのまま転送する
- 64 画面に手書きしてファクスを送る

着信記録 (着信履歴) を使う*

- 111 着信記録を使う

音の設定を変える

- 29 着信音の大きさを変える
- 29 着信音の種類を変える
- 29 相手の声が聞こえにくい(受話音量)

迷惑電話をお断りする

- 108 着信時に相手の種類に合わせてランプで色分け*
- 35 着信時に相手の名前を聞いてから電話に出る
(聞いてから応答)
- 37 通話中の迷惑電話をお断り
- 92 設定した時間に着信音や動作音を鳴らさない
- 93 特定の相手からの電話だけ受ける*
- 113 特定の相手からの電話や、非通知／公衆電話
／表示圏外からの電話を拒否*

通話内容を録音する

- 83 SDカードに通話内容をまるごと録音する
- 35 着信時に相手の名前を聞いたあと、
通話を録音する設定にしてから電話に出る
- 97 操作してからの通話内容を録音する
(今から録音)
- 98 操作前の通話内容をさかのぼって録音する
(戻って録音)

*ナンバー・ディスプレイ (107ページ) をご利用の場合

—<お知らせ>—

- ・この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口 (156ページ) までご連絡ください。
- ・お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ・この製品は使用誤りや静電気・電氣的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記録内容が変化・消失する場合があります。

もくじ
ご使用の前に
電話・電話帳
留守番電話
ファクス
印刷・コピー
SDカード
便利な機能
ナンバー・ディスプレイ
こまったときは
ご参考に
さくいん

付属品の確認

次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合や違うものが入っているときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

<p>親機 1台</p>  <p>お試用インクリボン (1本) は、あらかじめ親機にセットされています。</p>	<p>受話器 1個 受話器コード 1本</p> 	<p>タッチペン 1本</p> 	<p>タッチペンホルダー 1個</p> 	
<p>子機 UX-900CL : 1台 UX-900CW : 2台</p> 	<p>充電器 (子機用) UX-900CL : 1個 UX-900CW : 2個</p> 	<p>充電電池ふた (子機用) UX-900CL : 1個 UX-900CW : 2個</p> 	<p>充電電池 (子機用) UX-900CL : 1個 UX-900CW : 2個</p> 	<p>電話機コード (約1.5m) 1本</p> 
<p>● 付属のお試用のインクリボンは、工場出荷時に本機が正しく動作できることを確認したものです。別売のインクリボンよりも印刷できる枚数が少なくなっていますので (A4サイズで、約10枚印刷可能)、お早めに別売インクリボンをお買い求めください (P.137ページ)。</p> <p>● インクリボンは、必ず当社の純正品をお使いください (P.137ページ)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ UX-NR8G (33m×1本入り) ■ UX-NR8GW (33m×2本入り) <p>● SDメモリーカードは付属していませんので、ご使用になるときは別途お買い求めください (P.80ページ)。</p> <p>● 記録紙は付属していませんので、お買い求めください (P.137ページ)。</p>				
<p>取扱説明書 (本書) ※ 1冊 はじめにお読みください※ 1枚</p>				




※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。

This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.




安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 図記号について

 危険	人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

■ 図記号の意味


	気をつける必要があることを表しています。
	してはいけないことを表しています。
	しなければならないことを表しています。

危険

充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。

充電池について


<液もれや、発熱・破裂によるやけどやけがの原因>

-  充電池は、以下のような使用をしない
 - 端子の⊕⊖を逆にして接続
 - 端子の⊕⊖を針金やピンセットなどの金属類に接触させる
 - 加熱／火の中／水の中へ投げ込む
 - ハンダ付け
 - 専用の充電器以外で充電
 - 充電池ふたを閉めるとき、充電池のコードをはさむ
 - 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運ぶ／保管する
 - 子機以外の機器に使用



-  充電池は専用のものを使用する

<失明のおそれ>

-  充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受ける

警告

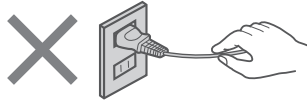
電源コード、電源プラグについて

<火災、感電の原因>

- 以下の操作をしない
 - ・ 傷つける
 - ・ 無理に曲げる
 - ・ 加工する
 - ・ 無理にねじる
 - ・ 熱器具に近づける
 - ・ 重いものを乗せる
 - ・ 束ねる
 - ・ 無理に引っ張る

電源コードが傷ついた場合は、お買いあげの販売店に連絡してください。

- 電源コードを引っ掛けて電源プラグを抜かない



- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントを使用しない

- ! 本製品は国内電源仕様なので、必ず家庭用電源電圧 (AC100V) で使用する
海外では使用しないでください。

<発熱による火災の原因>

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない、タコ足配線しない

<発熱による火災、感電の原因>

- ! 電源プラグは根元まで差し込む
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

<火災、感電、故障の原因>

- ! 雷が鳴りだしたら、安全のため、早めに電源プラグをコンセントから抜いて、電話機コードを親機から外す

充電電池について

<発熱、サビの原因>

- 水や海水につけない／濡らさない
ペットの尿にもご注意ください。

<液もれ、発熱、破裂の原因>

- 充電電池のビニールカバーをはがさない／キズをつけない

<皮膚に障害を起こすおそれ>

- ! 充電電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流す

本機の取り扱いについて

<火災、感電の原因>

- 本機の開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込まない／落とし込まない

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 風呂場や雨にあたる場所、湿気の多い場所では絶対に使用しない

- 分解、修理、改造は絶対にしない
修理はお買いあげの販売店にご相談ください。

- こぼれたり、中に入らないように、本機の近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、小さな金属物を置かない



ペットの尿にもご注意ください。

- ! 万一、内部に水や金属物、異物などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、充電電池をはずしてお買いあげの販売店に連絡する

- ! 万一、異音がする、煙が出る、へんな臭いがするなどの異常な状態に気がついたら、電源プラグをコンセントから抜き、充電電池をはずしてお買いあげの販売店に修理を依頼する

<けが、故障の原因>

- 本機を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えない

万一、落としたり、キャビネットを破損した場合は、お買いあげの販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

<事故の原因>

- 電子機器や医療機器に影響を与えるおそれがあるので、病院内などの使用を禁止された場所では使用しない

SDカードについて

<誤飲による事故の原因>

- SDカード／カードアダプターを乳幼児の手の届く場所に置かない

⚠ 注意

本機の取り扱いについて

<やけど、けがの原因>

- ❌ 記録ヘッドに直接手でふれない
- ❌ 充電器の上にコインやクリップなどの金属物を置かない



<使用できなくなるおそれ>

- ❌ 磁力線が出ているので、磁気に弱いもの（キャッシュカード、自動改札定期券など）を充電器に近づけない

<けがの原因>

- ⚠ 親機のカバーを閉めるときは、指をはさまないように注意する

<低温やけどの原因>

- ❌ 本機の温度の高い部分に長時間ふれない

<火災の原因>

- ❗ 充電器は風通しのよい状態で使用する
熱がこもり、キャビネットが変形するおそれがあるため、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

<事故のおそれ>

- ❗ 充電池は幼児の手の届かない場所に保管する
幼児が機器から取り出さないようご注意ください。

<感電、けが、やけどの原因>

- ❗ 点検、清掃は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、記録ヘッドなど熱くなるものが冷えてから行う

本機の設置について

<火災、じゅうたんなどの変色の原因>

- ⚠ 風通しの悪い場所や、じゅうたんなどの上に置かない

<落ちるとけが、故障の原因>

- ❌ ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の激しいところなど、不安定な場所に置かない

<火災、故障の原因>

- ❌ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かない
- ❌ 火器の近くに置かない

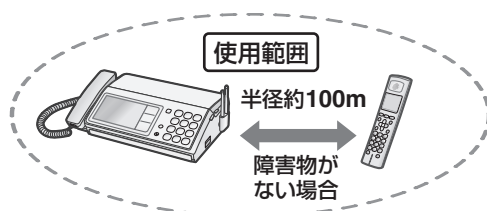
<火災の原因>

- ❌ 熱がこもるので、暑い場所や直射日光の当たる所、暖房機の近くに置かない

ご使用の前に知っていただきたいこと

■ 親機と子機の間には障害物のある場所で使わない

親機と子機の間には障害物（金属製のドア、鉄筋コンクリート、鉄骨、モルタル壁、金属線入りのガラス、断熱材など）があったり、親機と子機を別の階や別棟に設置したときは、電波を通しにくくなるため、電波の届く距離が短くなることがあります。



■ 親機のアンテナは、立ててお使いください

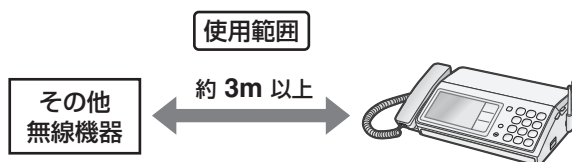
電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは、必ずまっすぐに立てて、お使いください。

■ アンテナにコードを巻き付けない

着信時に子機の着信音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。

■ 本機を設置するときは

電波干渉によって、雑音が入るなどの悪影響が出たり、その他無線機器に障害を与えたりすることがあります。電波干渉を防ぐために、他の無線機器からは、親機・子機とも約3m以上離してください。



■ 子機の設置台数について

同一フロアで1.9GHz帯を使用する親機と子機を複数設置する場合、子機の合計が8台を超えないようにしてください。設置場所によっては、電話をかけたり受けたりできなくなることがあります。

■ 本機の電波について

本機は、1.9GHz帯を使用する時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレスファクシミリです。

・ 広帯域通話機能は搭載していません。

1.9-D

本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか、異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

・ 万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、お客様ご相談窓口（☎ 156ページ）にご連絡ください。

・ その他、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談窓口（☎ 156ページ）にご連絡ください。

■ 電波雑音にご注意ください

テレビ・ラジオなどの電気機器の近くに本機を設置すると、雑音や受信障害の原因になったり、特定チャンネルでテレビ画面が乱れることがあります。また、CATV機器の誤動作の原因になることがあります。これらの機器からは3m以上離すか、親機を別の電源コンセントに接続して操作してみてください。



※ CSデジタル放送をご利用の方へ

CSデジタル放送をご利用の環境で、DECT 1.9GHz方式に対応した機器を使用していると、放送を視聴する際にノイズや雑音が入ることがあります。その場合は以下のように対応してください。

- ・ CS デジタル放送受信機器から本機を離して設置する。
- ・ シールド性の高いCS・BS 対応の分波器、分配器、混合器、接続ケーブルを使用する。

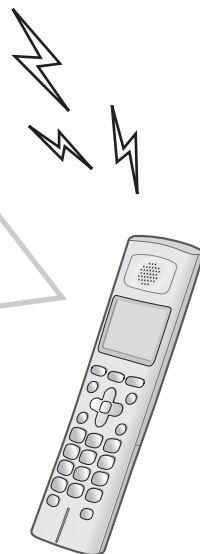
■ 子機に雑音が入ったり、声が途切れたりすることがあります

子機に雑音が入ったり声が途切れたりするときは、以下のことを行ってください。

- ・ 子機のアンテナ表示が2本以上になっているかご確認ください(☞ 27ページ)。
- ・ 携帯電話の充電器・ACアダプター、他の機器の電源コードなどからできるだけ離してください。また、本機とは別の電源コンセントに接続してください。
- ・ 親機と充電器を50cm以上離してください。
- ・ 子機はしっかりと充電してください。充電量が不足すると、通話中に雑音が入ることがあります。
- ・ 通話中は子機のアンテナ部(☞ 15ページ)を手で覆わないでください。

以下の場合、子機に雑音が入ったり、声が途切れたりすることがあります。

- ・ 磁気や蛍光灯などの電気雑音の影響を受けたとき。
- ・ 動きながら通話したり、自動車やバイクが近くを通ったとき。
- ・ 特定の補聴器をお使いのとき。
※補聴器にも雑音が入ることがあります。
- ・ ひかり電話などの光回線やIP電話、ADSL、ISDNをご利用のとき(☞ 123ページ)。
- ・ 通話中、ご使用の電話回線や通話状態にあわせるため、自動的に通話レベルの調整を行うことがあります。調整には2~3分程かかり、その間の通話は音量が不安定になったり雑音が入ったりしますが、故障ではありません。



■ “傍受”にご注意ください

本機は、子機での通話にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。

■ 子機はいつも充電器に戻しておく

充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。

■ 子機の着信音は、親機と同じタイミングでは鳴りません

電話がかかってくると、子機が親機より遅れて鳴ったり、早く鳴ったりします。

■ 子機の取り扱いについて

親機や子機の近くで1.9GHzデジタルコードレス電話機などが使われているときは、正しく動作しないことがあります。こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ 使用中に温かくなることがあります

親機の背面や側面、充電中の子機が少し温かくなるがありますが、故障ではありません。

■ 受話口やスピーカーの穴をふさがない

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■ 送話口(マイク)をふさがない

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■ タッチパネルの取り扱いについて

親機の液晶ディスプレイはタッチパネルになっています。以下の内容を守ってお使いください。

- ・ 先端のとがったものや硬いもの、爪で操作しないでください。傷が付くことがあります。操作するときは、指または付属のタッチペンでふれてください。
- ・ 強く押さえないでください。破損することがあります。
- ・ 指紋などが付いたときは、眼鏡ふきなどの乾いた柔らかい布で清掃してください。傷が付くことがありますので、お手入れに目の粗い布は使用しないでください。

■ ご使用にあたってのお願い

この製品のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「**機器使用料**」は、**不要**となります。

詳しくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。

This machine is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

■ この装置について

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

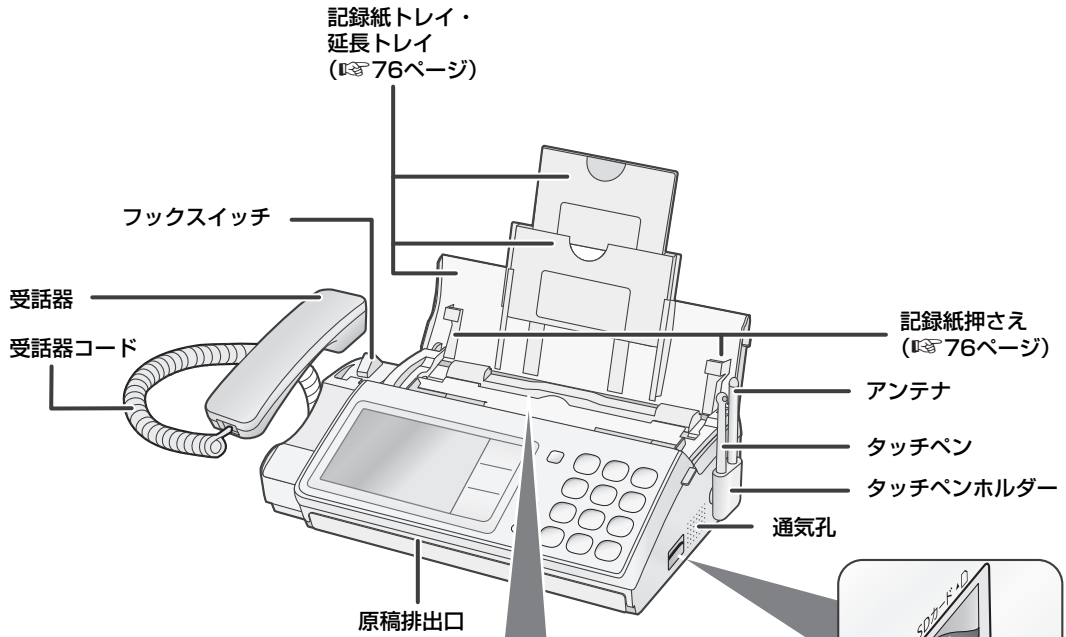
■ 商標について

- ・ 本商品にはシャープ株式会社が液晶画面で読みやすくなるように設計したLCフォントを搭載しています。ただし、絵記号など、一部LCフォントでないものもあります。
- ・ その他、本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。



親機各部のなまえ

ご使用の前に



記録紙挿入口 (☞ 76ページ)

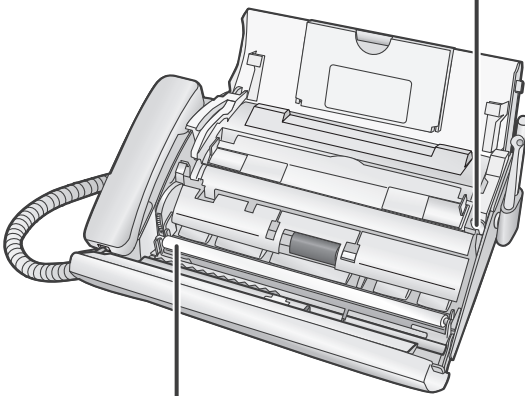
記録紙排出口

原稿挿入口 (☞ 60ページ)

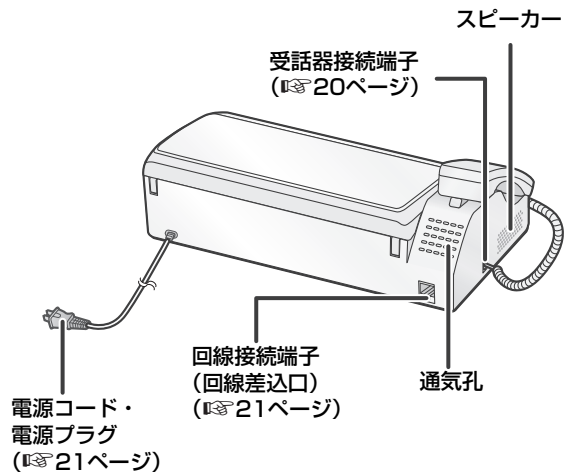
SDカードスロット (☞ 82ページ)

原稿ガイド (左右2か所) (☞ 60ページ)

後ろカバー解除レバー (☞ 25、129、134ページ)



原稿送りローラー (☞ 126、127、133ページ)

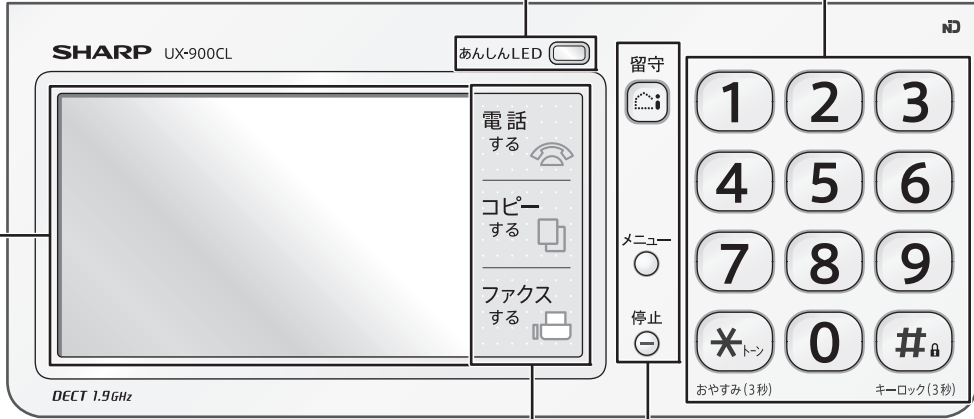


操作パネル

液晶ディスプレイ
(☎ 16ページ)

あんしん
LED
・電話を受けるとランプが
点灯／点滅 (☎ 108
ページ)

ダイヤル
ボタン
・電話番号のダイヤル
(☎ 32ページ)



電話 する	<ul style="list-style-type: none"> 電話をかける (☎ 33ページ) 電話帳を使う (☎ 49ページ)
コピー する	<ul style="list-style-type: none"> メモリー受信したファクスを印刷 (☎ 77ページ) コピーする (☎ 78ページ)
ファクス する	<ul style="list-style-type: none"> ファクスを送る、受ける (☎ 61、69ページ) 手書きファクス (☎ 64ページ) 受信したファクスを見る (☎ 71ページ)

留守 ☎	留守設定、留守の解除 (☎ 54ページ)
メニュー ○	メニュー画面の表示
停止 -	操作の中止

点灯／点滅するボタン、ランプ

青色	赤色	緑色／黄色／赤色
1 ~ 9 0 # *	ファクス する 留守 ☎	あんしんLED

子機各部のなまえ

ご使用の前に

電話帳 ●電話帳 (☎49ページ)

マルチファンクションキー

- 項目の選択や決定・音量変更など
上下左右の部分を押して、項目の選択や音量の変更ができます。本文中では、マルチファンクションキーの操作を以下のように記載しています。

など：色の付いている部分を押す

は上下いずれかを押す

マルチファンクションキーの中央には、決定とメニュー表示用の「メニュー/決定ボタン」()があります。

液晶ディスプレイ (☎17ページ)

1
2
3

ワンタッチダイヤル (☎41ページ)

文字切替 (🔑)

入力モード切替 (☎46、48ページ)
キャッチホン (☎105ページ)

・電話をかける・受ける (☎32、34ページ)

ダイヤルボタン

- 電話番号のダイヤル (☎32ページ)
- 文字入力 (☎46、48ページ)

切

- 通話の終了
- 登録メニューの終了

スピーカーホン (🔊)

- スピーカーホン通話 (☎32、34ページ)
- 受話通話 (☎32ページ)

内線/消去 (🔒)

- 保留 (☎32ページ)
- 内線通話 (☎39ページ)
- 文字消去 (☎46ページ)

マイク (送話口)

点灯するボタン

青色

1あ ~ 9ら 0わ # # * *

子機背面

アンテナ部

- 通話中は手で覆わないでください。

スピーカー

充電電池ふた

充電器

充電部 (☎27ページ)

電源プラグ (☎27ページ)

液晶ディスプレイ

親機や子機の液晶ディスプレイの表示について説明します。

親機（タッチパネル兼用）

設定状態、日付と時刻、留守番電話や受信ファクスの件数などを表示します。暗いところでも見やすいバックライト付きです。

約1分間、何も操作をしないと、節電のためにバックライトを消灯します。さらに約3分間、何も操作をしないとディスプレイの表示が消えます（メッセージがある場合は、メッセージのみ消えずに表示されます）。

画面をタッチするか、いずれかのボタンを押すと、再び通常の表示に戻ります。

タッチパネルの使いかたは「親機タッチパネルの操作」（P.18ページ）をご覧ください。

【待受画面】

設定状態表示エリア（P.28下記）

タッチすることで留守録音を聞いたり、受信ファクスを確認したりすることができます。表示される項目は変更できます（P.28ページ）。

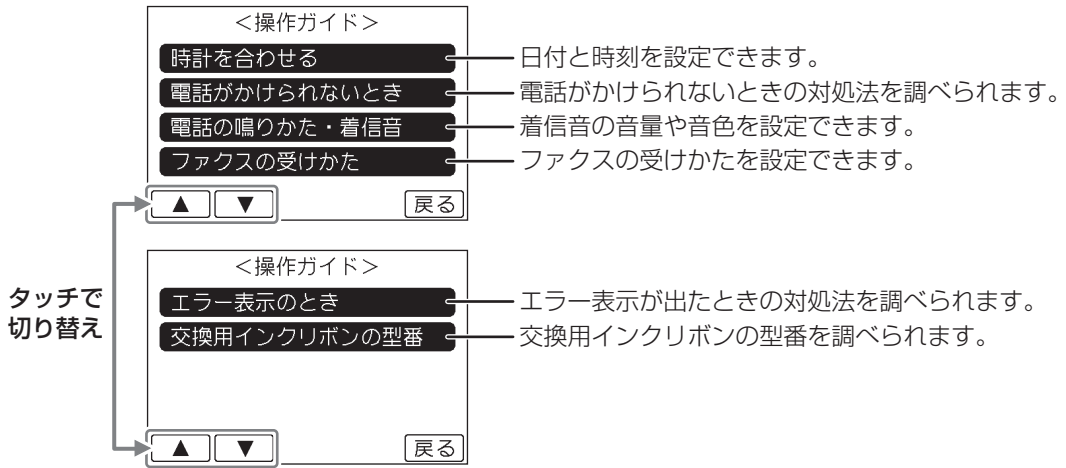
タッチして操作できるソフトボタンを表示します。表示するボタンは画面によって変わります。

設定状態表示エリアには、以下の機能の設定状態をアイコンで表示します。詳しくは各機能のページをご覧ください。

着信音切	ファクス自動 ファクス優先 ファクス専用
<ul style="list-style-type: none"> 着信音が鳴らない設定時に表示（P.29ページ） 	<ul style="list-style-type: none"> ファクス自動受信の設定時に ファクス自動 表示（P.70ページ） ファクスの受信方法が [ファクス優先] の設定時に ファクス優先 表示（P.139ページ） ファクスの受信方法が [ファクス専用] の設定時に ファクス専用 表示（P.139ページ）
SD	おやすみモード
<ul style="list-style-type: none"> SDカード取り付け時に表示（P.82ページ） 受信ファクスや録音データはSDカードに保存されます。 	<ul style="list-style-type: none"> おやすみモード設定時に表示（P.92ページ）
📱 とくとく	📞 お断り
<ul style="list-style-type: none"> 携帯とくとくダイヤル設定時に表示（P.87ページ） 	<ul style="list-style-type: none"> 各種お断り設定時に表示（P.113ページ）
🔒 キーロック	🔔 アラーム
<ul style="list-style-type: none"> キーロックの状態時に表示（P.99ページ） 	<ul style="list-style-type: none"> 手書きメモのアラーム設定時に表示（P.94ページ）

操作ガイドを使う

待受画面の「?操作ガイド」をタッチすると、本機の操作方法を確認したり、ガイドにそって基本的な設定をしたりすることができます。



■ 使いかたガイドで使用するおもなボタンについて

▼: 次のメニューを表示

音声切替: 音声ガイドの有無を切り替える

▲: 前のメニューを表示

※ 音声ガイドのない項目もあります。

次ページ: 次の画面を表示

中止

おわり: 操作ガイドを中止し、待受画面を表示

前ページ: 前の画面を表示

■ 画面にエラーメッセージが表示されているときは

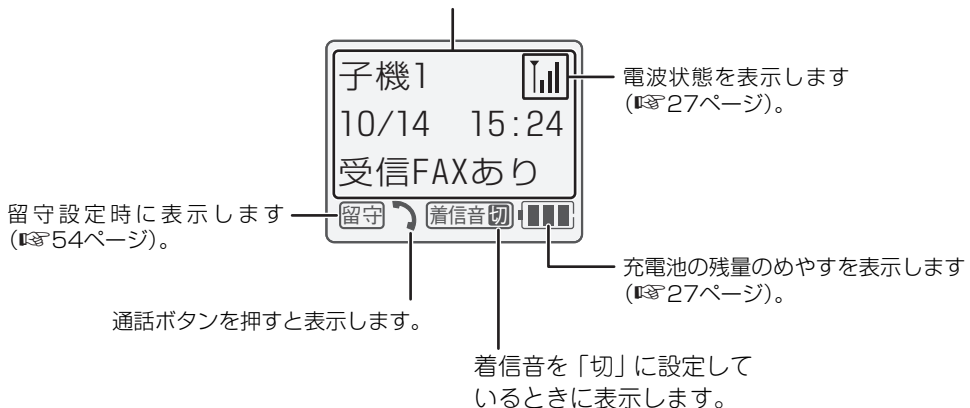
待受画面で、エラーメッセージの末尾に「操作ガイド」と表示されているときは、「?操作ガイド」をタッチすると対応が表示されます。

子機

設定状態、日付と時刻などを表示します。暗いところでも見やすいバックライト付きです。

【待受画面】

子機番号またはユーザー表示 (☎31ページ) で登録した名前を表示します。子機番号および名前は、内線通話 (☎39ページ) や電話のとりつぎ/3者通話 (☎40ページ) などで利用します。また、日時やエラーメッセージ (☎132ページ) なども表示します。



※ 図は説明用です。すべての項目が一度に表示されることはありません。

基本的な操作のしかた

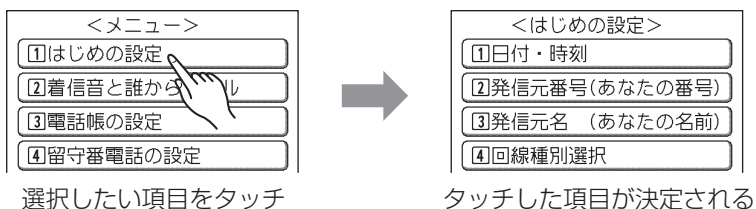
親機タッチパネルの操作

親機では、おもに液晶ディスプレイの表示に、指または付属のタッチペンでタッチして(ふれて)操作します。

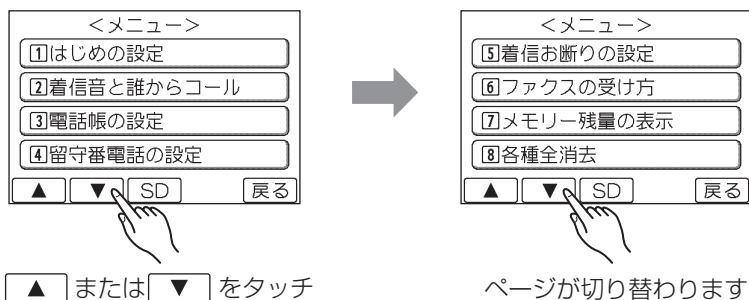
■ 項目を選択する

選択したい項目をタッチします。タッチすると項目を決定して、次の画面が表示されます。

例：メニューを押したあと



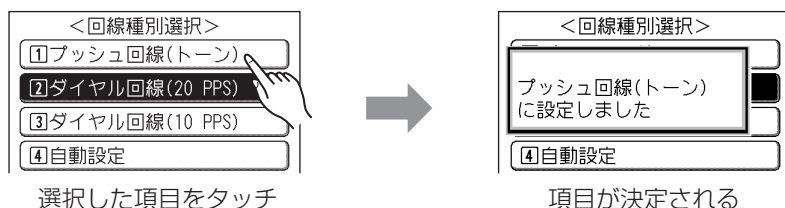
はじめのページには、1~4の項目が表示されています。5以降の項目を表示するときは、ディスプレイ下部の ▲ または ▼ をタッチしてページを切り替えます。



■ 項目を決定する

項目の設定画面では、設定されている項目が黒く表示されています。

設定したい項目をタッチすることで決定できます。



ただし、一部の操作では項目をタッチしたあと **決定** をタッチしないと、設定されないことがあります。

■ 戻る・取り消す・中止する

・ 1つ前の画面に戻るときは、ディスプレイ下部の **戻る** をタッチします。

・ 設定などを中止して待受画面に戻るときは、操作パネル上の **停止** を押します。

—<お知らせ>—

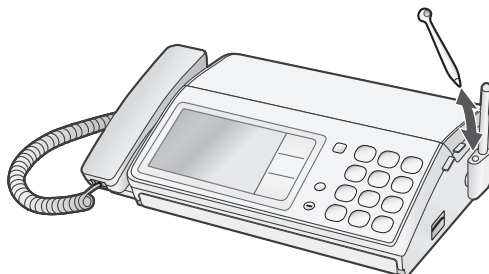
- ・ 先端のとがったものや硬いもの、爪でディスプレイを操作しないでください。傷が付くことがあります。
- ・ ディスプレイを強く押さえないでください。破損することがあります。
- ・ ディスプレイが正しく反応しなくなったときは、125ページをご覧ください。
- ・ ディスプレイをタッチすると指紋などが付くことがあります。清掃のしかたは133ページをご覧ください。

タッチペンについて

ディスプレイに文字を書くときなど、細かな操作をしたいときは、タッチペンを使用してください。タッチペンは、タッチペンホルダーに収納します。タッチペンホルダーの取り付けについては、20ページをご覧ください。

■ タッチペンの取りかた／収納のしかた

タッチペンを使用するときはアンテナに取り付けたタッチペンホルダーから抜き取ります。使用後は、タッチペンホルダーに挿し込みます。



- ・ アンテナやファクスが動かないように、ゆっくりと挿し込んでください。

—<お知らせ>—

- ・ タッチペンのペン先を傷つけないようにご注意ください。傷が付いたまま使用すると、ディスプレイに傷がつくことがあります。
- ・ タッチペンのペン先が汚れているときは、ペン先を柔らかい布などで清掃してからお使いください。ディスプレイが汚れることがあります。

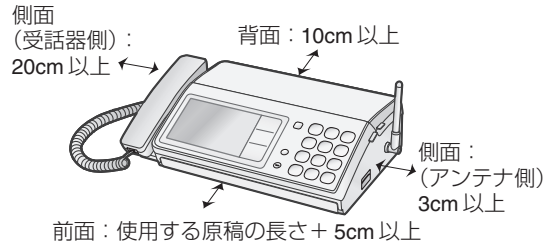
親機の準備

STEP1 親機を接続する

ひかり電話などの光回線やADSL、IP電話などをお使いの場合は接続方法が異なりますので、24ページをご覧ください。

■ 設置について

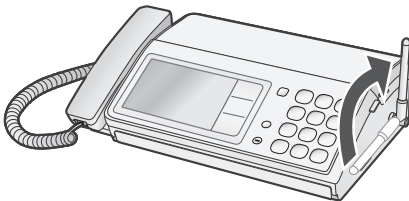
本機の操作、消耗品の交換、日常点検などの作業を行うために、右図のような設置スペースを確保してください。



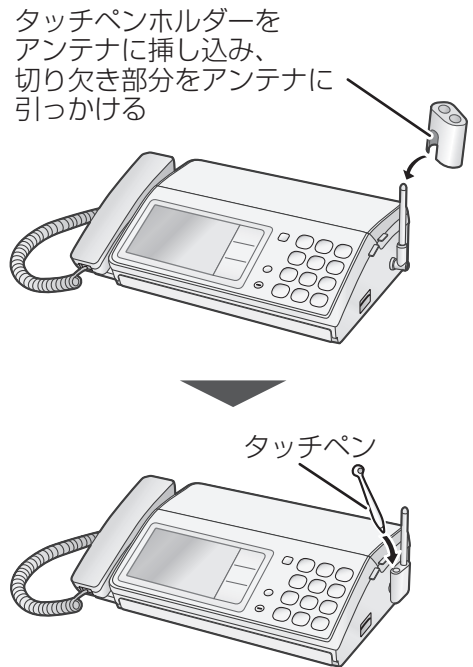
- 1** 受話器コードの一方を受話器に、もう一方を親機に、**カチツ**と音が鳴るまで差し込み、受話器を置く



- 2** アンテナをまっすぐに立てる



- 3** アンテナにタッチペンホルダーを取り付け、タッチペンを挿し込む

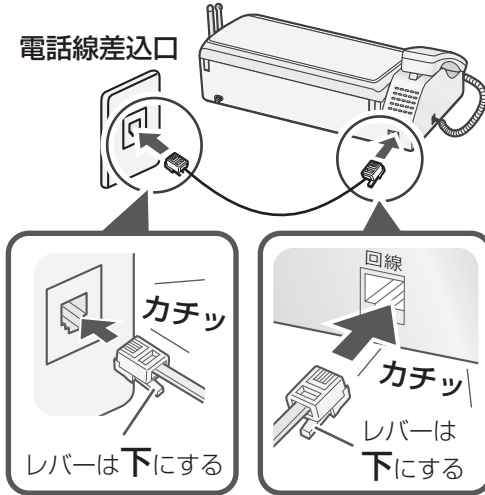


次ページへ

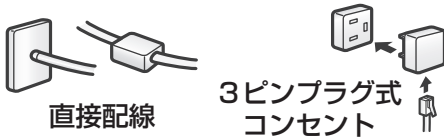
4 付属の電話機コードの一方を電話線差込口に、もう一方を親機に、カチッと音が鳴るまで差し込む

※ 先に電源プラグを接続すると、電話回線の種類が正しく設定されないことがあります。

電話線差込口



- ・ ホームテレホン、構内交換機 (PBX) などでは工事が必要になります (☎24ページ)。
- ・ 電話線コンセントのタイプが直接配線 (ローゼット/プレート) の場合、資格者の工事が必要です。また、3ピンプラグ式コンセントの場合、市販のアダプター、または資格者の工事が必要です。



5 準備が終わったら、電源プラグを差し込む



—<お知らせ>—

- ・ 引っ越しをしたときや本機を他人から譲られたときなど、最初に接続した電話回線と異なる回線を接続するときは、回線種別を手動で設定してください (☎23ページ)。
- ・ 親機や子機の設置場所について、詳しくは「本機を設置するときは」(☎10ページ) をご覧ください。
- ・ 電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
- ・ 1つの電話回線を他の電話機やファクシミリと並列に接続しないでください。正常に動作しなくなることがあります。
- ・ 電話機コードは、付属のものをお使いください。付属のものより長いものをお使いになるときは、137ページの別売品をお使いください。それ以外の市販品をお求めの場合、必ず6極2芯と表示されているものをお求めください。



STEP2：日付・時刻を設定する

親機の電源プラグを接続すると、日付・時刻の設定画面になります。

1 [日付・時刻を設定しますか?] と表示されたら、[はい] をタッチする

2 数字ボタンをタッチして、日付と時刻を入力する



- ・ 年は西暦年、月日は2ケタで入力します。
- ・ をタッチすると、選択している項目が1ずつ増減します。次の項目に進むときは をタッチしてください。
- ・ をタッチするとカーソルが移動し、入力する項目を変更できます。ただし「日付」と「時刻」をまたいで移動することはできません。
- ・ をタッチすると、1つ前の数字を訂正できます。

3 入力した内容を確認して を押す

携帯とくとくダイヤルの設定画面になります (☎22ページ)。設定を中止したときも同様です。

- ・ 先に子機を充電していると、携帯とくとくダイヤルの設定のあと、登録した親機の日時が自動的に子機へ転送されます (時計バックアップ (☎141ページ) を使用する設定になっているときのみ)。

■ 日付・時刻を設定し直すときは

途中で間違っただけで設定してしまったり、日付、時刻をあとから設定したいときは、30ページをご覧になって、あらためて設定し直してください。

—<お知らせ>—

- ・ 時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
- ・ 日付を設定すると、曜日は自動的に設定されます。年月日・時刻・曜日は送信したファクスに印刷されます。
- ・ 親機の電源を入れても、日付・時刻の設定画面が表示されないときは、「親機の日時を設定する」(☎30ページ) をご覧になって、日時を設定してください。

STEP3 携帯ととくとくダイヤルを設定する

「携帯ととくとくダイヤル」とは、各電話会社の事業者識別番号（0033など）を設定しておく、携帯電話へ電話をかけるときに番号の前に自動的にその番号を付加してダイヤルする機能です。

本機能についての詳しい説明は、87ページをご覧ください。

この操作では「NTTコミュニケーションズ」の携帯ととくとくダイヤルを設定できます。

その他の事業者をご利用の場合は、^{停止} を押して設定を終了したあと、あらためて設定し直してください（☎87ページ）。

ひかり電話をご利用の場合は携帯ととくとくダイヤルはご利用できません。

手順2で「はい」をタッチしてください。

携帯ととくとくダイヤルを利用しない設定になります。

1 携帯ととくとくダイヤルの設定画面が表示されたら「はい」をタッチします。

携帯ととくとくダイヤルをご利用にならない場合は「いいえ」をタッチ

2 ひかり電話利用の有無を選びます。

利用していない・ひかり電話が分からない

「いいえ」をタッチ

利用している

「はい」をタッチ

3 IP電話利用の有無を選びます。

IP電話（ひかり電話などを除く）を利用している

「はい」をタッチ

ダイヤルボタンで「IP電話解除番号」(最大6ケタ)※を入力して「決定」をタッチ

IP電話（ひかり電話などを除く）を利用していない

「いいえ」をタッチ

※ IP電話をご利用になるには、携帯電話に発信するときだけ、NTTなどの一般回線を使う必要があります。「IP電話解除番号」を登録すると、携帯電話への発信時のみ、自動的に一般回線で発信できます。IP電話をご利用でないときは設定しないでください。

ここまでの設定が終わったら

待受画面に戻り、親機が自動的に電話回線の種類を確認します。しばらくお待ちください。ピーと鳴ったら設定完了です。

設定が終わったら、天気予報（177）に電話がかかることを確認します。

- ・通話料金がかかります。
- ・電話がかからないときは、「電話回線（ダイヤル/プッシュ）の種別を手動で設定する」（☎23ページ）をご覧ください。

■ 項目の選択を間違えたときは



「戻る」をタッチすると、1つ前の項目に戻ります。あらためて正しい項目を選択してください。

■ 携帯ととくとくダイヤルの設定をあとで変えたいときは (☎87ページ)**■ 電話がかかけられないときは**


下記「電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別を手動で設定する」をご覧のうえ、[プッシュ回線（トーン）] または [ダイヤル回線（20 PPS）] に設定を変えて試してください。それでもかからないときは、「電話がかかけられない」(☎116ページ) をご覧ください。

■ 電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別を手動で設定する

電話がかからないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。また、回線の状態によっては、自動設定できないときがありますので、下記の操作で回線種別を設定してください。

- ①  を押し、[はじめの設定] → [回線種別選択] の順にタッチする
- ② お使いの回線に合った設定を [プッシュ回線（トーン）] [ダイヤル回線（20 PPS）] [ダイヤル回線（10 PPS）] から選んでタッチする
- ③  を押し

■ 電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種別を自動で設定し直すときは

- ①  を押し、[はじめの設定] → [回線種別選択] の順にタッチする
- ② [自動設定] をタッチする

—<お知らせ>—

- ・ IP電話やひかり電話を使用しているときは、一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。
- ・ IP電話や構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンをご利用のときは、回線種別が正しく設定されないことがありますので、ご契約の回線種別をお確かめのうえ、あらためて設定してください (☎上記)。

いろいろな接続

光回線やADSL回線、ISDN回線と接続する場合は、下記の内容を参考にしてください。
詳しくは、各サービス会社にお問い合わせください。

■ ひかり電話などの光回線をご利用のとき

本機に接続した電話機コードとひかり電話対応機器のTELポートとを接続してください。
また、お困りのときは以下をご覧ください。

電話がかからない
回線種別が正しく設定されていますか？ ⇒ ご契約の回線種別を確認して手動で変更します (☎23ページ)
携帯電話につながらない
光電話 (NTTのひかり電話など) をご契約の場合「携帯ととくくダイヤル機能」はご利用になれません ⇒ 使用しない設定にします (☎87ページ)
ファクスの送受信ができない 電話やファクスを使っていないのに [外線使用中] などの表示が出る ナンバー・ディスプレイが動作しない 電話の音が聞こえにくい・雑音が入る 受話器を取ると「キーン」という音が出る
⇒ ご契約の内容をご確認ください。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください ⇒ それでも改善されないときは、シャープお客様ご相談窓口 (☎156ページ) にご相談ください

■ ADSLによるIP電話をご利用のとき

本機に接続した電話機コードとIP電話対応ADSLモデム内蔵ルータのTELポートとを接続してください。

- 基本的には、IP電話会社から提供される「IP電話対応モデム」や「アダプター」(会社によって名称は異なります) に設けられている「電話機用」の差込口に接続すればお使いになります。
- 接続のしかたやファクスをつないだときの動作などについて、詳しくは、IP電話サービスを提供している会社のパンフレットやホームページなどをご確認ください。

■ ADSL回線に接続するとき

本機に接続した電話機コードとADSLモデムに接続されているスプリッタとを接続してください。

■ ISDN回線に接続するとき

本機に接続した電話機コードとターミナルアダプター (TA) のアナログポートを接続してください。

- 電話線差込口からの電話機コードを、直接、親機の回線接続端子に接続しないでください。

■ 構内交換機 (PBX) やビジネスホン、ホームテレホンへ接続するとき

ビジネスホンとは

電話回線を2本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

ホームテレホンとは

電話回線1本で複数の電話機を設置できて、内線通話などでもできる家庭用の簡易交換機です。

・構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンなどへ接続する場合は、工事、アダプター接続等が必要となりますので、お取り付けのビジネスホン、ホームテレホンのメーカーに接続方法をご確認をお願いします。

・ナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。ご利用になれない場合は、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定にしてお使いください (☎107ページ)。

・本機以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えられないことがあります。

— <お知らせ> —

- 端子やポートの名称は商品によって異なる場合があります。
- スプリッタがルータに内蔵されている場合があります。
- 電話機や他のファクシミリとは並列接続しないでください。正常に動作しなくなることがあります。

インクリボンを確認する

インクリボンを確認する（はじめてお使いになるとき）

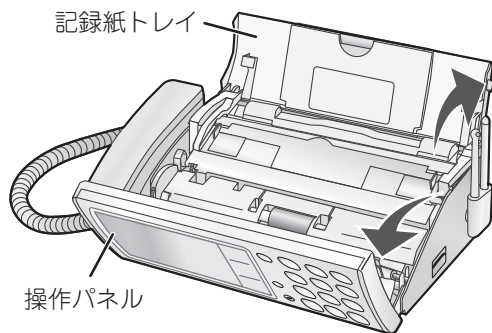
インクリボンは、あらかじめ親機にセットされています。はじめてお使いになるときはインクリボンを確認し、たるみを取る操作をしてください。

セットされているインクリボンは、工場出荷時に正しく印刷できることを確認したものです。別売のインクリボンよりも印刷できる枚数が少なくなっておりますので（A4サイズで、約10枚印刷可能）、お早めに別売インクリボンをお買い求めください。

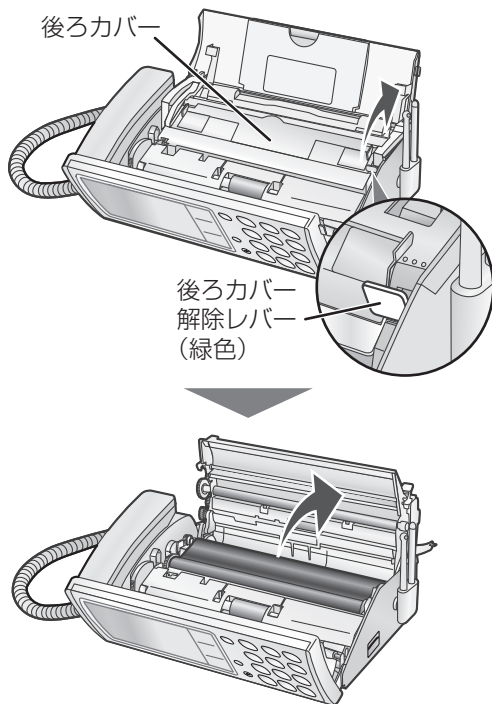
インクリボン（ギア付きタイプ）は、必ず当社の純正品をお使いください（☞ 137ページ）。

- UX-NR8G（33m×1本）
- UX-NR8GW（33m×2本）

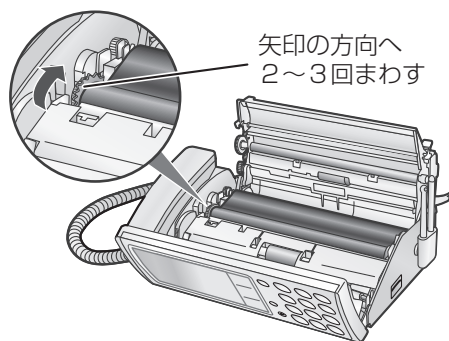
1 記録紙トレイを後ろに、操作パネルを前に起こす



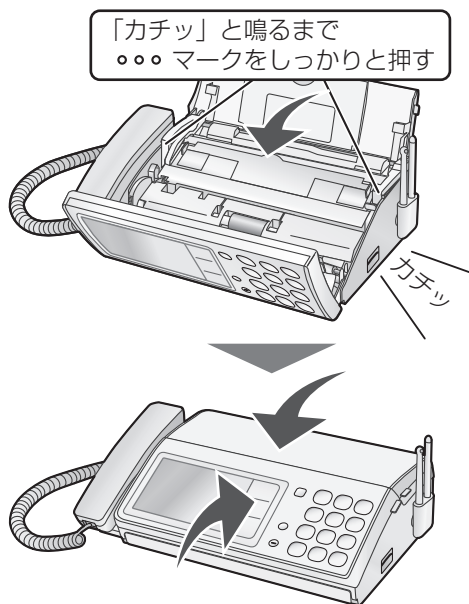
2 後ろカバー解除レバー（緑色）を押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす



3 インクリボンのたるみを取る



4 後ろカバーを閉め、操作パネル、記録紙トレイの順に閉める



■ 使用済みのインクリボンを交換する（☞ 134ページ）

子機の準備

STEP1 充電電池をセットする



危険

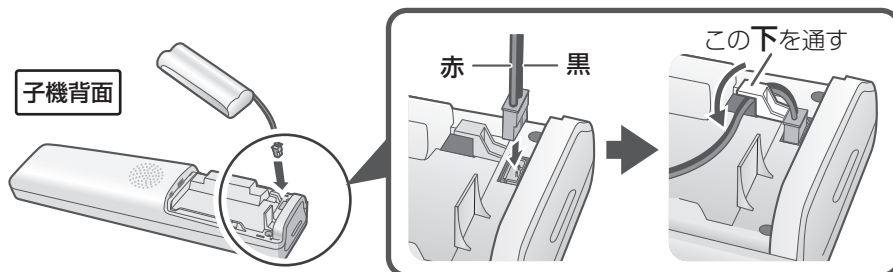
充電電池は、子機以外の機器には使用しないでください。充電電池の液もれ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。



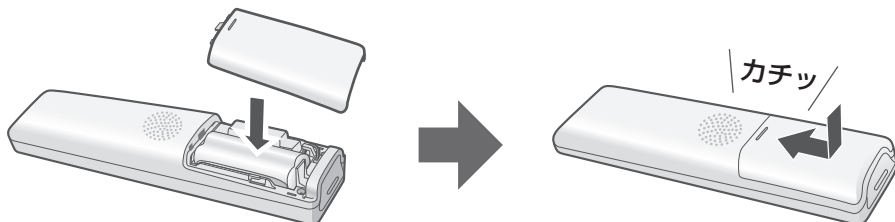
警告

充電電池のビニールカバーをはがしたり、キズを付けしないでください。充電電池の液がもれたり、発熱・破裂させる原因となります。

1 充電電池のコードの先端部分を、子機に差し込む



2 充電電池を入れて、ふたを取り付ける



充電電池ふたを上からかぶせます。

少し押しながらカチッと音が鳴るまで上にずらします。



危険

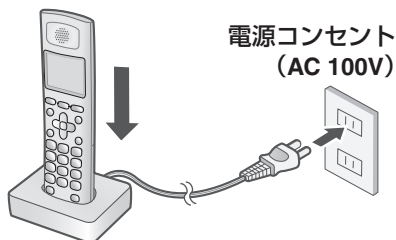
充電電池ふたを取り付けるときは、充電電池のコードをはさまないようにしてください。充電電池の発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

STEP2 子機を充電する



充電するときは、専用の充電電池以外は使用しないでください。充電電池の液もれ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

1 充電器の電源プラグをコンセントに差し込み、子機を置いて充電する。

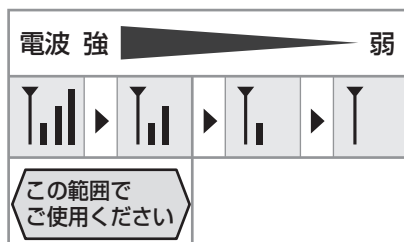


はじめて子機を使うときは、**連続して10時間以上充電**してください。

- ・ 親機の日時を設定していると、転送されて自動的に子機の日時も設定されます。
- ・ ディスプレイに何も表示されないときは、数分間子機を充電器に置いたままにしておく则表示されます。

■ 子機のアンテナ表示について

子機を設置する前に、子機ディスプレイのアンテナ表示を確認してください。




- ・ アンテナが正しく表示されていても、お使いの環境によっては、通話中に雑音が入ることがあります。詳しくは、「本機を設置するときは」(P.10ページ)をご覧ください。

■ 通話時間について

満充電(10時間以上充電した状態)で通話できる時間は、連続通話状態で**最大約8時間**です。

- ・ 通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、「ピッピッ…」と警報音が鳴り、約1分後に通話が切れます(子機のディスプレイに「電池残量がありません」と表示されます)。このときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話してください。

			[電池残量がありません]と表示されて使用できません。10時間以上、充電してからお使いください。
	充電電池の残量のめやすを表示します。		
			充電残量が少なくなると充電すると点滅します。

—<お知らせ>—

- ・ 子機を2台以上お使いのときは、それぞれの子機が近づきすぎないようにしてください。電波が干渉して、着信音が鳴らなくなることがあります。
- ・ 電磁誘導による充電の方式をとっています(無接点充電)。AMラジオなどの近くに充電器を置くと、AMラジオなどに雑音が入ることがあります。AMラジオなどの向きを変えるか、充電器から離してご使用ください。
- ・ 電磁波や磁力を出すものの近くで充電しないでください。充電ができない場合があります。
- ・ 親機や子機の設置場所について、詳しくは「本機を設置するときは」(P.10ページ)をご覧ください。
- ・ 子機を充電器から取ったり置いたりするたびごとに、ディスプレイが一時的に非表示になりますが、すぐに元の表示に戻ります。

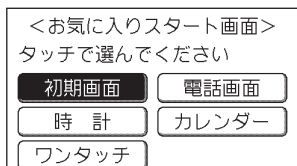
お気に入りの待受画面に変更する

親機の待受画面を、よく使う機能にあわせて変更することができます。

変更される項目以外の画面の説明は、16ページをご覧ください。

1 待受画面で **★お気に入り** をタッチする

2 設定したい画面を選んでタッチする

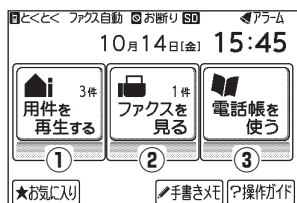


- ・ 設定画面は以下から選べます。はじめは【初期画面】に設定されています。
 - ・ 【初期画面】
 - ・ 【電話画面】
 - ・ 【時計】
 - ・ 【カレンダー】
 - ・ 【ワンタッチ】
- ・ 各画面について、詳しくは以下をご覧ください。

3 **【はい】** をタッチする

■ 初期画面について

お買いあげ時の待受画面です。



- ① 留守録音などの録音件数を表示し、タッチすると、用件再生画面を表示します (☎ 55ページ)。
- ② 受信したファクスやスキャンした画像の件数を表示し、タッチすると見てからプリントの一覧画面を表示します (☎ 71ページ)。
- ③ 電話帳画面を表示します (☎ 33ページ)。

■ 設定できる待受画面について

設定できる待受画面は、以下の通りです。

【電話画面】

電話機能を待受画面に表示します。

電話をよく使う方におすすめです。

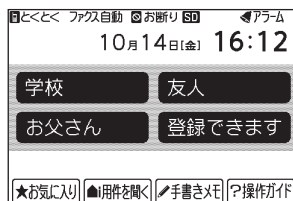


【ワンタッチ】

ワンタッチダイヤルを待受画面に表示します。

特定の相手の方によく電話やファクスする方におすすめです。

- ・ ワンタッチダイヤルについて (☎ 40 ページ)



【時計】 / 【カレンダー】

待受画面に時計 / カレンダーを表示します。

○ 【時計】



○ 【カレンダー】



- ・ 時計 / カレンダー画面 (バックライト点灯中) に画面をタッチすると、【初期画面】が表示されます。
- ・ 初期画面表示中に **停止** を押すと、時計 / カレンダー表示に戻ります。
- ・ 時計 / カレンダー表示中 (バックライト消灯中) に約 8 時間何も操作をしないと、画面表示が消えます。画面をタッチすると、バックライトが点灯して、時計 / カレンダー画面が表示されます。

音の設定を変える

親機の着信音の大きさを変わる／鳴らさないようにする

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音量を変更できます。

1 を押し、[着信音と誰からコール] → [親機着信音量] の順にタッチする

2 設定したい着信音量(5段階の音量 または [着信音量 切]) を選んでタッチする



- ・はじめは [3 / 5 段階] に設定されています。
- ・タッチすると、表示された音量で着信音が再生されます。

3 をタッチする

4 を押す

親機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の種類を変更できます。

1 を押し、[着信音と誰からコール] → [親機着信音選択] の順にタッチする

2 設定したい着信音を選んでタッチする

- ・着信音は以下から選べます。はじめは [電話ベル音] に設定されています。
1: 電話ベル音 2: 鳥の声 3: 電子音
4: インベンション 5: ジュ・ト・ブ
6: シンフォニー 40番 7: はにゅうの宿
8: メヌエット 9: セレナーデ
- ・タッチすると、着信音が再生されます。

3 をタッチする

4 「誰からコール」(☎ 109ページ) の設定時は着信音を変更できないため、確認画面が表示されます。表示されないときは手順5へ進んでください。

- 誰からコールを解除し、着信音を変更する:
[はい] をタッチする
- 誰からコールを解除せず、着信音を変更しない:
[いいえ] をタッチする

5 を押す

親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる音量を変更できます。

1 通話中に または を押す(5段階切替)
・はじめは3段階目の音量に設定されています。

親機のスピーカー音量を変える

録音再生時などに、スピーカーから聞こえる音量を変更できます。

1 を押し、[はじめの設定] → [スピーカー音量] の順にタッチする

2 設定したいスピーカー音量(5段階の音量)を選んでタッチする

- ・はじめは [3 / 5 段階] に設定されています。

3 を押す

- ・録音の再生中など、スピーカーから音が出ているときに または をタッチして設定することもできます。

子機の着信音の大きさを変わる／鳴らさないようにする

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音量を変更できます。

1 を押し、 で [着信音量] を選ぶ

2 を押し、 で設定したい着信音量(5段階の音量または [切]) を選ぶ

- ・はじめは [3 / 5 段階] に設定されています。

3 を押す

＜お知らせ＞

- ・着信音を鳴らさない設定にしている場合、内線やドアホンの着信音は鳴ります。

子機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の種類を変更できます。

1  を押し、 で [着信音色] を選ぶ

2  を押し、 で着信音を選ぶ

- ・着信音は以下から選べます。はじめは [プルルル プルルル] に設定されています。
[プルルル プルルル] [ポロロロ ポロロロ]
[ピロン ピロン]
[ショートメロディ 1~5]
[ジムノペティ] [ジュピター]
- ・誰からコールを設定しているときは、子機の着信音は [プルルル プルルル] になります。

3  を押す

子機の受話音量を変える


通話中に受話口から聞こえる音量を変えることができます。

1 通話中に  で5段階の音量のいずれかを選ぶ

- ・はじめは [3/5段階] に設定されています。

子機の通話音質を変える

通話中に受話口から聞こえる音質を変えることができます。

1 通話中に  を押す

- ・押すごとに [高い] (高音を強調する)、[標準] が変わります ([標準] を選ぶと「ビピッ」と鳴ります)。
- ・通話を終了しても設定を保持します。ただし、子機の電池が切れると、設定は消去されます。

子機のスピーカー音量を変える

録音再生時などに、スピーカーから聞こえる音量を変えることができます。

1 スピーカーから音が聞こえているときに、

 で5段階の音量のいずれかを選ぶ


- ・はじめは [3/5段階] に設定されています。

IP電話やADSL、ISDN (INSネット64) などをご利用のときは、電話の音量が大きくなりすぎて聞こえにくくなる場合があります。こんなときは、140ページをご覧ください。「親機送話音量切替」「子機送話音量切替」「子機受話音量切替」をそれぞれ [小] に設定してください。通話品質が改善されることがあります。


日時を設定する

日時に誤差が生じたときなどに、日付と時刻を設定し直すことができます。

親機の日時を設定する

1  を押し、[はじめの設定]
→ [日付・時刻] の順にタッチする

2 数字ボタンをタッチして、日付と時刻を入力する

- ・24時間制で2ケタで入力します。
- ・ をタッチすると、1つ前の数字を訂正できます。

3 入力した日時を確認して  をタッチする



4  を押す

- ・時計バックアップ (P.141ページ) を設定しているときは、親機の日時を設定すると、自動的に子機に転送されます。子機の日時設定は上書きされます。また、「子機へ時計送信」(P.141ページ) で手動転送することもできます。


■ 子機の日時を合わせる

子機の日時を合わせるとディスプレイに日時を表示します。

時計バックアップが設定されていると、停電などで親機の日時が消えたときに、子機から日時を転送します。


①  を押し、 で [システム設定] を選ぶ

②  を押し、 で [日時登録] を選ぶ

③  を押し、ダイヤルボタンで日付を入力する (年は西暦で入力)

④ ダイヤルボタンで時刻を入力する (24時間制)

⑤  を押す

- ・入力を間違えたときは、 で間違えた数字を選び、あらためて入力します。

—<お知らせ>—

- ・日時の設定には、1カ月に±60秒程度の誤差があります (25℃の常温の場合)。時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。

自分の番号・名前を登録する

発信元番号を登録する（親機）

ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に印刷される番号を登録できます。

- 1 **メニュー** を押し、[はじめの設定]
→ [発信元番号（あなたの番号）]
→ [登録] の順にタッチする

- 2 数字ボタンをタッチして電話番号（ファクス番号）を入力する



・ 最大20ケタまで入力できます。

- 3 入力した番号を確認して **決定** をタッチする

・ **取消** をタッチすると、1つ前の数字を訂正できます。

- 4 **停止** を押す

■ 発信元番号を消去する

以下の操作で登録した発信元番号を消去できます。変更したいときも、いったん消去してからあらためて登録します。

- ① **メニュー** を押し、[はじめの設定]
→ [発信元番号（あなたの番号）]
→ [消去] の順にタッチする
- ② [消去する] をタッチする
- ③ **停止** を押す

発信元名を登録する（親機）

ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に印刷される名前を登録できます。

- 1 **メニュー** を押し、[はじめの設定]
→ [発信元名（あなたの名前）]
→ [登録] の順にタッチする

- 2 名前を入力し（**46**ページ）、**決定** をタッチする

・ 全角12文字／半角24文字まで入力できます。
・ **取消** をタッチすると、1つ前の文字を訂正できます。

- 3 **停止** を押す

■ 発信元名を消去する

以下の操作で登録した発信元名を消去できます。変更したいときも、いったん消去してからあらためて登録します。

- ① **メニュー** を押し、[はじめの設定]
→ [発信元名（あなたの名前）]
→ [消去] の順にタッチする
- ② [消去する] をタッチする
- ③ **停止** を押す

使用者名を登録する（子機）

子機を使う方の名前や使う場所の名前を登録できます。登録した名前は、待受画面に表示されます。

親機と子機が電波の届く範囲になかったり、親機が使用中のときは登録できません。

- 1 **メニュー/決定** を押し、**決定** で [システム設定] を選ぶ

- 2 **メニュー/決定** を押し、**決定** で [使用者表示] を選ぶ

- 3 **メニュー/決定** を押し、ダイヤルボタンで名前を入力する（**46**、**48**ページ）

・ 全角5文字／半角10文字まで入力できます。

- 4 **メニュー/決定** を押す

・ 登録した名前を変更したいときは、はじめからやり直してください。

■ 使用者名を消去する

名前を入力画面で **内線/消去** を押して入力した名前を消去し、**メニュー/決定** を押します。

電話をかける・受ける・かけ直す

親機で電話をかける（ダイヤル）

1 受話器を取る

2 ダイヤルボタンで電話番号を押す

- ・ 間違い電話を防ぐために「ツー」という音を確認したあと、ダイヤルしてください。
- ・ 画面に表示されるメニューから、電話帳や再ダイヤル、着信記録、ワンタッチダイヤルを使って電話することもできます（☎ 33ページ）。
- ・ 先にダイヤルボタンで電話番号を押してから、受話器を取って電話をかけることもできます。

3 通話が終わったら受話器を戻す

子機で電話をかける

1 子機を充電器から取る

2 ダイヤルボタンで電話番号を押す

3 を押す

4 通話が終わったら を押す

5 充電器に戻す

■ 電話がかけれないときは

116ページをご確認のうえ、設定をし直してください。




■ 通話を保留にする

保留にすると、音楽（ビューティフルドリーマー）が流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

親機で保留する

- ① 通話中に [保留する] をタッチする
- ② 受話器を戻す
再び通話するときは、受話器を取る
受話器を取ったままのときは、[保留解除] をタッチする


子機で保留する


- ① 通話中に  を押す
再び通話するときは  または  を押す

■ 電話をよく使う方は

待受画面（☎ 28ページ）を「電話画面」にすることをおすすめします。

■ ダイヤル回線でプッシュ回線の信号（トーン信号）を送る

親機：電話がつながっているときに、 を押してからダイヤルする

子機：電話がつながっているときに、 を押してからダイヤルする


電話を切ると、自動的に元のダイヤル回線の信号に戻ります。

■ スピーカーホンで電話をかける（子機）

① ダイヤルボタンで電話番号を押す

②  を押す

③ 相手につながったら、マイクに向かって話す



④ 通話が終わったら  を押す

■ 天気予報や時報を聞く（親機：オンフックダイヤル／子機：受話通話）

オンフックダイヤルまたは受話通話で電話をかけると、スピーカーから相手側の音声聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、音声を聞くだけになるため、お話しはできません。

親機の操作：

受話器を置いたまま、ダイヤルボタンで番号を


入力したあと  をタッチするか、 を

押して発信します。

オンフックダイヤルから通常の通話に切り替えるときは、受話器を取ります。


電話を切るときは、[切る] をタッチします。


子機の操作：

 を [SP受話通話中] と表示されるまで


3秒以上押してからダイヤルします。


受話通話から通常の通話に切り替えるときは

 を押します。

電話を切るときは、 を押します。

■ PBX（構内交換機）やホームテレホンから外線にかける

外線につなぐ番号を押したあと、親機では  → [ポーズ] の順にタッチ、子機では

 を押して約3秒間の待ち時間（ポーズ時間）を加えます。続けて電話番号をダイヤルしてください。ポーズを入力すると、「-」（ハイフン）で表示されます。ポーズは電話帳に登録することもできます。

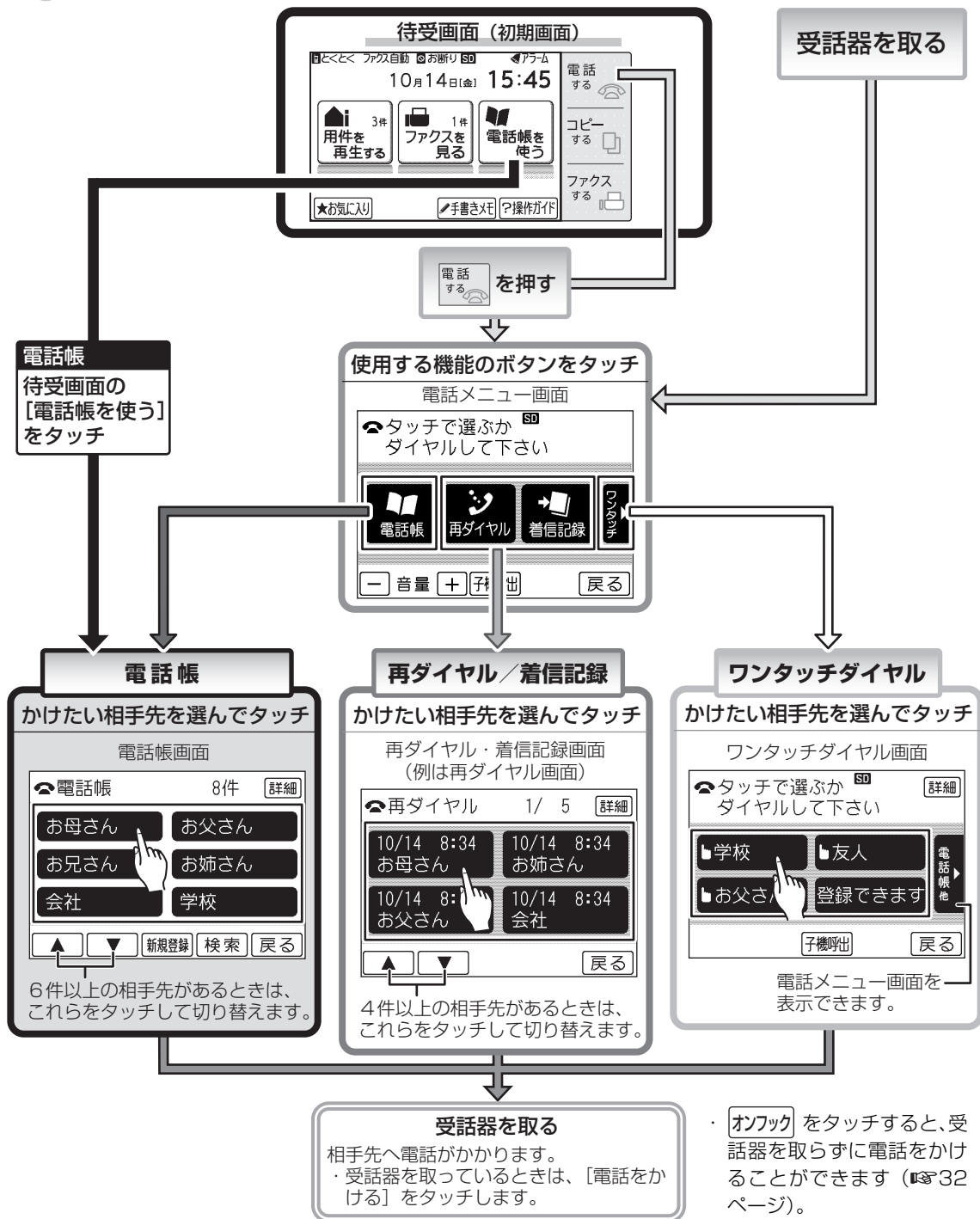
親機で電話をかける（メニューから）

親機では、以下の機能を使って電話をかけられます。

- ・ 最大100件の相手先を登録できる**電話帳**（登録方法は☎42ページ）
- ・ 一度電話をかけた相手先にかけ直せる**再ダイヤル**
- ・ よくかける相手先を登録できる**ワンタッチダイヤル**（登録方法は☎40ページ）
- ・ 電話をかけてきた相手先にかけ直せる**着信記録**（ナンバー・ディスプレイの契約が必要 ☎107ページ）

電話のかけかたについては、以下をご覧ください。

● 待受画面によって操作が異なります（☎28ページ）



親機で電話を受ける

1 電話がかかってきたら受話器を取る

2 通話が終わったら受話器を戻す

- ・「着信らくらく番号登録」(☎114ページ)を設定しているときは、電話をかけてきた相手先の番号を電話帳などに登録できます。

■「あんしんLED」(☎108ページ)を設定しているときは

電話がかかってくると、あんしんLEDが点灯/点滅します。

ナンバー・ディスプレイ(☎107ページ)をご契約のときは、電話をかけてきた相手の方の電話の種類に合わせて、色分けして点灯または点滅します。

■「聞いてから応答」(☎35ページ)を設定しているときは

電話がかかってきたときに「名前を聞く」をタッチすると、相手の方に名前を確認するメッセージが流れます。相手の方の声や名前を確認してから電話に出ることができます。


子機で電話を受ける

1 電話がかかってきたら子機を充電器から取る

2 を押す



3 通話が終わったら を押す

4 充電器に戻す

- ・子機で相手の方を確認して電話に出たくないときは、着信音が鳴っている間に  を押すと、子機の着信音を止めることができます(親機の着信音は止まりません)。

■スピーカーホンで電話を受ける

スピーカーホン

- ① 着信音が鳴ったら  を押す
- ② 相手につながったら、マイクに向かって話す
- ③ 通話が終わったら  を押す

- ・マイクで話す距離のめやすは約50cmです。

■ナンバー・ディスプレイの契約をすると

電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などが表示されます(☎107ページ)。

—お知らせ—

- ・通話中、ご使用の電話回線や通話状態にあわせるため、自動的に通話レベルの調整を行うことがあります。調整には2~3分程かかり、その間の通話は音量が不安定になったり雑音が入ったりしますが、故障ではありません。

親機で電話をかけ直す(再ダイヤル)

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。親機では、以前かけた番号のうち新しいものが20件まで記録されます。再ダイヤルを使って電話をかけるときは、33ページをご覧ください。

子機で電話をかけ直す(再ダイヤル)

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。子機では、以前かけた番号のうち新しいものが10件まで記録されます。

1 子機を充電器から取る

2 を押し、 で番号を選ぶ

- ・子機で再ダイヤルできる番号は最大32ケタまでです。



3 を押す

4 通話が終わったら を押す

5 充電器に戻す

■親機の再ダイヤルを消去する

1 件ずつ消去






- ①  を押し、[再ダイヤル]をタッチする
・待受画面(☎28ページ)が「電話画面」のときは、[再ダイヤルを使う]をタッチしてください。
- ② **詳細** をタッチする
- ③ 消去したい番号をタッチして選び、**消去** を2回タッチする
- ④  を押す

すべて消去






- ① **メニュー** を押し、[各種全消去] → [再ダイヤル]の順にタッチする
- ② [消去する]をタッチする

■ 子機の再ダイヤルを消去する

1件ずつ消去

- ①  を押し、 で消去したい番号を選ぶ
- ②  を押し、 で [1件消去] を選ぶ
- ③  を2回押す

すべて消去

- ①  を押し、 で [全消去] を選ぶ
- ②  を押し、 で [再ダイヤル] を選ぶ
- ③  を2回押す

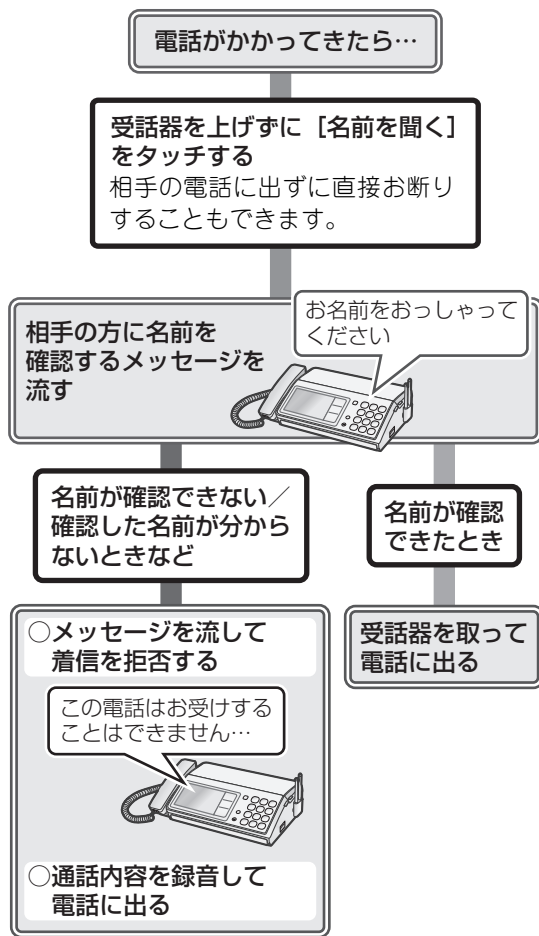
— <お知らせ> —


- 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記録しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルしたり、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルしたりすることはできません。

相手の方の声や名前を確認してから電話に出る (聞いてから応答)

電話がかかってきたとき、相手の方に名前を確認するメッセージを流し、声や名前を確認してから電話に出ることができます。



聞いてから応答は、親機でのみ行うことができます。



- メッセージが流れている間や相手の声がスピーカーから聞こえている間に受話器を取ると、電話に出ることができます。また、子機で  を押し、電話に出ることもできます。

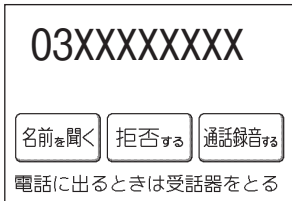
■ 聞いてから応答を使用する／しない設定にする

聞いてから応答を使用しない設定にすると、電話がかかってきても、聞いてから応答画面が表示されなくなります。

- ①  を押し、[着信お断りの設定] → [聞いてから応答] の順にタッチする
- ② [使用する] または [使用しない] を選んでタッチする
- ③  を押す

聞いてから応答をする

1 電話がかかってきたら、以下の画面が表示される

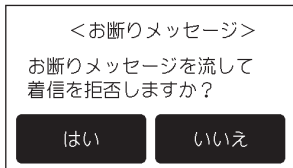


2 いずれかの対応を選んでタッチする


- 相手の方の名前を確認してから電話に出たいとき：[名前を聞く] をタッチして手順3へ

相手の方に電話がつながり、自動的に応答メッセージ（「ただいまお名前確認モードになっています。おそれいりますが、お名前をおっしゃってください」）が流れます。


- 着信をお断りするとき：
[拒否する] をタッチする ⇒
表示された確認画面で [はい] をタッチする



動作に関しては「通話を拒否する設定にしたときは」(☞右記)をご覧ください。

- 通話中の内容をすべて録音する設定にして電話に出るとき：[通話録音する] をタッチ ⇒ 親機では受話器を上げる
子機では  を押す

動作に関しては「通話内容を録音する設定にしたときは」(☞37ページ)をご覧ください。


- ・電話に出るときは、そのまま受話器を取ります。
- ・  を押すと、聞いてから応答画面に戻ります。


3 相手の方の名前を確認する

親機のスピーカーから、相手の声が聞こえるので、名前を確認します。

- 電話に出るとき：受話器を上げて電話に出る
- 電話に出ないとき：手順4へ

4 いずれかの対応を選んでタッチする

- もう一度、確認メッセージを流したいとき：
[もう一度聞く] をタッチする
- 着信をお断りするとき：
[拒否する] をタッチする ⇒
表示された確認画面で [はい] をタッチする
動作に関しては「通話を拒否する設定にしたときは」(☞下記)をご覧ください。
- 通話中の内容をすべて録音する設定にして電話に出るとき：[通話録音する] をタッチ ⇒ 親機では受話器を上げる
子機では  を押す
動作に関しては「通話内容を録音する設定にしたときは」(☞37ページ)をご覧ください。

- ・電話に出たくないときは、  を押してください。そのまま電話が切れます。
- ・上記のいずれもタッチせず、電話に出ずに約30秒間そのままにしておくと、自動的に電話が切れます。

■ 通話を拒否する設定にしたときは

通話を拒否する操作を行うと、お断りメッセージ（「この電話はお受けすることはできません」）を3回流します。メッセージのあとは、自動的に電話を切ります。





- ・ナンバー・ディスプレイを利用しているときは、お断りメッセージを流して電話が切れたあと、相手の番号を自動的にお断り番号 (☞114ページ) に登録します。非通知・公衆電話・表示圏外からの電話のときは、電話を切ってから約2時間、その電話に対応したお断りを設定します。
- ・ [いいえ] をタッチすると、聞いてから応答画面に戻ります。

迷惑電話をお断りする


■ 通話内容を録音する設定にしたときは


通話内容を録音する操作を行うと、電話に出るからの通話内容を録音します。


録音時の動作は以下の通りです。

- ・録音を途中で止めるときは、親機では  を押して [はい] をタッチ、子機では   と順に押します。
- ・通話を保留したり、通話中に親子機間で内線通話をしたり、3者通話を行っているときは、録音は中断されます。親機または子機で外線通話に戻ると、録音が開始されます。
- ・迷惑電話お断り機能 ( 右記) を使用すると、録音は止まります。
- ・本体メモリーを使用しているときは、すべての録音を合わせて、最大 40 分または最大 60 件まで録音できます。1 件あたりの録音時間に制限はありませんが、1 件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、60 件録音できないこともあります。
- ・録音されている用件が多いとメモリー残量が少なくなり、録音やファクス受信ができなくなることがあります。不要な録音は消去してください。


■ 間違えて操作したときは

聞いてから応答画面表示中／メッセージ再生中：
受話器を取り上げてください。電話に出ることができます。また、子機で  を押して電話に出ることもできます。

相手先の番号がお断り番号に登録されたとき：
登録されたお断り番号を消去してください ( 114ページ)。

番号がわからないときは、お断り番号リストを印刷 ( 79ページ) して確認してください。

非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されたとき：

非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を「なし」に設定し直してください ( 113ページ)。

—<お知らせ>—

- ・キャッチホンでかかってきた通話では、聞いてから応答は使用できません。

セールスや勧誘、無言電話などの迷惑電話を受けたとき、チャイム音を鳴らして電話を切りやすくしたり、お断りメッセージを流したり、通話を録音しているとアピールしたりすることができます。また、迷惑電話が何度もかかってくるときは、電話に出ないでお断りすることもできます。

■ チャイムでお断り



操作するとチャイム音を鳴らします。「来客ですので失礼します」などと伝えることで、電話を切りやすくなります。

■ メッセージでお断り

操作するとお断りメッセージ (「この電話はお受けすることはできません」) を 3 回流します。メッセージのあと、自動的に電話が切れます。


■ 録音でお断り

操作すると、直前の15秒間の通話内容を再生し、相手に聞かせることができます。再生が終了すると、自動的に電話が切れます。


ただし、「聞いてから応答」での通話録音 ( 36ページ) やSD自動録音 ( 83ページ) での録音中に「録音でお断り」を行うと、通話内容が始めから再生されます。

■ 聞いてから応答

着信音が鳴っているとき、相手の方に名前確認メッセージを流して声や名前を確認してから電話に出たり、電話に出ないで着信お断りのメッセージを流したりすることができます。詳しくは、35ページをご覧ください。

さらに、ナンバー・ディスプレイ ( 107ページ) の契約をしているときにお断りの操作を行うと、同じ相手先からの電話を受けないように、着信お断りが設定されます。

電話番号を通知している着信：


電話が切れたあと、自動的にその番号をお断り番号 ( 114ページ) に登録します。

※お断り番号がすでに30件登録されているときは、登録されません。

番号非通知の着信、公衆電話や表示圏外からの着信：

電話を切ってから約2時間、非通知・公衆電話・表示圏外のお断りを設定します。常に設定したいときは113ページをご覧ください。



親機で操作する

1 通話中に  をタッチする

2 [チャイムでお断り] [メッセージでお断り] [録音でお断り] から設定したいお断りをタッチする

- ・「録音でお断り」は、録音内容を保存しません。録音内容を保存したいときは、「戻って録音」(☎98ページ)をお使いください。


子機で操作する

1 通話中に  を押し、[チャイムでお断り] [メッセージお断り] [録音でお断り] から  でお断りの種類を選ぶ


2  を押す

■ 間違えて操作したときは

「チャイムでお断り」の操作をしたとき

親機では、チャイムが鳴ってから10秒以内に  を押してください。お断り設定が中止されます。子機では中止できません。

「メッセージでお断り」「録音でお断り」の操作をしたとき

親機では、一度受話器を戻してから、もう一度取り上げます。子機では  を押します。

相手先の番号がお断り番号に登録されたとき



登録されたお断り番号を消去します (☎114ページ)。番号がわからない場合は、お断り番号リストを印刷 (☎79ページ) して確認してください。

非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されたとき

非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を [なし] に設定し直してください (☎113ページ)。

■ [チャイム後自動設定] を設定する

チャイムでお断りをしたあとに、相手に合わせたお断り設定を自動で行うかを設定できます。はじめは自動で行う設定です。

- ①  を押し、[着信お断りの設定] → [チャイム後自動設定] の順にタッチする
- ② [しない] または [する] を選んでタッチする
- ③  を押す

— <お知らせ> —

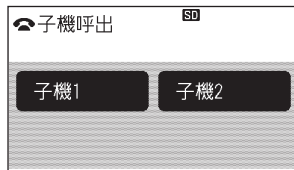
- ・「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の場合、キャッチホンでの通話中は、お断りの機能は働きません。
- ・こちらから電話をかけたときは、「メッセージでお断り」「録音でお断り」を使用することはできません。
- ・子機で「録音でお断り」を再生中に電話を切ると、再生を中断して通話を終了します。最後まで再生したいときは、再生が終わるのを確認してから充電器に戻してください。

内線通話する

親機と子機、子機と子機の間で通話できます。

親機から子機を呼び出す

- 1 受話器を取る
- 2 **子機呼出** をタッチする
- 3 呼び出したい子機の名前をタッチする



呼び出された側は電話を受ける操作をする

- ・相手の方が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- ・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示されています。ただし、相手の子機が使用者登録（☎31ページ）をしていると、その名前が表示されます。
- ・登録されているすべての子機を呼び出すときは、**一斉呼出** をタッチしてください。

- 4 通話が終わったら受話器を戻す

子機から親機や子機を呼び出す

- 1 子機を充電器から取る
- 2 内線/消去
保留 を押す
- 3 親機を呼び出す：**0わ** を押す
子機を呼び出す：通話したい子機の内線番号（**1あ**～**4た**）を押す

呼び出された側は電話を受ける操作をする

- ・相手の方が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、呼び出しをやめます。
- ・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示されています。ただし、相手の子機が使用者登録（☎31ページ）をしていると、その名前が表示されます。
- ・子機間の内線通話は親機を通して行われます。子機と子機が近くても、親機から離れていると通話できないことがあります。

- 4 通話が終わったら **切** を押す

- 5 充電器に戻す

■ 内線通話を受ける

親機で受ける：

- ① 呼出音が鳴ったら、受話器を取る
- ② 通話が終わったら、受話器を戻す

子機で受ける：

- ① 呼出音が鳴ったら、子機を充電器から取る
- ② **切** を押す
- ③ 通話が終わったら **切** を押す
- ④ 充電器に戻す

・内線通話に出られないときは、呼出音が鳴っているときに **停止** (親機) または **切** (子機) を押してください。呼出音が止まります。呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

■ 内線通話中に外線から電話がかかってきたら

親機のスピーカーから着信音が、子機のスピーカーから「ピピッ ピピッ」という音が、それぞれ聞こえます。

親機で話すには

- ① 受話器を戻す
- ② 再び受話器を取る

子機で話すには

- ① **切** を押す
- ② 子機の着信音が鳴ったら **切** を押す

親機で外線をとりつぐ／3者通話する

外線通話中に子機を呼び出し、外線をとりついたり、3人で通話したりすることができます。

- 1 外線通話中に **子機呼出** をタッチする

- 2 通話したい子機の名前をタッチする

- ・登録されているすべての子機を呼び出すときは、**一斉呼出** をタッチしてください。
- ・外線通話に戻るときは、**中止** を押してください。

呼び出された側は電話を受ける操作をする

- 3 外線をとりつぐとき：
子機に用件を伝えて受話器を戻す

- ・子機が外線通話になります。

3者通話するとき：**三者通話** をタッチする

- ・外線と内線の3者通話になります。通話が終わったら受話器を戻してください。

子機で外線をとりにつぐ／3者通話する

外線通話中に親機や他の子機を呼び出し、外線をとりについたり、3人で通話したりすることができます。

1 外線通話中に 内線/消去 **保留** を押す

2 0わ(親機) または 1あ ~ 4た(子機) を押す

- ・ 外線通話に戻るときは、内線/消去 **保留** を2回押してください。

呼び出された側は電話を受ける操作をする

3 外線をとりにつぐとき：

親機や他の子機に用件を伝えて **切** を押す

- ・ とりにつぎ先が外線通話になります。

3者通話するとき：メニュー/決定 を押す

- ・ 外線と内線の3者通話になります。通話が終わったら **切** を押してください。

■ 電話を自分ひとりでとりにつぐ(ひとり転送)

かかってきた電話を、自分ひとりで親機や他の子機にとりにつぐことができます。

親機から子機へ：

- ① 親機で通話中に **保留する** をタッチする
- ② 受話器を戻す
- ③ 子機を充電器から取って **電話** を押す

子機から親機/他の子機へ：

- ① 子機で通話中に 内線/消去 **保留** を押す
- ② 子機の **切** を押す、または充電器に戻す
- ③ 着信音が鳴ったら、親機の受話器を取る、または他の子機を充電器から取って **電話** を押す

ワンタッチダイヤルを使う

よく電話をかける相手先をワンタッチダイヤルに登録すると、かんたんな操作で電話をかけることができます。親機には4件、子機には3件のワンタッチダイヤルを登録できます。

親機のワンタッチダイヤルに番号を登録する

1 電話する を押し、**[ワンタッチ]**をタッチする



- ・ 待受画面(☎28ページ)が「ワンタッチ」のときは、そのまま手順2へ進んでください。

2 未登録の登録先(「登録できます」と表示されている項目)をタッチする

- ・ メニュー を押し、**[電話帳の設定]** → **[ワンタッチダイヤル登録]** → 登録したい番号をタッチで選んで **登録** の順にタッチしても、同じ画面が表示されます。

3 名前を入力し(☎46ページ)、**決定** をタッチする

- ・ 最大全角10文字/半角20文字まで入力できます。ただし、ワンタッチ画面では全角5文字/半角10文字までしか表示されません。
- ・ 「姓」と「名」の間にはスペースを入力してください。名前の発声時に、姓と名それぞれにアクセントを設定できます(☎45ページ)。
- ・ 名前を入力しないで登録すると、名前が表示されるところに電話番号が表示されます。
- ・ 名前を入力しなかったときは手順5へ進んでください。

4 「読み」が正しければそのまま、間違っていれば修正してから **決定** をタッチする

5 番号(最大32ケタ)を入力し、**決定** をタッチする

- ・ ナンバー・ディスプレイを利用して、着信時に電話帳の名前表示(☎107ページ)や着信鳴り分け(☎112ページ)をさせるときは、必ず市外局番から登録してください。





6 誰あてコール (☎ 109ページ) 利用時に音声でお知らせする名前をタッチする

※ ナンバー・ディスプレイのご契約が必要で
す (☎ 107ページ)。

・ 誰あてコールを設定しないときは、[特定しない]
をタッチで選んでください。





7 停止 を押す

■ 親機のワンタッチダイヤルを修正する


- ①  を押し、[ワンタッチ] をタッチする
- ②  をタッチする
- ③ 修正したい登録 ([ワンタッチ1] ~ [ワンタッチ4] のいずれか) をタッチして選び、
 をタッチする
- ④ 名前・「読み」・番号・誰あてコールで発声する名前を順に確認し、必要な項目を修正する
修正しない項目では、修正せずにそのまま進んでください。
- ⑤  を押す

■ 親機のワンタッチダイヤルを消去する

1 件ずつ消去

- ①  を押し、[ワンタッチ] をタッチする
- ②  をタッチする
- ③ 消去したい登録 ([ワンタッチ1] ~ [ワンタッチ4] のいずれか) をタッチして選び、
 を2回タッチする
- ④  を押す

すべて消去

- ①  を押し、[各種全消去] → [ワンタッチダイヤル] の順にタッチする
- ② [消去する] をタッチする

■ 親機のワンタッチダイヤルの読み上げを変更する (おしゃべり電話帳 ☎ 45ページ)

親機のワンタッチダイヤルで電話をかける

ワンタッチダイヤルを使って電話をかけるときは、☎ 33ページをご覧ください。

■ ワンタッチダイヤルをよく使う方は
待受画面 (☎ 28ページ) を「ワンタッチ」に変更することをおすすめします。

子機のワンタッチダイヤルに番号を登録する

親機と子機が電波の届く範囲になかったり、
親機が使用中のときは、子機での登録を
することができません。

1 登録したいワンタッチダイヤルを ① ② ③ から選んで押す

- ・ [ワンタッチ登録ありません] と表示されて数秒後、登録画面が表示されます。
- ・ すでにワンタッチダイヤルが登録されている場合は、相手の方に電話がかかります。

2 ダイヤルボタンで名前を入力する (☎ 46、48ページ)

- ・ 最大全角10文字/半角20文字まで入力できます。
名前を入力しないで登録すると、電話帳などで名前の代わりに電話番号が表示されます。

3 を押す

名前を入力しなかったときは手順5へ進んでください。

4 「読み」が正しければそのまま、間違っていれば修正してから を押す

「読み」は最大半角12文字までです。

5 ダイヤルボタンで電話番号を入力する (最大24ケタ)

- ・ ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳の名前表示 (☎ 107ページ) や着信鳴り分け (☎ 113ページ) をさせるときは、必ず市外局番から登録してください。

6 を押す

子機のワンタッチダイヤルで電話をかける

1 子機を充電器から取る

2 かけたい番号を登録したワンタッチダイヤルボタン (① ② ③ のいずれか) を押す

3 通話が終わったら を押す

4 子機を充電器に戻す

■ 子機のワンタッチダイヤルの登録を確認／修正する

- ① を押し、 で [電話帳] を選ぶ
 - ② を押し、 で [ワンタッチ登録] を選ぶ
 - ③ を押し、 で確認するワンタッチダイヤル番号を選ぶ
 - ④ を押し、行いたい手順を選ぶ
 - ・確認するときは
 で [登録確認] を選んで を押す
 - ・修正するときは
 で [変更] を選んで を押す
- 名前・「読み」・番号の順に確認し、必要な項目を修正して を押す

■ 子機のワンタッチダイヤルの登録を消去する

以下の操作で登録を消去できます。登録を変更したいときは、いったん消去してから、あらためて登録してください。

1件ずつ消去

- ① を押し、 で [電話帳] を選ぶ
- ② を押し、 で [ワンタッチ登録] を選ぶ
- ③ を押し、 で消去したい登録 ([ワンタッチ1] ~ [ワンタッチ3] のいずれか) を選ぶ
- ④ を押し、 で [消去] を選ぶ
- ⑤ を2回押す

すべて消去

- ① を押し、 で [全消去] を選ぶ
- ② を押し、 で [ワンタッチ] を選ぶ
- ③ を2回押す

— <お知らせ> —

- ・ 同じ番号をワンタッチダイヤルと電話帳の両方に登録している場合、ナンバー・ディスプレイ (☎ 107ページ) などの表示は、ワンタッチダイヤルに登録した名前が表示されます。

電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大100件(1番号ずつ)の番号を登録できます。同じ相手先で電話番号が複数あるときは、それぞれ別の名前で登録してください。

親機の電話帳に登録する

1 [電話帳を使う] をタッチする

- ・ 待受画面 (☎ 28ページ) が「ワンタッチ」のときは、 を押して [電話帳] をタッチします。

2 新規登録 をタッチする

- ・ を押し、[電話帳の設定] → [電話帳登録] → の順にタッチして、同じ画面を表示することができます。

3 名前を入力し (☎ 46ページ)、 をタッチする

- ・ 最大全角10文字／半角20文字まで入力できます。ただし、メニュー画面では全角6文字／半角12文字までしか表示されません。
- ・ 「姓」と「名」の間にはスペースを入力してください。名前の発声時に、姓と名それぞれにアクセントを設定できます (☎ 45ページ)。
- ・ 名前を入力しないで登録すると、名前が表示される場所に電話番号が表示されません。
- ・ 名前を入力しなかったときは手順 **5** へ進んでください。

4 「読み」が正しければそのまま、間違っていれば修正してから をタッチする

5 番号(最大32ケタ)を入力し、 をタッチする

- ・ ナンバー・ディスプレイを利用して、着信時に電話帳の名前表示 (☎ 107ページ) や着信鳴り分け (☎ 112ページ) をさせるときは、必ず市外局番から登録してください。

6 誰あてコール (☎ 109ページ) 利用時に音声でお知らせする名前をタッチする


- ※ ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です (☎ 107ページ)。
- ・ 誰あてコールを設定しないときは、[特定しない] をタッチしてください。

7 ほかの番号も登録するとき：


新規登録 をタッチし、手順 **3** からくり返す
登録を終わるとき： **停止** を押す

- ・ **取消** をタッチすると、1つ前の文字を訂正できます。


■ 親機の電話帳を修正する

- ① [電話帳を使う] をタッチする
 - ・ 待受画面 (☎28 ページ) が「ワンタッチ」のときは、 を押して [電話帳] をタッチします。
 - ・ 修正したい相手先を選ぶときは、検索 (☎49 ページ) を行うと便利です。
- ② **詳細** をタッチする
- ③ 修正したい相手先をタッチして選び **修正** をタッチする
- ④ 名前・「読み」・番号・誰あてコールで発声する名前を順に確認し、必要な項目を修正する
 - ・ 修正しない項目では、修正せずにそのまま進んでください。
- ⑤ **停止** を押す

■ 親機の電話帳を消去する

- ① [電話帳を使う] をタッチする
 - ・ 待受画面 (☎28 ページ) が「ワンタッチ」のときは、 を押して [電話帳] をタッチします。
 - ・ 消去したい相手先を選ぶときは、検索 (☎49 ページ) を行うと便利です。
- ② **詳細** をタッチする
- ③ 消去したい相手先をタッチして選び、**消去** を2回タッチする
- ④ **停止** を押す

■ 親機の再ダイヤルや着信記録を電話帳に登録する






- ①  を押す
 - ・ 待受画面 (☎28 ページ) が「電話画面」のときは、そのまま手順②へ進んでください。
- ② 再ダイヤルから登録するときは[再ダイヤル]、着信記録から登録するときは [着信記録] をタッチする
 - ・ 待受画面 (☎28 ページ) が「電話画面」のときは、[再ダイヤルを使う] [着信記録を見る] から選んでタッチします。
- ③ **詳細** をタッチする
- ④ 登録したい番号をタッチして選び、**新規登録** をタッチする
- ⑤ 名前を入力する (☎46ページ)
- ⑥ **決定** をタッチし、「読み」、番号を確認する
 - ・ 必要であれば修正します。不要な場合は、とばして次の項目へ進んでください。
- ⑦ 「誰あてコール」で発声する名前を選んでタッチする
- ⑧ **停止** を押す

子機の電話帳に登録する


よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。子機では、1台につき最大100件の電話番号を登録できます。


親機の電話帳と同じ電話番号を登録したいときは、親機に登録した電話帳を子機に転送できます(☎50ページ)。

親機と子機が電波の届く範囲になかったり、親機が使用中のときは、子機での登録をすることができません。

- 1  を押し、 で [電話帳] を選ぶ
- 2  を押し、 で [電話帳登録] を選ぶ
- 3  を押し、ダイヤルボタンで名前を入力する (☎46、48ページ)

- ・ 最大全角10文字/半角20文字まで入力できます。
- ・ 名前を入力しないで登録すると、電話帳などで名前の代わりに電話番号が表示されます。








- 4  を押し
・ 名前を入力しなかったときは手順 6 へ進んでください。

- 5 「読み」が正しければそのまま、間違っていれば修正してから  を押し
・ 「読み」は最大半角12文字までです。






- 6 ダイヤルボタンで電話番号を入力する(最大24ケタ)
・ ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳の名前表示 (☎107ページ) や着信鳴り分け (☎113ページ) をさせるときは、必ず市外局番から登録してください。






- 7  を押し

子機の電話帳を修正する

- ① 子機を充電器から取る
- ②  を押し
- ③  で修正したい相手の番号を選ぶ
- ④  を押し、 で [変更] を選ぶ
- ⑤  を押し
- ⑥ 名前、「読み」、番号を順に確認し、必要な項目を修正する
修正しない項目では、修正せずにそのまま  を押ししてください。
- ⑦  を押し







子機の電話帳を消去する

- ### 1件ずつ消去する
- ① 子機を充電器から取る
 - ②  を押し
 - ③  で消去したい相手の番号を選ぶ
 - ④  を押し、 で [消去] を選ぶ
 - ⑤  を2回押し

- ### すべて消去する
- ① 子機を充電器から取る
 - ②  を押し、 で [全消去] を選ぶ
 - ③  を押し、 で [電話帳] を選ぶ
 - ④  を2回押し

子機の再ダイヤルや着信記録を電話帳に登録する

親機と子機が電波の届く範囲になかったり、親機が使用中のときは、子機での登録をすることができません。



- ① 再ダイヤルから登録するときは  、着信記録を押すときは  を押し
- ②  で登録したい番号を選ぶ
- ③  を押し、 で [電話帳へ登録] を選ぶ
- ④  を押し、名前、「読み」、番号の順に設定して登録する

—<お知らせ>—

- ・ 親機の電話帳には、あらかじめ [>時報 117]、[>天気予報 177] の2件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは98件です。100件登録したいときは、この内容を消去してください。

ワンタッチダイヤルや電話帳の相手先を音声で読み上げる（おしゃべり電話帳）


おしゃべり電話帳は、親機のワンタッチダイヤルや電話帳の相手先を読み上げる機能です。はじめは、使用する設定になっています。

- 1  を押し、[電話帳の設定]
→ [おしゃべり電話帳] の順にタッチする
- 2 [使用する] または [使用しない] を選んで
タッチする
- 3  を押す

■ 「さん」の有無を設定する


相手先を登録したときは、名前の最後に「さん」を付けて読み上げる設定になっています。「さん」の有無は相手先ごとに設定できます。


① ワンタッチダイヤルの場合：

 を押し、[ワンタッチ] をタッチする

電話帳の場合：

[電話帳を使う] をタッチする

待受画面が「ワンタッチ」のときは、 を押して [電話帳] をタッチします。


- ② [詳細] をタッチする
- ③ [読み上げ] をタッチする
- ④ 変更したい相手先をタッチして選び、**〔さん〕有**
または **〔さん〕無** をタッチする
〔さん〕有 をタッチすると「さん」ありで、**〔さん〕無**
をタッチすると「さん」なしで再生します。
- ⑤  を押す

・あらかじめ登録されている [>> 時報 117] と [>> 天気予報 177] の2件には、「さん」を付けることはできません。

■ アクセントの位置を変更する


読み上げのアクセントの位置を、「姓」と「名」で個別に変更できます。「姓」と「名」の区切りは、電話帳の「読み」に入力されているスペースで判断されます。


① ワンタッチダイヤルの場合：

 を押し、[ワンタッチ] をタッチする

電話帳の場合：

[電話帳を使う] をタッチする

待受画面が「ワンタッチ」のときは、 を押して [電話帳] をタッチします。

- ② [詳細] をタッチする
- ③ 変更したい相手先をタッチして選び **〔読み上げ〕** を
タッチする
- ④ **〔アクセント〕** をタッチする
名前を音声でお知らせします。
- ⑤ 「姓」のアクセントを変更するときは **〔*〕**、「名」
のアクセントを変更するときは **〔#〕** を押す
- ⑥ 読み上げから3分以内に **〔1〕** ~ **〔9〕**、
〔0〕 で調整する
〔1〕 ~ **〔8〕** は、それぞれ左から数えて1~
8番目の文字にアクセントを付けます。**〔9〕**
はアクセントを自動設定し、**〔0〕** は平坦な
アクセントに設定します。
- ⑦ 設定が終わったら  を押す

—お知らせ—

- ・おしゃべり電話帳では、「読み」にアルファベット、数字、記号を使っていると、途中までしか発声できないことがあります。電話帳で電話をかけるときに確認してください。
- ・おしゃべり電話帳は、受話器を上げているときやオンフックダイヤルボタンを押したあとは働きません。
- ・おしゃべり電話帳では、記号は次のように発声します。
* (スター)、 # (シャープ)、 . (テン)、
@ (アット)、 & (アンド)

次の記号は発声しません。

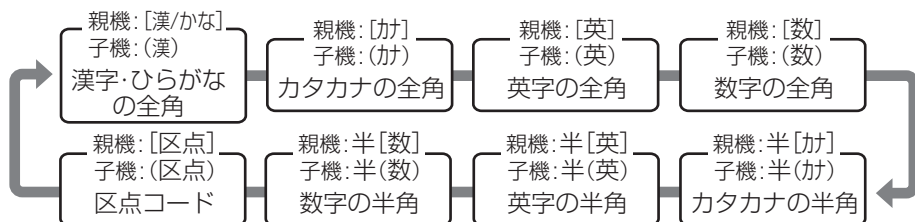
—_スペース , : / ! ? () []

文字を入力する

文字入力のしかた

1 入力する文字の種類（入力モード）を選ぶ

親機では 、子機では を押す（押すごとに切り替え）



2 親機ではタッチパネルで入力、 子機ではダイヤルボタンで文字を入力する

(入力例：親機)

ゆ う じ ん
や あ さ っ わをん
(2回) (3回) (2回) (1回) (3回)

3 漢字に変換するときは、親機では または で変換、子機では で変換する

○漢字、ひらがなを入力しているときは (親機) / (子機) で入力を確定する

4 入力が終わったら、親機では で決定、子機では で決定する

文字入力中の操作について

文字入力中の入力以外の操作については、以下の通りです。

■ カーソルを移動する

親機では 、子機では を押すと、カーソルが左右へ移動します。

■ 文字を消去する

(親機)： を押します（カーソルの1つ前を消去／カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）。すべての文字を一度に消すことはできません。

(子機)： を押します（カーソルの1つ前の文字を消去／カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）。2秒以上、 を押し続けると、すべての文字が消去されます。

■ 同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力する（「いえ」など）

文字を入力したあと、 (親機) / (子機) を押してカーソルを移動させてから、次の文字を入力します。

■ 文字と文字の間を空ける（姓と名の間を空けるときなど）

文字を入力したあとに (親機) / (子機) を押し、スペースを空けてから次の文字を入力してください。

文字入力一覧表（親機）

文字の入力方法は、**文字切替 [漢/かな]** を押すごとに切り替わります（※46ページ）。

○ひらがなと漢字 [漢/かな]

	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わをん	ゝ	。	バック
1回	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ			濁点 / 半濁点※ 文字を逆順で切替
2回	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を			
3回	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん			
4回	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	-			
5回	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	[空白]			
6回	ぁ			っ				ょ		。			
7回	い										、		
8回	う												
9回	え												
10回	お												

○英字 [英]/半[英]

	@./-	ABC	DEF	GHI	JKL	MNO	PQRS	TUV	WXYZ	,:!?
1回	@	A	D	G	J	M	P	T	W	,
2回	.	B	E	H	K	N	Q	U	X	:
3回	/	C	F	I	L	O	R	V	Y	!
4回	-	a	d	g	j	m	S	t	Z	?
5回	_	b	e	h	k	n	p	u	w	&
6回		c	f	i	l	o	q	v	x	/
7回							r	y	(
8回							s	z)	
9回									[
10回]	
11回										[空白]

・ 半角英字のアルファベットは大文字のみです。

○カタカナ [カナ]/半[カナ]

	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワをん	ゝ	。	バック
1回	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ			濁点 / 半濁点※ 文字を逆順で切替
2回	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	ヲ			
3回	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	ン			
4回	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	-			
5回	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ュ	ロ	[空白]			
6回	ァ			ッ				ョ		。			
7回	イ										、		
8回	ウ												
9回	エ												
10回	オ												

- ・ **ワをん** は、半角カナ入力時は、**ワをん** と表示されます。
- ・ 「。」 「、」 は、全角カナの入力時のみ表示されます。

○数字 [数]/半[数]

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#

○区点コード [区点]



1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
区点コードの入力									

・ 区点コードについては142ページをご覧ください。

※濁点・半濁点を付けたい文字を入力したあとにタッチしてください。「は」行の文字では、押すごとに濁点→半濁点→点なし→濁点…と切り替わります（半角カナでは、濁点・半濁点も1文字として入力されます）。

文字入力一覧表（子機）

ダイヤルボタンで文字を入力します。入力できる文字は、以下の通りです。

文字の入力方法は、を押すごとに切り替わります（46ページ）。

○ひらがなと漢字（漢）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*
1回	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	濁点 / 半濁点※
2回	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	
3回	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	
4回	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	-	
5回	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	[空白]	
6回	ぁ			っ				ょ		。	
7回	い									、	
8回	う										
9回	え										
10回	お										

○英字（英）／半（英）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*
1回	@	A	D	G	J	M	P	T	W	,	無効
2回	.	B	E	H	K	N	Q	U	X	:	
3回	/	C	F	I	L	O	R	V	Y	!	
4回	-	a	d	g	j	m	s	t	Z	?	
5回	_	b	e	h	k	n	p	u	w	&	
6回		c	f	i	l	o	q	v	x	(
7回							r		y)	
8回							s		z	[
9回]	
10回										[空白]	

・半角英字のアルファベットは大文字のみです。


○カタカナ（カナ）／半（カナ）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*
1回	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ	濁点 / 半濁点※
2回	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	ヲ	
3回	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	ン	
4回	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	-	
5回	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ユ	ロ	[空白]	
6回	ァ			ッ				ョ		。	
7回	イ									、	
8回	ウ										
9回	エ										
10回	オ										

・「。」、「、」は、全角カナの入力時のみ表示されます。

○数字（数）／半（数）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#

・を押したとき、全角入力時は「*」、半角入力時は「*」が表示されます。

○区点コード（区点）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
区点コードの入力									

・区点コードについては142ページをご覧ください。

※濁点・半濁点を付けたい文字を入力したあとにタッチしてください。「は」行の文字では、押すごとに濁点→半濁点→点なし→濁点…と切り替わります（半角カナでは、濁点・半濁点も1文字として入力されます）。

電話帳で電話をかける

よく使う相手先を電話帳に登録しておく、電話帳から相手先を選んで電話をかけることができます。

親機の電話帳でかける


電話帳を使って電話をかけるときは、33ページをご覧ください。

親機では、液晶ディスプレイに選んだ相手先の名前が表示され、さらに音声でもお知らせします（おしゃべり電話帳）。


■ 親機で33ケタ以上の番号をダイヤルする

電話帳には、電話番号を最大32ケタまでしか登録できません。33ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます（チェーンダイヤル機能）。

① [電話帳を使う] をタッチする

・ 待受画面（☎ 28 ページ）が「ワンタッチ」のときは、 を押して [電話帳] をタッチします。



② 最初の番号をタッチして選び、受話器を取る


③ すぐに  を押して [電話帳] をタッチする

④ 次の番号をタッチして選び、[電話をかける] をタッチする


⑤ 通話が終わったら受話器を戻す

■ 相手先を検索する

電話帳表示中に  をタッチすると、検索画面が表示されます。検索したい相手先の「読み」の頭文字を画面から入力し、 をタッチします。

・ 「お父さん」を探すときは、 を5回タッチして「オ」で検索するなど、同じ行の文字を必要な回数タッチして頭文字を入力してください。

・ 濁点・半濁点は入力できません。


・ 数字や記号から始まる相手先の場合は、 をタッチします。



■ おしゃべり電話帳を設定／解除する（☎ 45ページ）


子機の電話帳でかける

1 子機を充電器から取る


2  を押す

3  で電話をかけたい相手先を選ぶ

・ ダイヤルボタンで相手先を検索できます。「お父さん」を探すときは「あ行」に対応した  を押す、「学校」を探すときは「か行」に対応した  を押すというように、行単位でのおおまかな検索になります。

目的の相手先が選ばれなかったときは、さらに  で選んでください。

4  を押す

5 通話が終わったら  を押す

6 充電器に戻す

■ 子機で25ケタ以上の番号をダイヤルする


電話帳には、電話番号を最大24ケタまでしか登録できません。25ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます（チェーンダイヤル機能）。

① 子機を充電器から取る

②  を押す


③  で番号を選ぶ

④  を押す

⑤ 電話が発信される前に  を押す

⑥  で次の番号を選ぶ

⑦  を押す

⑧ 通話が終わったら  を押す


⑨ 充電器に戻す



■ 子機の電話帳で、184（非通知）や186（通知）を付けて電話をかけるときは

184や186などの番号を電話帳に登録した番号の前に入れてダイヤルします。

① 子機を充電器から取る

②  を押す


③  で相手の番号を選ぶ

④  を押し、 で [特番ダイヤル] を選ぶ

⑤  を押し

⑥ ダイヤルボタンで184（非通知）や186（通知）などの番号を押す（最大8ケタ）

⑦  を押し

⑧ 通話が終わったら  を押し

⑨ 充電器に戻す


—<お知らせ>—

- ・ チェーンダイヤル機能で33ケタ以上の番号をダイヤルした場合、再ダイヤルしても同じ番号をダイヤルすることはできません。
- ・ 親機でコピー中、印刷中、録音データ保存中のときは、子機で電話をかけることはできません。

電話帳を転送する

親機と子機の間で電話帳を転送し、同じ相手先を登録することができます。転送した電話番号は消えません。

親機の電話帳を子機に転送する

1  を押し、[電話帳の設定]
→ [子機転送] の順にタッチする

2 電話帳の転送方法を選んでタッチする


すべての相手先を転送する：

[全件転送] をタッチして手順4へ

相手先を選んで転送する：

[1件毎転送] をタッチして手順3へ

3 転送したい相手先をタッチして選んで








 をタッチする

4 転送先の子機を選んでタッチする








- ・ 25ケタ以上の番号で登録している相手先があるときは、[転送できないデータがあります 操作を続けますか?] と表示されます。[はい] をタッチすると、それ以外の相手先を転送します。

■ 子機から電話帳を転送する

1件ずつ転送

- ①  を押す
- ②  で転送したい相手先を選ぶ
- ③  を押し、 で [転送] を選ぶ
- ④  を押し、 で転送先を選ぶ
- ⑤  を押す

すべて転送

- ①  を押し、 で [電話帳] を選ぶ
- ②  を押し、 で [電話帳全転送] を選ぶ
- ③  を押し、 で転送先を選ぶ
- ④  を押す

- ・転送先には、子機のディスプレイに表示されている内線番号または使用者登録（☎31ページ）で設定した名前が表示されます。
- ・親機が使用中などのときは、「ピーピー」とエラー音が鳴って転送できません。

—<お知らせ>—

- ・親機から子機へ、半角13文字以上の「読み」で登録している相手先を転送すると、「読み」は12文字までしか転送できません。
- ・子機で転送するときは、できるだけまわりに他の子機や電気製品などがいない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。また、電源コードを子機や充電器の近くに束ねて置くと、転送できないことがあります。
- ・転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
- ・名前の先頭が“)”で始まっている電話番号（天気予報、時報）は、転送できません。
- ・転送中に電話がかかってくると、転送を中断し、電話の着信音が鳴ります。通話が終わったら、もう一度転送をやり直してください。
- ・名前と電話番号が同じデータがすでに登録されている場合、そのデータは転送されません。

電話の詳細メニューについて

電話帳や再ダイヤル、着信記録、ワンタッチダイヤル詳細メニューでは、登録した電話帳の修正や消去などができます。

詳細メニューを表示するときは、各画面の右上にある **詳細** をタッチします。

[電話帳] をタッチ →電話帳詳細メニュー

詳細 をタッチすると、登録された電話帳の名前と番号が一覧で表示されます。

<電話帳> 1/ 7件	
お母さん	090XXXXXXXX
お父さん	090XXXXXXXX
お兄さん	090XXXXXXXX
お姉さん	090XXXXXXXX
学校	03XXXXXXXX

通常のメニューに戻るときは **戻る** をタッチします。

■ 相手先の名前を再生する（読み上げる）：

読み上げ をタッチします。

「さん」の有無を設定したり、アクセントを調整したりできます（☎45ページ）。

■ 登録を修正する：☎43ページ

■ 登録を消去する：☎43ページ

■ 登録された詳しい内容を表示する：

登録内容 をタッチします。

名前:お母さん
読み:カアサ
番号:090XXXXXXXX
誰あて:特定しない

■ 電話帳の内容を印刷する

記録紙をセット（☎76ページ）して **コピーする** を押します。

[再ダイヤル] をタッチ →再ダイヤル詳細メニュー

詳細 をタッチすると、再ダイヤルの名前や番号が一覧で表示されます。

<再ダイヤル> 1/ 6件	
10/14 16:56	090XXXXXXXX
10/14 16:56	03XXXXXXXX
10/14 16:56	03XXXXXXXX
10/14 16:56	03XXXXXXXX
10/14 16:56	080XXXXXXXX

通常のメニューに戻るときは **戻る** をタッチします。

■ 再ダイヤルの番号を電話帳に登録する：

☎43ページ

■ 名前と番号を全桁表示する：

全桁表示 をタッチします。

■ 再ダイヤルを消去する：☎34ページ

[着信記録] をタッチ →着信記録詳細メニュー

[詳細] をタッチすると、着信記録の名前や番号が一覧で表示されます。

＜着信記録＞ 1/17件	
10/15 16:38 お父さん	森
10/14 17:42 090XXXXXXXX	森
10/14 17:22 090XXXXXXXX	
10/14 17:22 090XXXXXXXX	
10/14 17:20 090XXXXXXXX	

通常のメニューに戻るときは [戻る] をタッチします。

■ 着信記録の番号を電話帳に登録する：


☎ 43ページ

■ 名前と番号を全桁表示する：

[全桁表示] をタッチします。

■ 着信記録を消去する：☎ 111ページ

■ 着信記録の内容を印刷する

記録紙をセット (☎ 76ページ) して  を押したあと、[印刷する] をタッチします。

[ワンタッチ] をタッチ →ワンタッチダイヤル詳細メニュー

[詳細] をタッチすると、ワンタッチダイヤルの名前と番号が一覧で表示されます。

＜ワンタッチダイヤル＞	
①学校	03XXXXXXXX
②友人	090XXXXXXXX
③お父さん	03XXXXXXXX
④登録できません	

通常のメニューに戻るときは [戻る] をタッチします。

■ ワンタッチダイヤルに登録する：

[登録できません] と表示されている項目 → [登録] の順にタッチし、名前と「読み」、番号の入力、誰あてコール設定を行って登録します。

■ 相手先の名前を再生する（読み上げる）：

[読み上げ] をタッチします。

「さん」の有無を設定したり、アクセントを調整したりできます (☎ 45ページ)。

■ ワンタッチダイヤルを修正する：☎ 41ページ

■ ワンタッチダイヤルを消去する：☎ 41ページ

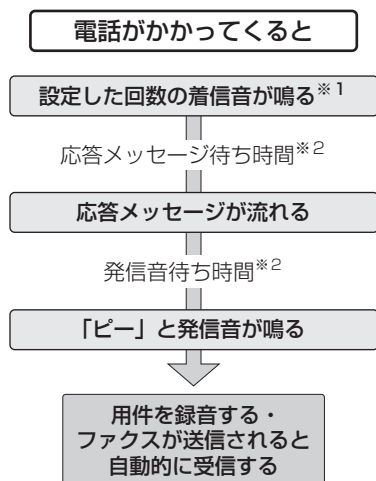
■ 登録された詳しい内容を表示する：

[登録内容] をタッチします。

留守設定する

留守設定しておくと、外出中に相手の方の用件を録音したり、ファクスを自動受信したりできます。

- ・すべての録音を合わせて、最大約40分間または60件まで録音できます。用件1件あたりの録音時間は最大約30秒です（1件あたりの録音時間は変更できます。「留守録音時間」[P.139](#)ページ）。
- ・SDカードを本機に取り付けると、録音した内容の保存先がSDカードに設定されます（[P.80](#)ページ）。



- ※1 着信音の回数を変更できます（「留守時応答回数を設定する」[P.59](#)ページ）。
- ※2 応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は、ファクスを受信するために必要な無音時間です。変更することもできます（[P.139](#)ページ）。ただし、短くするとファクスを受けにくくなる場合があります。

親機で留守設定する

1 留守 を押す

- ・応答メッセージが流れ、 が点灯して留守設定になります。
- ・録音できる残り時間が約5分以下になると音声でお知らせします。不要な録音を消去（[P.55](#)ページ）するか、受信ファクスを消去／印刷（[P.74](#)ページ）して、メモリーの空き容量を増やしてください。

親機で留守設定を解除する

1 留守設定時に を押す

- ・ が消灯して留守設定が解除されます。新しい録音があるとき（ 点滅時）は、自動的に再生されます。再生中にできる操作については、56ページをご覧ください。
- ・再生が終わると、録音の消去などができます。画面の表示に従って操作してください。

■ が点滅しているときは

- ・留守設定中に点滅しているときは、新しい録音があります（今から録音、戻って録音、メモ録音も含む）。また、子機には[新着あり]と表示されます。
- ・留守を解除したあとも点滅（間隔の短い点滅）しているときは、未再生の録音があります。約3秒以上再生すると再生済みになり、すべて再生済みになると消灯します。
- ・未再生録音を聞くとときや、録音を聞き直すときは、「録音を再生／消去する」（[P.55](#)ページ）の操作をします。

■ が点滅しているときは

確認していない受信ファクスがあります。すべての受信ファクスを表示（[P.71](#)ページ）すると点滅が止まります。

■ 子機で留守設定をする／解除する

- ① を押し、 で [留守番電話] を選ぶ
 - ② を押し、 で [留守設定切替] を選ぶ
 - ③ を押し、 で [設定] または [解除] を選ぶ
 - ④ を押す
- ・子機では、留守設定を解除しても用件の自動再生はしません。

-<お知らせ>-

- ・自動着信すると、相手の方に通話料金がかかります。
- ・相手の方が自動送信でファクスを送っているときは、「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります（ファクス受信可能な場合のみ）。
- ・応答メッセージが流れている間、相手の方の音がスピーカーから聞こえます（「お声拝聴」[P.139](#)ページ）。応答メッセージが流れている間や録音している間に電話に出ると通話できます。

録音を再生／消去する

以下の操作で、各種の録音（留守録音、今から録音、戻って録音、メモ録音、SD自動録音）を再生できます。

親機で録音を再生／消去する

1 待受画面で [用件を再生する] をタッチする

- 待受画面が「電話画面」「ワンタッチ」の場合、 をタッチします。

2 再生方法を選んでタッチする



- 未再生の録音を聞く：[新しい用件を聞く]
- 始めからすべての録音を聞く：
[用件を全て聞く]
- 用件を選んで再生する：[一覧から探す]
(☞右記)

3 [新しい用件を聞く] [用件を全て聞く] の場合 再生が終わったら、操作を選んでタッチする

- 聞き直す：[聞き直す]
- 再生した録音をすべて消去する：
[消去する] →
- 終了する：[終了する]

[一覧から探す] の場合

- 再生が終わったら、一覧が表示される
(☞右記)

- ・約3秒以上再生した録音は再生済みになります。
- ・再生中の録音を消去するとき： 2回

■ 親機で録音をすべて消去する

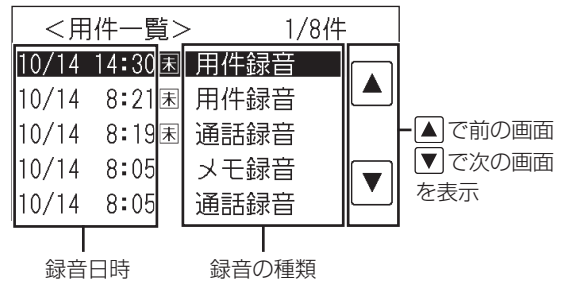
メモリーに保存されている録音をすべて消去できます。

- ① を押し、[各種全消去] → [用件録音] の順にタッチする
- ② [消去する] をタッチする

- ・ を押したあと、[留守番電話の設定] → [用件録音全消去] → [消去する] の順にタッチし、消去することもできます。
- ・ 用件一覧で → の順にタッチしても消去できます。

■ 用件一覧について

再生の終了、または [一覧から探す] をタッチすると以下の画面が表示されます。



録音日時

録音の種類

用件録音：留守番電話の録音
(☞54ページ)

通話録音：通話中の録音
(☞35、97、98ページ)

メモ録音：伝言などのメモ録音
(☞97ページ)

自動録音：SD自動録音
(☞83ページ)

- ・未再生の用件には と表示されています。
- ・再生するとき、再生したい用件をタッチで選んで をタッチします。
- ・消去するとき、消去したい用件をタッチで選んで を2回タッチします。
- ・すべての録音を消去するとき、 → の順にタッチします。

■ 親機のメモリーの残量を確認する（ファクス/録音メモリー残量表示）

- ① を押す
- ② [メモリー残量の表示] をタッチする
- ③ 確認したら を押す

子機で録音内容を再生／消去する

親機のメモリー（本体またはSDカード）に保存されている録音を再生できます。

1 を押し、 で [留守番電話] を選ぶ

2 を押し、 で [用件再生] を選ぶ

3 を押し

- ・再生が始まります。留守設定しているときは留守設定以降の録音を、留守設定していないときは未再生の録音を再生します。どちらの録音もないときは、1件目から再生します。
- ・録音内容は、約3秒以上再生すると再生済みになります。
- ・再生中の録音を1件消去するときは、 と順に押します。

■ 子機で録音をすべて消去する

① を押し、 で [留守番電話] を選ぶ

② を押し、 で [録音全消去] を選ぶ

③ を2回押し

■ 通話中に再生する

親機で再生する：

- ① 通話中に → [再生] の順にタッチする
- ・「SD自動録音」(☎83ページ) など、通話の録音中は用件を再生できません。このときは、一度録音を止めてから、再生を行ってください。
 - ・再生をやめるときは を押します。
 - ・再生中でも通話できます。ただし、戻って録音 (☎98ページ) の再生中は通話できません。

子機で再生する：

① 通話中に を押し、 で [録音再生] を選ぶ

② を押し

- ・再生をやめるときは を押します。
- ・再生中は通話できません。

再生中にできる操作

再生を途中でやめる

親機：

子機：（通話中に再生したときは ）

再生中の録音を聞き直す

親機：

子機：

- ・再生が約3秒以内のときに操作すると、1つ前の録音に戻ります。

次の録音にとばす

親機：

子機：

1つ前の録音に戻す

親機：3秒以上再生して 2回

子機：3秒以上再生して 2回

- ・聞きたい録音まで戻すときは、ボタンをくり返し押します（1回押すごとに1つ戻ります）。

早聞きや遅聞きをする（本体メモリーの録音のみ）

親機：

子機：

- ・ボタンを押すたびに、速い→通常の再生→速い…と切り替わりま

10秒戻し再生をする（SDカードの録音のみ）

親機：

子機：

30秒送り再生をする（SDカードの録音のみ）

親機：

子機：

—<お知らせ>—

- ・録音されている用件が多いと、メモリー残量が少なくな

応答メッセージを選ぶ

留守設定の応答メッセージを3種類から選ぶことができます。

固定メッセージ1
「ただ今、留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください」
固定メッセージ2
「ただ今、電話に出ることができません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください」
自作メッセージ
自分で録音したメッセージが流れます (☎右記)。

ただし、録音やファクス受信ができなくなったときは、以下の固定メッセージが流れます。

ファクス受信できる・録音できない：

「ただ今、留守にしております」または「ただ今、電話に出ることができません」※に続けて「ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直しください」

ファクス受信できない・録音できる

「ただ今、留守にしております」または「ただ今、電話に出ることができません」※に続けて「ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください」

ファクス受信も録音もできない

着信音が鳴り(25回)、「ただ今、留守にしております」または「ただ今、電話に出ることができません」※に続けて「恐れ入りますが後程おかけ直しください」(3回)

ただし、リモート操作の暗証番号(☎58ページ)が登録されていないと応答しません。

※固定メッセージ1または2のどちらに設定していたかで変わります。自作メッセージに設定していたときは、その前に設定していた固定メッセージに応じて変わります。

応答メッセージを選ぶ

1 を押し、[留守番電話の設定] → [応答メッセージ] の順にタッチする

2 [固定メッセージ1] [固定メッセージ2] [自作メッセージ] のいずれかをタッチで選んで **決定** をタッチする

- ・ 応答メッセージの内容を確認したいときは、確認したいメッセージをタッチで選んで **再生** をタッチしてください。再生後、待受画面に戻ります。
- ・ 自作メッセージを録音していないときに [自作メッセージ] をタッチすると録音画面になります。

自作メッセージを録音する

1 を押し、[留守番電話の設定] → [応答メッセージ] の順にタッチする

2 [自作メッセージ] ⇒ [録音する] の順にタッチする

- ・ すでに録音しているときは、**再録音** → [消去する] の順にタッチすると、自作メッセージが消去され、録音画面が表示されます。

3 10秒以内に受話器を取る

4 10秒以内に **決定** を押し、受話器でメッセージを録音する

- ・ メッセージは20秒以下にしてください。長すぎるとファクスを受信できないことがあります。

5 録音が終わったら を押す

- ・ 録音したメッセージが再生されます。

6 再生が終わったら **決定** をタッチする

7 受話器を戻す

■ 自作メッセージを消去する

- ① を押し、[留守番電話の設定] → [応答メッセージ] の順にタッチする
- ② [自作メッセージ] をタッチで選んでいる状態で **消去** をタッチする
- ③ [消去する] をタッチする

- ・ 応答メッセージに自作メッセージを設定していたときは、応答メッセージが自作メッセージの前に設定されていた固定メッセージに変わります。

外出先から録音を聞く (リモート操作)

外出先から電話をかけて、録音を聞くことができます。リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録と留守設定（☎ 54ページ）をしておく必要があります。

留守設定しないときは、次のいずれかの設定をしてください。

- ・「在宅時応答回数」を設定する（☎ 140ページ）
（「無制限呼出」ではリモート操作できません）
- ・「ファクス自動受信」を設定する（☎ 70ページ）
- ・「ファクス優先」を設定する（☎ 139ページ）
（「ファクス専用」ではリモート操作できません）

暗証番号を登録する

- 1 **メニュー** を押し、[留守番電話の設定]
→ [外出先での操作]
→ [リモート暗証番号]
→ [登録] の順にタッチする

- 2 4ケタの暗証番号を入力し、**決定** をタッチする

- 3 **停止** を押し

登録した暗証番号を消去する

- ① **メニュー** を押し、[留守番電話の設定]
→ [外出先での操作] → [リモート暗証番号]
→ [消去] の順にタッチする
- ② [消去する] をタッチする
- ③ **停止** を押し

暗証番号について

登録した暗証番号は、忘れないように153ページのリモート操作手順カードに記入してください。外出するときは、カードを切り取ってお持ちください。

暗証番号を忘れてしまったときは、確認はできませんので、新しい暗証番号を登録（上書き）してください。暗証番号を上書きしても、録音内容は消えません。

外出先からリモート操作する

- ① 自宅に電話をかける
- ② 応答メッセージが聞こえている間に[#]を押す
- ③ 暗証番号を入力する
- ④ [#]を押す
- ⑤ 音声メッセージのあと、下記のリモート操作番号を入力する
- ⑥ リモート操作が終わったら電話を切る

録音内容を聞く	[1][#]
速聞きや遅聞きをする（本体メモリーの録音のみ）	再生中に [1][#] (押すたびに「速聞き」→「遅聞き」→「普通」→「速聞き」…)
録音内容を聞き直す	再生中に [3][#]
1件前の録音を聞く	再生中に [3][#][3][#]
次の録音内容を聞く	再生中に [4][#]
再生の停止	再生中に [5][#]
10秒戻す（SDカードの録音のみ）	再生中に [8][#]
30秒送る（SDカードの録音のみ）	再生中に [9][#]
再生済みの録音を消す	停止中に [0][1][#]
録音内容をすべて消す	停止中に [0][2][#] 未再生の録音も消えます。 応答メッセージは消えません。
留守を設定／解除する	停止中に [6][#]

録音を再生すると

留守設定しているときは留守設定以降の録音を、留守設定していないときは未再生の録音を再生します。どちらの録音もないときは、1件目から再生します。

トールセーバーについて

トールセーバーを使うと、通話料金をかけずに未再生録音の有無がわかります。詳しくは「トールセーバーを設定する」(☎ 59ページ)をご覧ください。

—お知らせ—

- ・ 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
- ・ リモート操作中に1分以上操作をしないと電話が切れます。
- ・ メッセージの再生中にリモート操作を行うと、音声と操作音が重なって正しく動作しないことがあります。そのときは、もう一度やり直してください。

留守番電話の応答回数を変更する

留守時応答回数を設定する

留守設定で応答メッセージが流れるまでの応答回数（呼出音の回数）を変更できます。はじめは〔4回〕に設定されています。

応答回数を7回以上に設定すると、相手の方がファクスを自動送信した場合などに、ファクスに切り替わらないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、応答回数を6回以下に設定してください。

1 を押し、〔留守番電話の設定〕

→〔留守時応答回数〕


→ **変更** の順にタッチする


・下記の「トールセーバー」を設定しているときは、〔応答回数を変更するとトールセーバーは解除されます よろしいですか?〕と表示されます。そのまま続けるときは〔はい〕を押してください。

2 をタッチして応答回数（1～25回）を選び、**決定** をタッチする

3 を押す


■ トールセーバーを設定する

トールセーバーは、外出先からリモート操作（ 58ページ）をしたときに、未再生録音の有無によって応答回数を変える機能です。未再生録音があるときは呼出音2回、未再生録音がないときは呼出音5回で応答メッセージが流れます。3回目の呼出音が聞こえたときは未再生録音がありませんので、そのまま電話を切れば通話料金はかかりません。

①  を押し、〔留守番電話の設定〕
→〔外出先での操作〕→〔トールセーバー〕の順にタッチする

②〔使用する〕をタッチする

・上記の「留守時応答回数」を設定しているときは、〔留守時の応答回数の設定は無効になります よろしいですか?〕と表示されます。そのまま続けるときは〔はい〕を押してください。

③  を押す

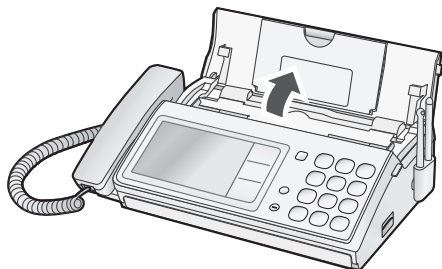
・トールセーバーを解除するときには、手順②で〔使用しない〕をタッチしてください。

ファクスを送る

親機でお話してからファクスを送る

親機で電話をかけて、相手の方とお話してからファクスを送る操作です。

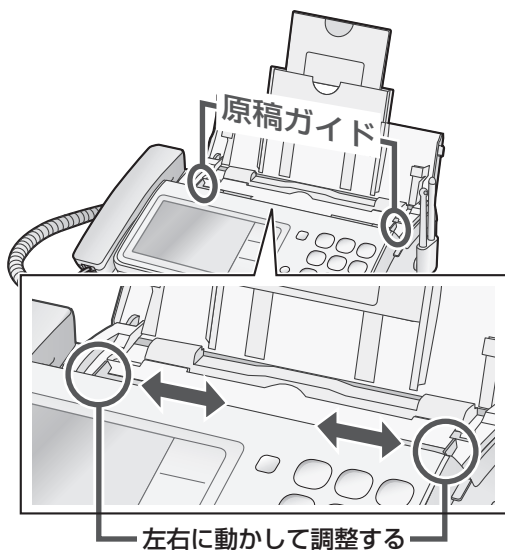
1 記録紙トレイを開ける



2 延長トレイを引き出す



3 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

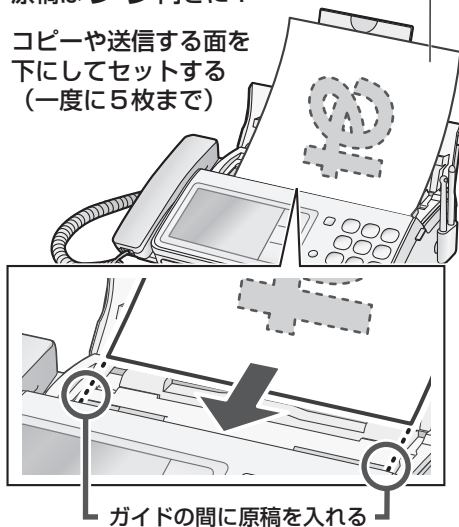


4 原稿をセットする

原稿は**ウラ**向きに！

コピーや送信する面を下にしてセットする
(一度に5枚まで)

原稿をこの向きで入れると、相手の方に正しい向きで送信できます。



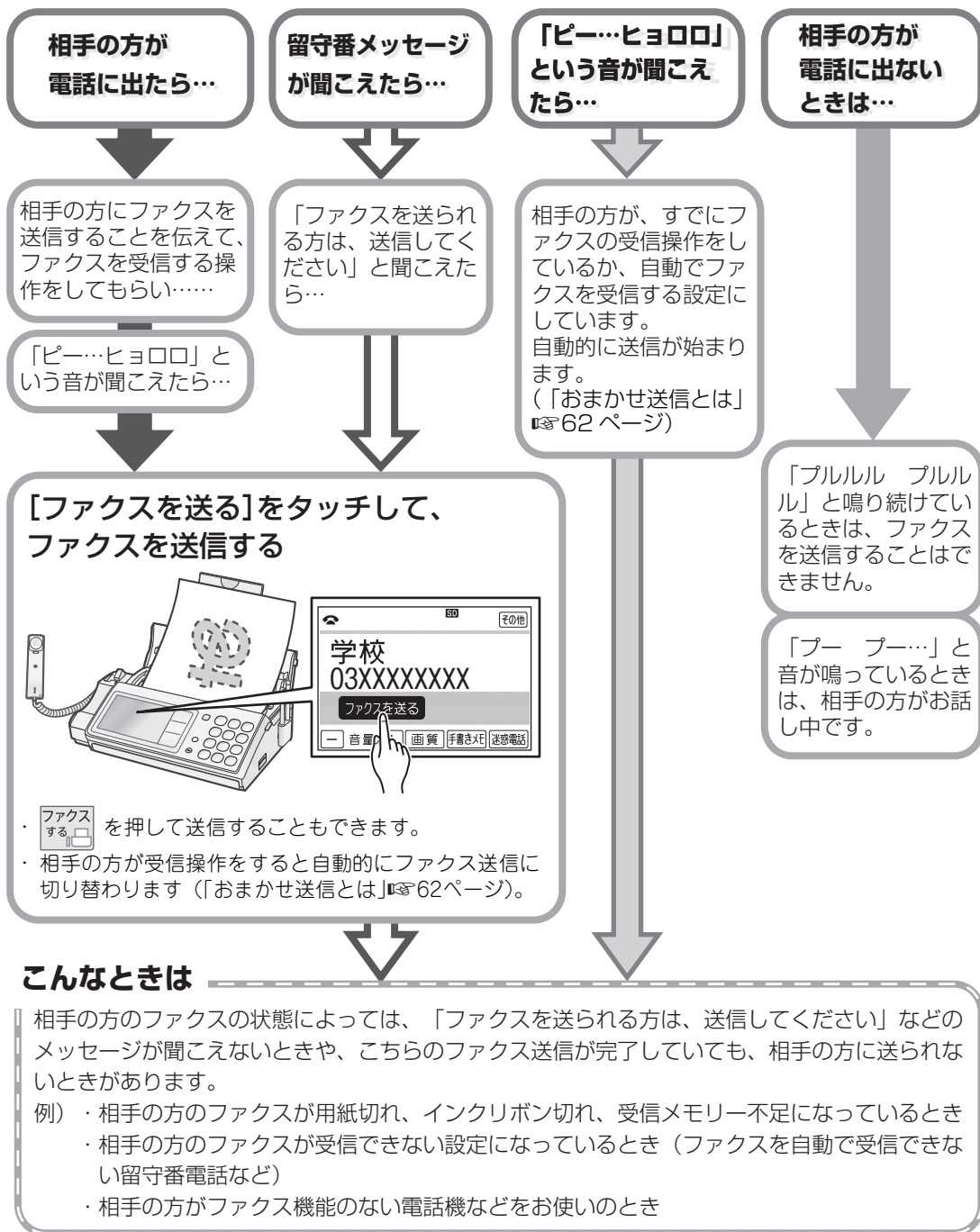
- ・一度にセットできる原稿は5枚までです。6枚以上の原稿があるときは、セット枚数が5枚を超えないように、1枚ずつ追加してください。また、新しい原稿は一番上に追加してください。
- ・セットできる原稿の条件や読み取れる範囲については63ページをご覧ください。
- ・原稿が自動的に少し引き込み始めたら、手を離してください。
- ・原稿をセットしたあと、画質を選ぶことができます(☎63ページ)。画質を[精細]や[写真]にすると、通信時間が長くなります。

5 電話をかける (☎32ページ)

- ・先にダイヤルしてから、受話器を取って電話をかけることもできます。

次ページへ

6 ファクスを送る






ファクス

7 受話器を戻す


- ・ 送信が始まります。
- ・ 途中でやめるとき：送信前は受話器を戻す／受話器を上げていないときは「切る」をタッチする
送信中は を押す（原稿がつまった状態になります）

■ 子機でファクスを送る

- ① 親機に原稿をセットする
(☎60ページ 手順 1~4)
- ② 子機で電話をかける
- ③ 相手の方が電話に出たら、ファクスを送信することを伝え、ファクスを受信する操作をしてもらう
- ④ 「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたら、 を押し、 で [FAX送信] を選択していることを確認する
- ⑤  を押し
- ⑥ 子機を充電器に戻す

・上記③で「ファクスを送信してください」という留守番メッセージや、相手の方が電話に出ないで「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたときも、続けて④~⑥の操作をしてください。

■ 原稿を取り出す

- ① 一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く
- ②  を押し
- ③ [原稿の排出] をタッチする


・原稿が排出されます。排出されないときは、「原稿がつまったときは」(☎127ページ)をご覧ください。

■ おまかせ送信とは

親機、子機ともに動作します。

相手の方が受信操作をすると「ピー」という音(ファクス受信音)が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。

※【 】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

※お使いの環境などによっては、おまかせ送信が動かないことがあります。「ピー」という音が聞こえても送信が始まらない場合は、親機をお使いのときは  を、子機をお使いのときは「子機でファクスを送る」(☎上記)の操作を行って送信してください。

親機でお話ししないでファクスを送る


お話ししないでファクスを送ることができます。以下のようなときは、ファクスを送信できません。「親機でお話ししてからファクスを送る」(☎60ページ)をご確認のうえ、相手の方とお話ししてからファクスを送信してください。

- ・相手の方が自動でファクス受信になる設定をしていないとき
- ・相手の方がファクス受信の操作をしていないとき
- ・相手の方が電話に出ないとき など


1 原稿をセットする

(☎60ページ 手順 1~4)

2 ダイヤルボタンで電話番号を入力する



- ・  をタッチすると、画質を選ぶことができます(☎63ページ)。

3 [ファクスを送る] をタッチする

- ・送信が始まります。
- ・途中でやめるときは  を押します(原稿がつまった状態になります)。

■ 原稿を取り出すときは(☎左記)

■ 電話帳・再ダイヤル・着信記録・ワンタッチダイヤルでファクスを送るときは

- ① 原稿をセットする(☎60ページ 手順 1~4)
- ②  を押し
- ③ 電話帳・再ダイヤル・着信記録・ワンタッチダイヤルのいずれかから相手先を選ぶ
 - ・  をタッチすると、画質を選ぶことができます(☎63ページ)。
- ④ [ファクスを送る] をタッチする
送信が始まります。

・相手の方とお話ししてから送りたいときは、60ページをご覧ください。

—<お知らせ>—

- ・本機には、自動的に再ダイヤルしてファクスを送り直す機能はありません。
- ・相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど、[応答がありません]と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」(☎60ページ)の方法で送信してください。

コピー／ファクス送信の画質・濃度を選ぶ

1 ファクス送信やコピー実行の前に

画質 をタッチする

- ・ファクスでは番号入力または相手先を選んだとき、コピーでは原稿セット時に **画質** が表示されます。

2 設定したい画質をタッチする



【普通字】 【普通字 濃く】
文字が大きくはっきり見えるときに選びます。

【小さな字】 【小さな字 濃く】
【普通字】の2倍の密度で読み取ります。文字が小さいときに選びます。画像が小さくなる（縮小される）ことはありません。

【精細】 【精細 濃く】
【普通字】の4倍の密度で読み取ります。細かい線を使った図面や、さらに小さな字のときに選びます。受信側に【精細】がないときは、自動的に【小さな字】に切り替わります。

【写真】 【写真 濃く】
濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真のときに選びます。

- ・タッチして画質を選ぶと、元の画面に戻ります。
- ・原稿の文字などが薄いときは、各画質の【濃く】をタッチします。

- ・画質を選ばなかったときは、ファクス送信では【普通字】、コピーでは【小さな字】になります。
- ・コピーのときは、【普通字】（【普通字：濃く】）を選んで、【小さな字】（【小さな字：濃く】）に設定されます。

使用できる原稿

■ セットできる原稿のサイズ

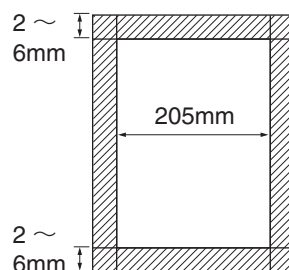
幅 148mm ~ 210mm /
長さ 128mm ~ 500mm /
厚さ 0.06mm ~ 0.18mm
(厚さのめやす 新聞紙：約0.05~0.06mm
上質紙：約0.10mm)

■ 原稿を読み取れる範囲

原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

最大読み取り幅：
205mm

最大読み取り長：
送信原稿長（128～
500mm）から上下
とも2～6mmを引
いた長さ



■ 一度に2枚以上セットできない原稿

- ・長さ297mmを超える原稿
- ・厚さ0.12mmを超える原稿
- ・厚さや大きさの異なる原稿

■ そのままではセットできない原稿

次のような原稿は複写機でコピーをとってからセットしてください。そのままセットすると、故障の原因になります。

- ・サイズが小さすぎるもの（写真など）
- ・フィルム状のもの、透明のもの
- ・紙の厚さが薄すぎるもの
- ・しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
- ・裏カーボン紙、感熱紙など
- ・コーティングされているもの
- ・セロハンテープや糊で貼り合わせたもの
- ・クリップやステープラーの針が付いたもの

—<お知らせ>—

- ・クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。
- ・糊や修正液、ボールペンのインクなどをご利用の用紙はできる限りご使用にならないでください。使用する場合は、よく乾かしてください。読み取れなかったり、紙つまりの原因になることがあります。また、原稿送りローラーや読み取り部（ガラス）の汚れの原因になります。汚れたときは126ページをご覧ください。清掃してください。
- ・小さい原稿を送信するためのキャリアシートはご使用になれません。

画面に手書きしてファクスを送る (手書きファクス)

紙を使わずに、画面を使って書いた内容をファクスで送信することができます。また、手書きファクスは保存することができます。

手書きファクスでは、付属のタッチペンを使用してください。

画面に手書きしてファクスを送る

原稿をセットしているときは、取り出してください (☎62 ページ)。原稿をセットしていると、手書きファクスを送信できません。

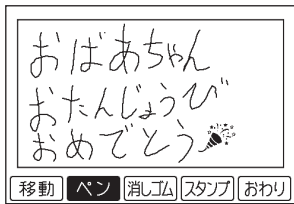
1 タッチペンを取る (☎19ページ)

2 を押す

3 [手書きファクスを作る] をタッチする

4 タッチペンを使ってファクスを手書きする

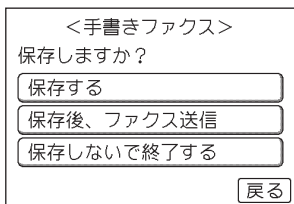
(例)



- ・手書きのしかたについては、65 ページをご覧ください。

5 作成が終わったら、 をタッチする

6 [保存後、ファクス送信] をタッチする



- ・手書きファクスは、「見てからファクス」の一覧に [手書きファクス] として保存されます。
- ・後でファクスを送るときは [保存する] をタッチしてください。ファクス画面に戻ります。
- ・保存しないときは、[保存しないで終了する] をタッチします。

7 以下の画面が表示されたら受話器を取り、ダイヤルや電話帳などで電話をかける

受話器を取って
ダイヤルしてください

- ・上記の画面が表示される前に受話器を取ると、ファクス送信画面になりません。その場合は、「親機に保存された受信ファクスを送信する (ファクスそのまま転送)」 (☎73ページ) の操作で、あらためてファクス送信してください。

8 相手の方にファクス受信操作をしてもらう

- ・「ファクスを送られる方は、送信してください」などのメッセージが聞こえたときや、相手の方が電話に出ないで「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたときは、[ファクスを送る] をタッチして受話器を戻してください (送信が始まります)。

9 「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたら [ファクスを送る] をタッチする

- ・手書きファクスを送信します。

10 受話器を戻す

11 タッチペンを戻す (☎19ページ)

■ 保存された手書きファクスについて

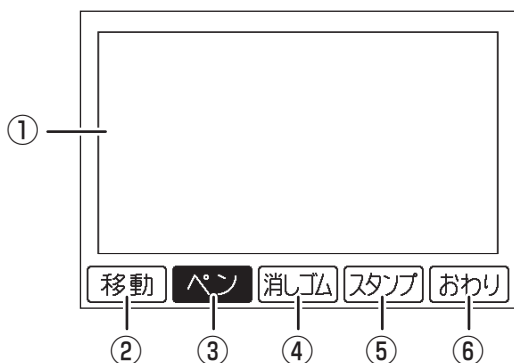
保存された手書きファクスは、受信ファクスと同様に保存されます。確認/印刷/ファクス送信/消去をするときは「受信したファクスを見る (見てからプリント)」 (☎71ページ) をご覧ください。

■ 手書きの線がずれたり、反応しないときは

タッチパネルを調整してください (☎125ページ)。

手書きファクス／手書きメモの書きかた

画面上に文字やイラストを手書きしたり、受信ファクスに書き加えるときは、付属のタッチペンを使用します。



① 手書きの入力範囲

この範囲内に手書きします。

- ・手書きファクスでは入力できる範囲は「A4 縦サイズ」です。ただし、原稿の端の部分までは手書きできません。

移動 をタッチして、表示を上下に動かすことができます。

- ・手書きメモでは、入力できる範囲は「表示部分のみ」です。表示画面を上下に動かすことはできません。

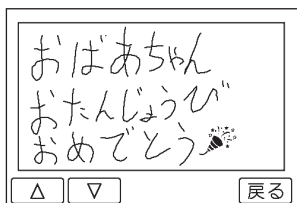
② 画面表示の移動（手書きファクス／加筆原稿のみ）：**移動**

画面表示を動かすことができます。

画面表示の移動は、手書きの種類によって異なります。

手書きファクスの場合

移動 をタッチすると、**△** **▽** ボタンが表示されます。**△** で上方向に、**▽** で下方向に表示が移動します。表示を拡大／縮小することはできません。

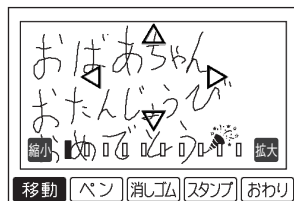


移動が終わったら **戻る** をタッチします。

- ・移動をくり返す場合は、**戻る** をタッチせずに、そのまま入力することができます。
- ・左右方向に移動することはできません。

受信ファクス、スキャン原稿に書き加える場合

移動 をタッチすると、**△▽◀▶** ボタンが表示されます。**△▽◀▶** のいずれかをタッチすると、対応した方向へ表示がスクロールします。



また、**縮小** **拡大** をタッチすると、表示倍率の拡大／縮小ができます。目盛りの上をタッチすると目盛りに対応した倍率に変わり、**縮小** **拡大** をタッチすると段階ずつ変わります。

移動が終わったら、**移動** をタッチします。

- ・手書きメモの場合は、**移動** の場所に **アラーム** が表示されます。**アラーム** をタッチすると、保存したメモにアラームを設定できます（94 ページ）。

③ 手書きで文字を書く：**ペン**

手書きで文字を書くことができます。

ペン をタッチすると、ペンの太さの変更画面が表示されます。線の太さを2種類から選びタッチします。はじめは「太い線」に設定されています。



- ・元の画面に戻るときは、**戻る** をタッチします。

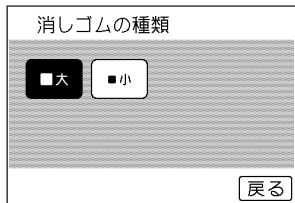
④ 入力した線を消す：消しゴム

手書き文字や加筆原稿の線を消すことができます。

本機で入力した線やスタンプのみ消すことができます。受信ファクスの内容は消えません。

消しゴムをタッチすると、消しゴムの大きさの変更画面が表示されます。消しゴムの大きさを2種類から選びタッチします。

はじめは [大] に設定されています。

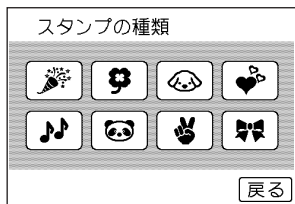


元の画面に戻るときは、戻るをタッチします。

⑤ スタンプを入力する：スタンプ

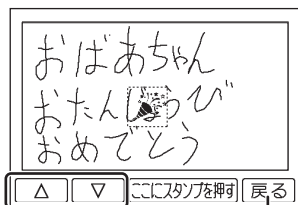
手書きファクスや手書きメモ、加筆原稿にスタンプを入力できます。

スタンプをタッチすると、スタンプの種類の選択画面が表示されます。スタンプを8種類から選びタッチします。



元の画面に戻るときは、戻るをタッチします。

スタンプを選ぶと以下の画面になります。スタンプを入れたい場所をタッチして位置を決めたあと、[ここにスタンプを押す]をタッチします。



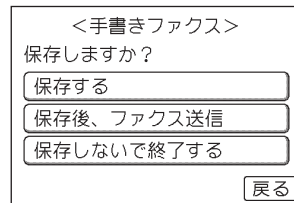
表示範囲を移動するときタッチする (手書きメモでは表示されません)

スタンプの種類選択画面に戻るときにタッチする

⑥ 手書き入力を終了する：おわり

手書きファクスや手書きメモ、加筆原稿を保存して終了します。

おわりをタッチすると、保存確認画面が表示されます。保存方法を選んでタッチします。



・ [保存する]

手書きファクスや手書きメモ、加筆原稿を保存して、一覧画面に戻ります。

・ [保存後、ファクス送信]

手書きファクスや手書きメモ、加筆原稿を保存して、ファクス送信画面を表示します。ファクスの送信方法は、「保存した手書きメモを送信する」(P.96 ページ)をご覧ください。

・ [保存しないで終了する]

手書きファクスや手書きメモ、加筆原稿を保存しないで、一覧画面に戻ります。

元の画面に戻るときは、戻るをタッチします。

— <お知らせ> —

- ・ 手書きファクスの作成中に電話がかかってくると、作成中の手書きファクスは保存されずに終了します。
- ・ 先端のとがったもの、硬いもの、爪を使って書かないでください。液晶ディスプレイに傷が付くことがあります。

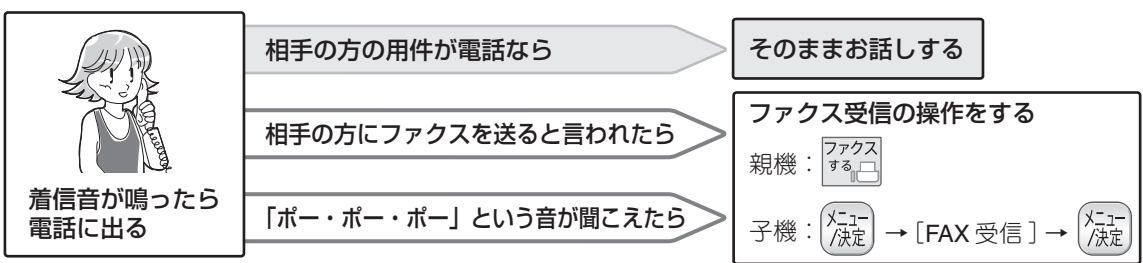
ファクスの受けかたを選ぶ

お使いの状況に合わせて、いろいろなファクスの受信方法を選ぶことができます。ファクスを自動で受けるときは設定が必要です。

電話に出てからファクスを受ける（はじめの設定）

もっと詳しく 69ページ

電話に出て相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えて受信します。いったん電話に出ないとファクスを受けられません。



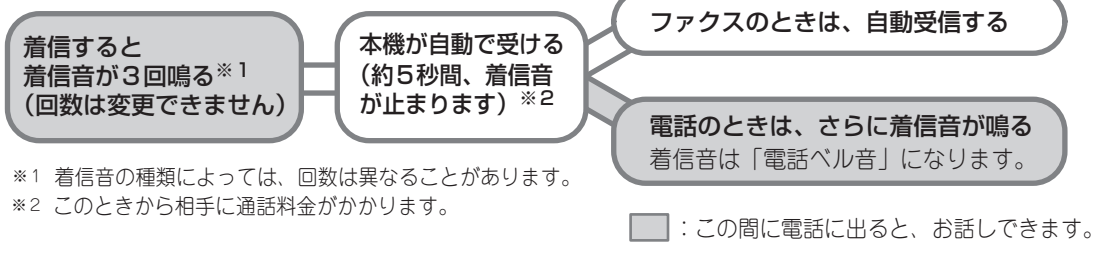
ファクスを自動で受ける（設定が必要です）

自動でファクスを受ける方法は以下の3通りです。設定すると自動でファクスを受けることができます。

● 在宅時に電話に出られなくても自動でファクスを受ける（自動受信）

着信音が鳴ったあと、本機が自動的に着信を受け、電話かファクスかを判別します。

もっと詳しく／設定のしかた 70ページ

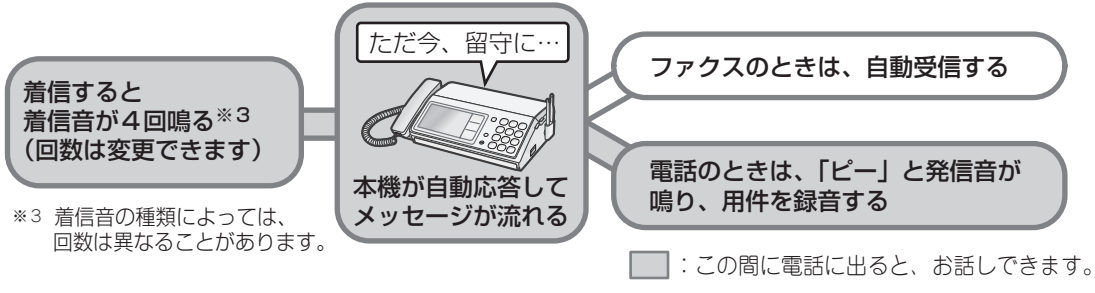


※1 着信音の種類によっては、回数は異なることがあります。
※2 このときから相手に通話料金がかかります。

● 留守時にファクスを自動で受ける（留守設定）

留守設定にすると、自動応答したあとファクスの受信や用件の録音をします。

もっと詳しく／設定のしかた 54ページ



※3 着信音の種類によっては、回数は異なることがあります。

● ファクス専用にする（ファクス専用）＜相手の方とお話しはできません＞

ファクス受信専用でお使いになりたい方におすすめです。電話を受けることはできません。

設定のしかた 139ページ

ファクス

ファクスを受信するときの印刷のしかた

ファクスを受信したときの印刷のしかたは、次の3通りです。はじめは、[見てからプリント]に設定されています。

変更するときは「ファクス受信方法」(☎139ページ)で設定します。

見てからプリント(お買いあげ時)

受信したファクスをディスプレイに表示させることができます。内容を確認してから、必要なファクスだけを印刷できるので、記録紙やインクリボンを節約できます。

受信したファクスは、メモリーに保存されますので、メモリーがいっぱいになると受信できません。また、自動的に印刷はしません。

メモリー受信

ファクスのメモリーに保存します。あらかじめ記録紙がセットされているときは、ファクスを自動的に印刷し、メモリーから消去します。記録紙がセットされていないときは、そのままメモリーに保存します。自動印刷中に記録紙やインクリボンがなくなっても、受信したファクスはメモリーに保存されています。メモリーがいっぱいになると、ファクスを受信できません。

記録紙受信

あらかじめ記録紙をセットしておきます。ファクスをメモリーに保存せず、そのまま記録紙に印刷します。メモリーの残量にかかわらず、ファクスを受信できます。記録紙やインクリボンがなくなると、ファクスを受信できません。

メモリー受信とは

送られてきたファクスを直接記録紙に印刷せずに、いったん親機のメモリーに記録することです。

■メモリー受信枚数・受信件数について

・本体メモリーを使用するときは、A4サイズの当社標準原稿(英字で文字数が700字程度の原稿)を[普通字]で約130枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります(最大約140枚または60件まで)。

・SDカードを使用するときは、スキャン(読み取り)した画像データと合わせて最大1200件まで受信することができます(SDカードの空き容量により異なります)。

・1件につき受信できるファクスは、本体メモリー/SDカードともに、最大で99枚までです。

・メモリー受信件数に含まれるものは、以下の通りです。

本体メモリー※:

- ・メモリー受信したファクス
- ・手書きファクス
- ・加筆原稿


SDカード:

- ・メモリー受信したファクス
- ・手書きファクス
- ・加筆原稿
- ・スキャンした画像


※手書きメモはメモリー受信件数に含まれません。

・受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合もあります。

■親機のファクス/録音メモリーの残量を確認する(ファクス/録音メモリー残量や手書きメモの残り件数を表示)

①  を押し、[メモリー残量の表示]をタッチする

メモリー残量や手書きメモの残り件数が表示されます。

② 確認が終わったら  を押し

—<お知らせ>


- ・メモリー受信(記録紙をセットしていない場合)と見てからプリントでは、受信したファクスはメモリーに残り、手で印刷したあとに残すことができます。メモリー受信(記録紙をセットしている場合)では、受信したファクスは自動的に印刷されたあと、消えます。
- ・ファクスを印刷するときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号を印刷するため、全体を約93%に縮小します。縮小しないで印刷したいときは「縮小受信」(☎140ページ)をしない設定にします。

電話に出たらファクスを受ける

相手の方とお話したあと、ファクスに切り替えることができます。

はじめは無制限呼出の設定（電話に出るまで着信音が鳴り続ける）になっているため、電話に出られないときはファクスを受信できません。外出時などには留守設定をおすすめします。


親機で電話に出たらファクスを受ける

原稿がセットされているときに  を押すと送信になるため、ファクスを受けるときは原稿を取り出しておいてください。

1 着信音が鳴ったら受話器を取る

2 受話器から「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえるか、相手側がファクス送信の操作をしたあと を押す

・「おまかせ受信」（※140ページ）が設定されていると、「ポー・ポー…」という音が聞こえたあと、自動的にファクスを受信できます。おまかせ受信が働かないときは、「ポー・ポー・ポー…」

という音のあとで  を押してください。

なお、こちらから電話をかけたときは、おまかせ受信は働きません。

3 受信が始まるので、受話器を戻す



・受信が終わると、自動的に電話が切れます。

■ 子機で電話に出たらファクスを受ける

① 着信音が鳴ったら、子機を充電器から取る

②  を押す



③ 「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら…相手側でファクス送信の操作をしています。

 を押し、 で [FAX受信] を選んで

 を押す

相手側からファクスが送信されたら…

相手側がファクス送信の操作をしたあと、

 を押し、 で [FAX受信] を選んで

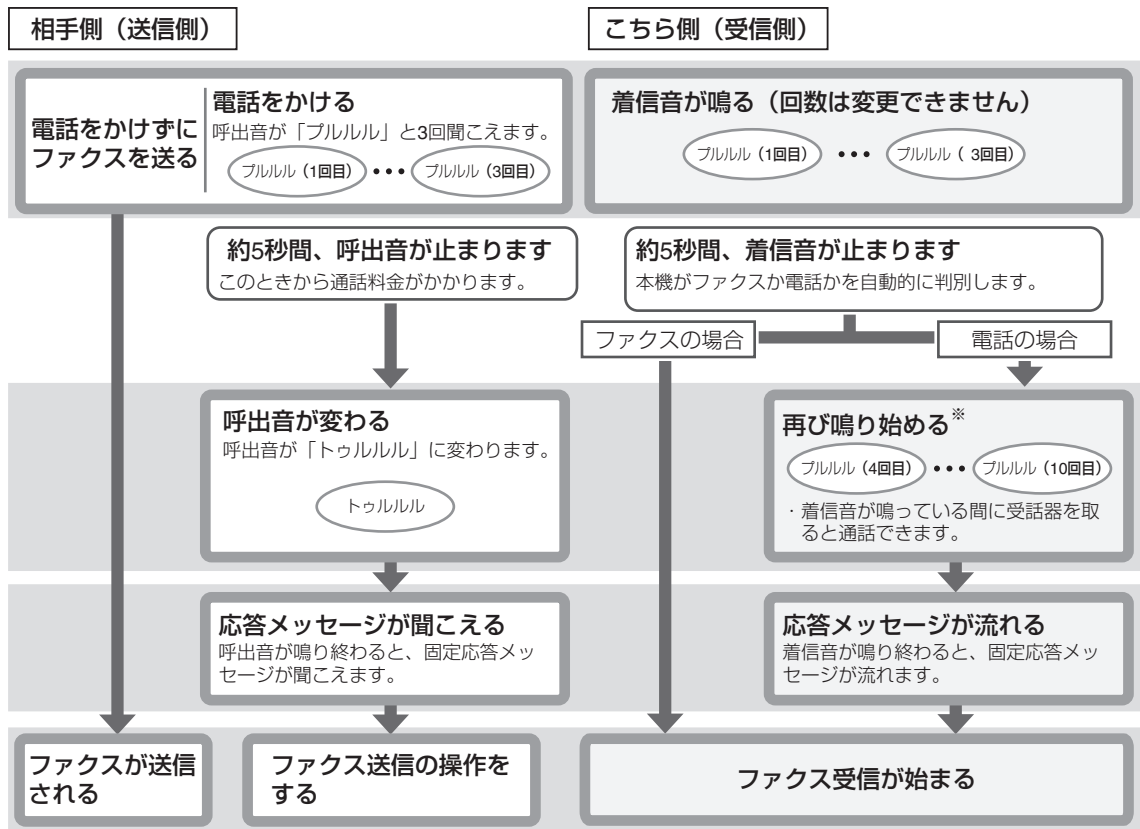
 を押す

④ 子機を充電器に戻す

ファクス自動受信を設定する

着信音が鳴っている間に電話に出られないときは、自動的にファクスを受信するように設定できます。はじめは、ファクスを自動受信しない設定（着信音が鳴り続ける設定）になっています。

・下記の例は、[ファクスの受け方]を[自動受信する]、呼出回数を10回に設定したときの動作です。



※ このときの着信音は「電話ベル音」になります。応答メッセージが流れるまでの呼出回数は変更できます。

自動受信を設定する

1 **メニュー** を押し、[ファクスの受け方]をタッチする

2 画面の表示を確認して **次ページ** をタッチし、[自動受信する]をタッチする

3 **+** **-** をタッチして呼出回数(6~25回)を選び、**決定** をタッチする

・ここで設定する呼出回数は、応答メッセージが流れるまでに鳴る着信音の回数です。

4 **停止** を押し

・[自動受信する]に設定すると、ディスプレイにファクス自動と表示されます。

■ ガイドを見ながら受信方法を設定する

自動受信などのファクス受信方法を、ガイドを見ながらかんたんに設定することもできます。

① 待受画面で **?操作ガイド** をタッチする

② [ファクスの受けかた] →

[ガイドに沿って設定する]の順にタッチする以降は表示される質問の答えを選んでガイドを進めてください。最後まで進めると、ファクス受信方法が設定されます。

■ インクリボンや受信メモリーがなくなって受信できないときは

着信音が鳴り続けます。電話が切れたあと、下記のページをご覧ください。


- ・インクリボンを交換する (☎134ページ)
- ・録音を消去する (☎55ページ)
- ・受信ファクスを消去する (☎74ページ)

<お知らせ>

- ・相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをお使いのときや、スタートボタンを押さなかったときは自動受信できません。このときは、受話器を取ってから受信してください。
- ・ファクスを自動受信する設定にしていると、電話がかかってきたときに、子機に着信記録が2回残ることがあります。


受信したファクスを見る (見てからプリント)

受信したファクスをディスプレイに表示して確認することができます。

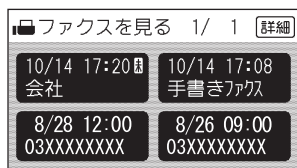
メモリー受信したファクスがあるときは、 のランプが点滅します。

受信したファクスをディスプレイに表示する

1 待受画面で [ファクスを見る] をタッチする

- 待受画面 (☞28ページ) が「電話画面」または「ワンタッチ」のときは、 を押したあと [ファクスを見る] をタッチしてください。

2 表示したい受信ファクスをタッチする



- 受信日時と送信元の番号または名前、受信ファクスの種類などが表示されます。内容を確認していないファクスには **未** と表示されます。
- 詳細** をタッチすると詳細メニューになります (☞右記)。
- 表示した受信ファクスの見かたについては、72ページをご覧ください。

3 確認が終わったら を押す

■ 受信ファクスの種類について

受信ファクスの一覧表示には、受信日時の他に以下のものが表示されます。

- 何も表示されない：**
相手の方の名前や番号が分からない受信ファクス
- 相手の方の名前や番号：**
ナンバー・ディスプレイ契約時 (☞107 ページ) に、名前や番号が表示される方からの受信ファクス
- 手書きファクス：**
保存した手書きファクス (☞64 ページ)
- 加筆原稿：**
ディスプレイで書き加えて保存した受信ファクス (☞75 ページ)
- 読込原稿：**
SD カードに保存した原稿 (☞84 ページ)

ファクスの詳細メニューでできること

受信日時
選択中のファクスの
保存番号／総保存数



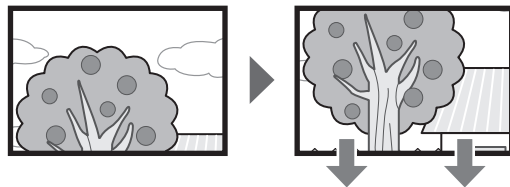
未：内容未確認
済：内容確認済み

相手の方の番号や名前、
受信ファクスの種類

■ 自動スクロール：**自動表示**

選択している受信ファクスを表示したあと、下方向へ自動的に表示がスクロールします。

画面表示(例)



画面下までスクロールすると、次ページがあるときは自動スクロールを続けます。次ページがないときは、1ページ目に戻って自動スクロールを終了します。

途中でやめるときは **中止** を押します。


■ 印刷：**印刷**

印刷 → [印刷する] の順にタッチすると、選択した受信ファクスを印刷します。

■ 消去：**消去**

受信ファクスを消去します (☞74ページ)。

■ SDメニュー：**SD**

SDメニュー画面を表示します。 を押しても、同じ画面を表示します。

[本体⇄SDカード切替] (☞73ページ)

受信ファクスを読み出すメモリーを切り替えます。

[すべてSDカードに保存する]

本体メモリーの受信ファクスをSDカードに保存できます。「受信ファクスデータをSDカードに保存する」(☞73ページ) でも同じ操作ができます。

受信ファクスを表示してからできること

受信したファクスは、下記のように表示されます。受信内容が複数ページあるときは、1ページ目が表示されます。表示している部分をスクロールしたり、拡大、縮小したりすることができます。

メモリー受信したファクス



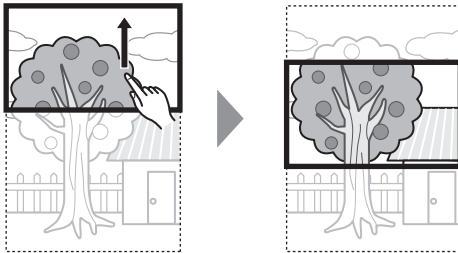
タッチで操作ボタンの表示/非表示を切り替え

複数ページのデータのとときに、現在のページ/総ページを表示 [次ページ] でページ移動

■ 表示を動かす

画面にタッチしたまま指を動かすと、画面がスクロールします。

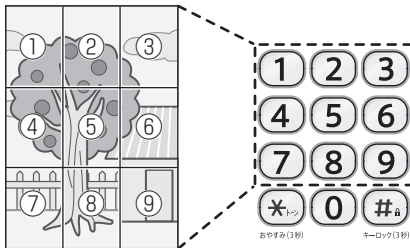
例：表示を下へスクロールする



[ズームON] をタッチして操作ボタンを表示しているときは、 $\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$ のいずれかをタッチすると、対応した方向へ表示がスクロールします。また、[回転] をタッチすると表示が右回りに90度ずつ回転します。

■ 表示位置を変える

拡大表示中にダイヤルボタンを押すと、以下のように、ボタンに対応した場所をダイレクトに表示します。



また、[#] を押すと表示を拡大、[*] を押すと縮小します。

■ 表示を拡大/縮小する

[縮小] [000000] [0000000000000000] [拡大] をタッチすると、表示倍率の拡大/縮小ができます。目盛りの上をタッチすると目盛りに対応した倍率に変わり、[縮小] [拡大] をタッチすると段階ずつ変わります。

■ 印刷する (☎77ページ)

■ サブメニューを使う

[サブメニュー] をタッチすると、サブメニュー画面が表示されて以下の機能を使用できます。



- ① [次ページ]: 次のページを表示します。
- ② [消去]: ☎74ページ
- ③ [印刷]: ☎77ページ
- ④ [ファクス送信]: ☎73ページ
- ⑤ [書き加える]: ☎75ページ
- ⑥ [見たままプリント]: ☎77ページ
- ⑦ [横ピタリ]: 現在のファクスの横幅を画面サイズに合わせて表示します。
- ⑧ [自動スクロール]: ☎71ページの「自動スクロール: [自動表示]

■ 関連操作

- ・受信ファクスを消去する (☎74 ページ)
- ・表示中のファクスを転送する (☎73 ページ)


■ 受信ファクスデータをSDカードに保存する

本体メモリーに保存されている受信ファクスをすべてSDカードに保存することができます。

- ① SDカードを取り付けていないときは、取り付ける (☞82ページ)
 - ②  を押す
 - ③ **SD** をタッチする
 - ④ [SDへファクスを保存] をタッチする
 - ⑤ [完了しました] と表示されたら  を押す
- ・ファクスの詳細メニューで **詳細** → [すべてSDカードに保存する] でも同じ操作ができます (☞71ページ)。

■ SDカードを取り付けているときに本体メモリーの受信ファクスを見る

見てからプリントでは、SDカードを取り付けているときはSDカード内のデータを表示します。本体メモリーに切り替えるときは、以下の操作をしてください。

- ① [ファクスを見る] をタッチする
- ・待受画面 (☞28ページ) が「電話画面」または「ワンタッチ」のときは、 を押したあと [ファクスを見る] をタッチしてください。
- ② **詳細** をタッチする
 - ③ **SD** をタッチする
 - ④ [本体⇄SDカード切替] をタッチする

—<お知らせ>—


- ・ A4サイズの長さを超える受信ファクスは、A4サイズまでしか表示できません。
- ・ 拡大／縮小表示中に印刷しても、等倍で印刷されます。
- ・ 見てからプリントを操作しているときは、子機を使用することができません。

親機に保存された受信ファクスを送信する (ファクスそのまま転送)

親機に保存されている受信ファクスをそのまま送信できます。ファクスを転送したいときなど、印刷せずに送信できるため、便利です。

画面上で文字やスタンプを書き加えてから送信することもできます (☞75ページ)。

1 待受画面で [ファクスを見る] をタッチする

- ・ 待受画面 (☞28ページ) が「電話画面」または「ワンタッチ」のときは、 を押したあと [ファクスを見る] をタッチしてください。
- ・ 原稿はセットしないでください。

2 送信したい受信ファクスを選んでタッチする



3 ファクスを表示した状態で **サブメニュー** をタッチする

4 [ファクス送信] をタッチする

- ・ 表示していたページを送信できます (1ページのみ)。

5 受話器を取り、ダイヤルや電話帳などで電話をかける

6 相手の方にファクス受信操作をしてもらう

- ・ 「ファクスを送られる方は、送信してください」などのメッセージが聞こえたときや、相手の方が電話に出ないで「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたときは、[ファクスを送る] をタッチして受話器を戻してください (送信が始まりません)。

7 「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたら、[ファクスを送る] をタッチする

- ・ 表示したページをファクス送信します。


8 受話器を戻す

—<お知らせ>—

- ・ 送信されるファクスの画質は変更できません。
- ・ A4サイズより長い受信ファクスは、A4サイズまでしか送信できません。

保存した受信ファクスデータを消去する

1 待受画面で [ファクスを見る] をタッチする

- 待受画面 (28ページ) が「電話画面」または「ワンタッチ」のときは、 を押したあと [ファクスを見る] をタッチしてください。

2 消去したい受信ファクスを選んでタッチする



(詳細メニューで選んだ状態、内容を表示した状態のどちらでも可)

3 詳細メニューで選んでいるときは を、内容を表示しているときは → [消去] の順にタッチする

4 [選択した受信ファクスを消去] をタッチする


5 をタッチする

■ 2枚以上ある受信ファクスから1枚だけ消去する



- 消去したい受信ファクスのページを表示する
-  → [消去] の順にタッチする
- [表示中の受信ファクスを消去] をタッチする
-  をタッチする

■ 確認済みの受信ファクスを消去する

SDカードが取り付けられていないときは本体メモリーの、取り付けられているときはSDカードメモリーの、内容を確認したファクスを消去できます。


-  を押し、[各種全消去] → [確認済受信ファクス] の順にタッチする
- [消去する] をタッチする

または



- 詳細メニューで  をタッチする、または受信ファクスのサブメニューで [消去] をタッチする
- [確認済み受信ファクスを消去] をタッチする
-  をタッチする

■ すべての受信ファクスを消去する

SDカードが取り付けられていないときは本体メモリーの、取り付けられているときはSDカードメモリーの、受信ファクスをすべて消去できます。

-  を押し、[各種全消去] → [受信ファクス] の順にタッチする
- [消去する] をタッチする

または

- 詳細メニューで  をタッチする、または受信ファクスのサブメニューで [消去] をタッチする
- [受信ファクスを全消去] をタッチする
-  をタッチする


画面上で受信ファクスに書き加える

画面上で、受信ファクスに文字やスタンプを書き加えてから、ファクス転送や保存することができます。書き加えた原稿は、受信ファクスとして元のファクスとは別に保存されます。

書き加えるときは、付属のタッチペンを使用します。

1 タッチペンを取る (☞ 19ページ)

2 待受画面で [ファクスを見る] をタッチする

- 待受画面 (☞ 28ページ) が「電話画面」または「ワンタッチ」のときは、 を押したあと [ファクスを見る] をタッチしてください。

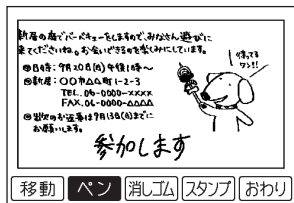
3 書き加えたい受信ファクスを選んでタッチする

4 書き加えたい部分が表示されるように、移動や拡大／縮小して調整する (☞ 72ページ)

- 画像の回転は対応していません。回転した画像に書き加えるときは、自動で回転前の状態に戻ります。

5 サブメニュー ⇒ [書き加える] をタッチする

6 タッチペンを使って書き加える



- 書き加えかたについては、「手書きファクスの書きかた」(☞ 65ページ)をご覧ください。
- 元の受信ファクスの内容を「消しゴム」で消すことはできません。

7 書き加えが終わったら、[おわり] をタッチする

8 保存するとき：[保存する]をタッチする

書き加えた受信ファクスを保存して、受信ファクス一覧に戻ります。

ファクス送信するとき：

[保存後、ファクス送信] をタッチして手順9へ

書き加えた受信ファクスを保存して、ファクス送信画面を表示します。

- 保存しないときは、[保存しないで終了する] をタッチします。
- 保存した受信ファクスは、名前に [加筆原稿] と表示されます。
- 元が複数ページある受信ファクスの場合でも、書き加えた1ページのみ個別に保存されます。

9 [受話器を取ってダイヤルしてください] と表示されたら受話器を取り、ダイヤルや電話帳などで電話をかける

- [受話器を取ってダイヤルしてください] と表示される前に受話器を取ると、ファクス送信画面になりません。その場合は、「親機に保存された受信ファクスを送信する(ファクスそのまま転送)」(☞ 73ページ) の操作で、あらためてファクス送信してください。

10 相手の方にファクス受信操作をしてもらう

- 「ファクスを送られる方は、送信してください」などのメッセージが聞こえたときや、相手の方が電話に出ないで「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたときは、[ファクスを送る] をタッチして受話器を戻してください (送信が始まりません)。

11 「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたら、[ファクスを送る] をタッチする

- 加筆原稿をファクス送信します。

12 受話器を戻す

13 タッチペンを戻す (☞ 19ページ)

—<お知らせ>—

- メモリ残量が少ないと、加筆原稿の作成や保存ができなくなる場合があります。
- 加筆原稿を送信する場合は、ファクスの画質を変更できません。
- 受信ファクスに書き加えている場合に電話がかかってきたときは、書き加えた内容は保存されないまま終了します。
- A4サイズより長い受信ファクスは、A4サイズまでしか送信できません。
- 加筆原稿を選択して、さらに書き加える場合は、保存した加筆内容を「消しゴム」で消すことはできません。

記録紙のセットのしかた

A4サイズの記録紙をセットします。一度に15枚まで、記録紙をセットできます。

記録紙はA4サイズの当社推奨品（☎137ページ）をお買い求めください。

○ 普通紙 (PP110MA4)

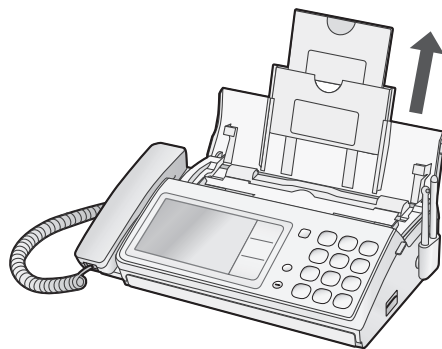
推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用すると印刷がかすれたり、濃く、または薄くなる場合があります。ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。

記録紙をセットする

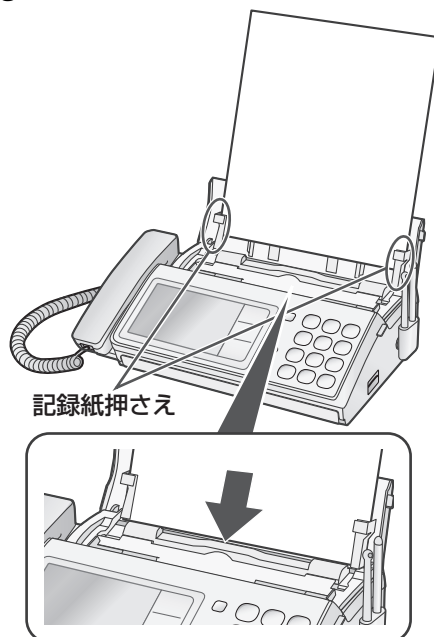
1 記録紙トレイを開ける



2 延長トレイを引き出す



3 記録紙を記録紙押さえの一番奥にセットする



- ・ ご使用にならないときは、記録紙トレイを確実に閉めてください。
- ・ 紙づまり防止のため、記録紙はよくさばいて、先端をそろえてからセットしてください。また、強く差し込まないでください。
- ・ 記録紙が壁などにあたり、前に傾いていると記録紙がつまることがあります。

■ 記録紙を追加するときは

いったん記録紙をすべて取り出してから、再度セットしてください。

印刷中は、記録紙をつぎ足ししないでください。

■ 記録紙がつまったときは（☎129ページ）

—<お知らせ>—

- ・ しわや折り目が付いていたり、そっていたり、破れている記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
- ・ ファクスやコピーを使わないときは、記録紙をセットせずに記録紙トレイを閉めておくことをおすすめします。長期間、記録紙をセットしたままにすると、記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になることがあります。
- ・ 一度使用した記録紙(裏紙)はセットしないでください。


メモリー受信したファクスを印刷する

印刷する

メモリー受信したファクスを印刷できます。

1 記録紙をセットする (☎76ページ)

2 待受画面で [ファクスを見る] をタッチする

・待受画面 (☎28ページ) が「電話画面」または「ワンタッチ」のときは、 を押したあと [ファクスを見る] をタッチしてください。

3 印刷したい受信ファクスを表示する


4 [印刷] をタッチする、または を押す

5 [全てのページを印刷] または [表示中のページを印刷] を選んでタッチする


6 [印刷する] をタッチする

・印刷が始まります。印刷を中止するときは  を押します。

7 印刷終了後に、

- 印刷した受信ファクスを消去する：
[消去する] ⇒  の順にタッチする
- 消去せずに終了する：
[消去しない] をタッチする

・詳細メニューでファクスを選んだ状態からでも、以下の操作で印刷できます (選んでいるファクスを全ページ印刷)。

- ①  をタッチする
- ② [印刷する] をタッチする

■ 印刷中にインクリボンがなくなったときは

受信した内容はメモリーに残っています。印刷中の記録紙を取り出してから、インクリボンを交換 (☎134ページ) してください。

—<お知らせ>—

・印刷中は、子機で電話をかけたり受けたりすることはできません。

ファクスの表示部分のみ印刷する (見たままプリント)

見てからプリントで受信ファクスを表示中に、表示されている部分のみを印刷できます。

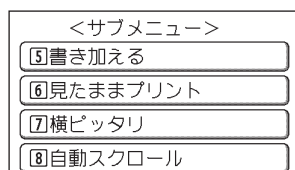
1 記録紙をセットする (☎76ページ)

2 「見たままプリント」したい受信ファクスを表示する (☎71ページ)

3 印刷したい部分が表示されるように調整する

4 をタッチする

5 [見たままプリント] をタッチする




6 [画面のサイズで印刷]

[A4ヨコ幅にあわせて印刷]

[A4タテ幅にあわせて印刷]

のいずれかを選んでタッチする

7 [印刷する] をタッチする

・印刷が始まります。印刷を中止するときは  を押します。

コピーする

コピーする

一度に5枚まで原稿をセットしてコピーすることができます。受話器を置いた状態で操作します。

1 記録紙をセットする (☞76ページ)

2 原稿をセットする (☞60ページ 手順 1～4)

3 を押す

- ・ **画質** をタッチすると画質を設定できます (☞63ページ)。設定しなかったときは自動的に [小さな字] でコピーします。コピー中に操作したときは、次のページから画質が切り替わります (コピー途中のページの画質を変えることはできません)。
- ・ コピーが終了すると [鳥の声] でお知らせします。

4 [コピーをする] をタッチする

- ・ コピーが始まります。コピーを中止するときは **中止** をタッチします。

■ コピーできる原稿のサイズ

幅 148mm ～ 210mm /
長さ 128mm ～ 297mm /
厚さ 0.06mm ～ 0.18mm

- ・ 厚さのめやす新聞紙：約 0.05 ～ 0.06mm
上質紙：約 0.10mm
- ・ 一度に 2 枚以上セットできない原稿 (☞63 ページ)

■ 関連操作

- ・ 原稿が詰まったときは (☞127 ページ)
- ・ 記録紙が詰まったときは (☞129 ページ)

コピーの禁止について

法律で禁止されているもの

- ・ 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー (複製) することは禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。(通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法)
- ・ 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー (複製) もできません。(外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律)
- ・ 未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー (複製) することは禁じられています。(郵便切手類模造等取締法)
- ・ 政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー (複製) できません。(印紙等模造取締法)

コピー (複製) する場合に注意を要するもの

- ・ 民間発行の有価証券 (株券、手形、小切手など)、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー (複製) する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。
- ・ 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

著作権に注意するもの

- ・ 著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー (複製) を禁止されています。

—<お知らせ>—

- ・ コピーしても、機械の状態や記録紙の状態により厳密な等倍サイズにはならないことがあります。
- ・ コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。

登録した内容を印刷する

親機に登録されているさまざまな内容を印刷して確認することができます。印刷できる内容は、メニュー設定、着信記録、電話帳、お断り番号の4種類です。

登録内容を印刷する

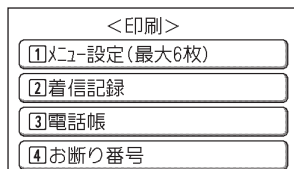
1 記録紙をセットする (76ページ)

- ・メニュー設定リストは、最大で6枚印刷されます。途中で記録紙がなくなったときは、記録紙をセットして画面表示に従ってください。

2 **メニュー** を押す

3 [印刷] をタッチする

4 [メニュー設定 (最大6枚)] [着信記録] [電話帳] [お断り番号] のいずれかを選んでタッチする



5 [する] をタッチする

- ・選択した内容が印刷されます。
- ・印刷を中止するときは **停止** を押します。

■ メニュー設定リストの番号について

メニュー設定リストは、親機の登録/設定早見表として使えます。記載されている数字を、メニューボタンを押したあとにダイヤルボタンで入力すると、設定画面を表示することができます。

SDカードを取り付ける／取り外す

SDカードを使って、録音やファクス、本機でスキャンしたデータを保存したり、電話帳のバックアップを取ったりすることができます。

SDカードは付属していませんので、別途お買い求めください。

使用できるSDカードについて

本機では、以下のタイプのSDカードをご使用ください。

SDメモリーカード、miniSDカード [※] 、microSDカード [※] (SD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされているもの)	最大2GBまで
SDHCメモリーカード、miniSDHCカード [※] 、microSDHCカード [※] (SDHC規格に準拠したFAT32形式でフォーマットされているもの)	最大32GBまで

[※] 本機との接続には、それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。

当社で動作確認済みのSDカード

メーカー	型番 (容量)	
サンディスク株式会社	SDSDB-2048-J95A (2GB)	SDSDB-4096-J95A (4GB) SDSDB-8192-J95A (8GB) SDSDB-016G-J95A (16GB) SDSDB-032G-J95A (32GB)
東芝 セミコンダクター社	SD-E002GR (2GB) SD-E002G4 (2GB)	SD-E004G4 (4GB) SD-E008G4 (8GB) SD-E016G4 (16GB) SD-E032G4 (32GB) SD-E008GUA (8GB) SD-E016GUA (16GB) SD-E032GUA (32GB)
株式会社バッファロー	RSDC-S2GC4 (2GB)	RSDC-S4GC4 (4GB) RSDC-S8GC4 (8GB) RSDC-S16GC4 (16GB) RSDC-S32GC4 (32GB)

[※] 最新の動作確認済みのSDカードについては、当社ファクシミリサポートステーションでご確認ください。
<<http://www.sharp.co.jp/support/fax/index.html>>

＜お知らせ＞

- ・本書では、SDメモリーカード、miniSDカード、microSDカード、SDHCメモリーカード、miniSDHCカード、microSDHCカードをまとめた総称として「SDカード」と呼んでいます。
- ・SDカードは、お客様が直接ご利用できる部分（ユーザー領域）と著作権保護などに使用する部分があります。
- ・SDメモリーカードはパナソニック株式会社、米国サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
- ・miniSDTM、miniSDHCTM、microSDTM、microSDHCTMはSDアソシエーションの商標です。
- ・マルチメディアカードは、本機では使用できません。
- ・パソコンでフォーマットしたSDカードは、本機で使用できなくなることがあります。

SDカードの取り扱いについて

■ SDカードは大切にお使いください

SDカードの登録内容は、使いかたを誤ったときや、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします（パソコンへコピーするなど）。

なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ miniSD (miniSDHC) カードや microSD (microSDHC) カードを本機に取り付けるときは

それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。アダプターを使用せずにカードを挿入すると取り外せなくなることがありますのでご注意ください。

■ 書き込み禁止スイッチについて

SDメモリーカードには、データの誤消去を防止するために「書き込み禁止スイッチ」が付いています。「LOCK」側にすると、データの消去や登録ができなくなります。

SDメモリーカード：

スイッチを下へずらすとロックされます。



- ・SDカードを本機に取り付けるとき、ななめから入れると、本機に引っかかり、書き込み禁止スイッチが「LOCK」側にずれることがあります。引っかからないようにななめから挿入してください。

SDカードを使ってできること

SDカードを使用すると、以下の機能がご使用になれます。

スキャン（原稿保存）機能

○スキャンデータの保存：

原稿をスキャンしてSDカードに保存できます（TIFF形式とJPEG形式の2種類のデータが保存されます）。1件あたり最大99枚、受信ファクスデータと合わせて最大1200件まで保存できます（SDカードの空き容量によって変わります）。

録音データの保存

○SD自動録音：

通話内容を自動的にすべて保存できます。録音時間は1件あたり最大120分、件数は最大1200件まで録音できます（SDカードの空き容量によって変わります）。

保存したデータは、本機やパソコンなどで再生することができます。

○録音データの保存：

留守録音などの音声録音データをSDカードに保存できます。録音時間は1件あたり最大約120分、件数は最大1200件まで録音できます（SDカードの空き容量によって変わります）。

また、本体メモリーに保存されている留守録音などをSDカードに保存できます（WAV形式で保存されます）。保存したデータは、本機やパソコンなどで再生することができます。

ファクス機能

○受信ファクスデータの保存：

受信ファクスのデータをSDカードに保存できます。1件あたり最大99枚、スキャンデータと合わせて最大1200件まで保存できます（SDカードの空き容量によって変わります）。SDカードで保存する場合は、TIFF形式とJPEG形式の2種類のデータが保存されます。

また、本体メモリーに保存されている受信ファクスをSDカードに保存できます。保存したデータは、本機やパソコンなどで確認したり、印刷したりすることができます。

電話帳

○携帯電話の電話帳データの読み込み：

携帯電話の電話帳データをSDカードに保存し、それを読み込んで親機の電話帳に登録できます（☎86ページ）。

○電話帳データの保存：

本機で登録した電話帳データをSDカードに保存することができます。保存した電話帳のデータは、あとで本機に戻すことができます。

○パソコンでの電話帳データの編集：

パソコンで電話帳データを編集できます（☎85ページ）。

SDカードの容量と保存データのめやす

SDカードの容量	音声 最大録音時間	原稿・ファクス 最大保存枚数
32GB	約1,120時間	約118,800枚
16GB	約560時間	約80,000枚
8GB	約280時間	約40,000枚
4GB	約140時間	約20,000枚
2GB	約72時間	約10,000枚
1GB	約36時間	約5,000枚

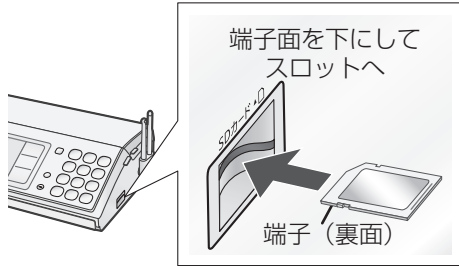
- ・録音と、原稿や受信ファクスのデータと一緒に保存されている場合、録音時間と保存枚数は少なくなります。
- ・他のデータが保存されている場合、録音時間と保存枚数は少なくなります。
- ・原稿や受信ファクスの内容によって、保存枚数は変わります。

—<お知らせ>

- ・SDカードの種類や保存されているデータによっては、読み込みの時間が3分以上かかることがあります。

SDカードを取り付ける

- 1 裏表を間違わないようにして、SDカードが止まるまで、SDカードスロットへ挿入する



- ・ [ファクス/録音メモリーをSDカードに変更しました] と表示されたら取り付け完了です。
- ・ SDカードをななめから挿入すると、本機に引っかかり、書き込み禁止スイッチが「LOCK」側にずれることがあります。引っかからないようにまっすぐ挿入してください。

■ SDカードを取り付けると

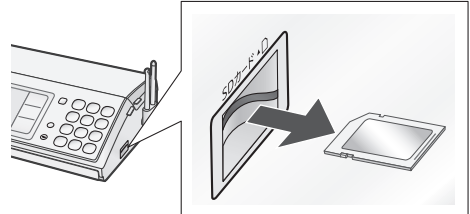
ファクスや録音の保存先が、自動的にSDカードに設定されます。また、待受画面にSDカードアイコンが表示されます。

本機がSDカードにアクセスしていると、SDカードアイコンは点滅します。点滅中はSDカードを取り外さないでください。保存されたデータや、カード自体が破損するおそれがあります。

SDカードを取り外す

SDカードの取り外しは、待受画面を表示して行ってください。また、「SDカードを抜かないでください」と表示されているときは、SDカードを取り外さないでください。ファイルが開けなくなったり、SDカードが破損したりするおそれがあります。

- 1 まっすぐにゆっくりとSDカードを抜き取る



- ・ SDカードを抜き取るとエラー音が鳴り、[ファクス/録音メモリーを本体メモリーに変更しました] と表示されます。

—お知らせ—

- ・ miniSD カードや microSD カードを取り外すときは、カードアダプターごと完全に取り外してください。カードだけを取り外して、カードアダプターが本機に残っていると、正しく動作しなくなることがあります。

SDカードに通話内容をすべて録音する (SD自動録音)

本機で通話した内容を、自動ですべてSDカードに録音することができます (SD自動録音)。保存した録音データは、本機で再生 (☎55ページ) したりパソコンで再生できます。

最大保存時間： 1件につき最大約 120分
最大保存件数： 1200件 (120分の録音データを1200件保存することはできません)
保存ファイル形式： WAV形式
保存先： PRIVATE\SHARP\FAX\REC\yyymmddkkk\ yyymmddは日付です。yyは西暦(下2ケタ)、mは月(1~C)、ddは日です。kkkには保存した順に001~4B0(16進法)が入ります。
保存ファイル名： hhmmss01.WAV hhmmssは時刻です。hhは時間、mmは分、ssは秒です。

SD自動録音の設定をする

はじめは使用しない設定になっています。

1 SDカードを取り付ける (☎82ページ)

2 を押し、[留守番電話の設定]⇒ [SD自動録音]の順にタッチする

3 設定を選んでタッチする

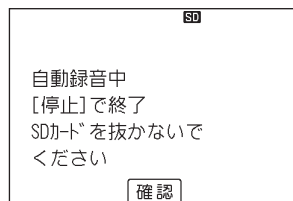
- [使用しない] ⇒ 手順5へ
- [発着信時] (すべての通話を録音する)
- [着信時] (かかってきた電話のみ録音する)
- [発着信時] (かけた電話のみ録音する)

4 [はい] をタッチする

5 を押す



■ SD自動録音を設定すると

SD自動録音が動いているときに、ディスプレイに以下の画面が表示されます。



- ・ **確認** をタッチすると表示は消えます。

■ SD自動録音を途中で止める

通話録音を途中で止めるには、親機では通話中に  を押して [はい] をタッチ、子機では  **0** と順に押します。

- ・ チャイムでお断りやメッセージでお断り、録音でお断り (☎37ページ) を行うと、録音が止まります。
- ・ 停止後にもう一度録音したい場合は、「今から録音」を使用してください。「戻って録音」は使用できません。

■ SD自動録音の中断について

SD自動録音中、通話を保留したり、通話中に親子機間で内線通話をしたり、3者通話を行うと、録音が中断されます。親機または子機で外線通話に戻ると、録音が始まります。中断前と中断後の録音は、それぞれ別の録音データとして保存されます。

—お知らせ—

- ・ 以下のときは、SD自動録音は動作しません。
 - ・ SDカードが取り付けられていないとき
 - ・ SDカードのメモリーがいっぱいのときや、録音件数が1200件になっているとき
 - ・ 内線通話やドアホン通話のとき
 - ・ 留守番電話など、自動着信応答のとき
- ・ SD自動録音中は、録音や再生、登録の操作はできません。操作する場合は、SD自動録音を停止してから行ってください。ただし、録音を停止しても「戻って録音」は使用できません。

SDカードへ原稿を保存する(スキャン機能)

親機で原稿を読み取り、TIFF形式とJPEG形式の画像データにしてSDカードに保存できます。保存できる画像データは、1件につき最大99枚、受信ファクスデータと合わせて最大1200件です（最大保存枚数、最大保存件数はSDカードの空き容量によって変わります）。

保存した画像データは、本機の「見てからプリント」（☎71ページ）やパソコンで確認できます。

親機で原稿を読み取りSDカードに保存する

読み取った画像データは以下のように保存されます。

保存ファイル形式：

TIFF形式とJPEG形式
TIFF形式とJPEG形式の2種類のデータがSDカードに保存されます。どちらか片方だけを保存することはできません。



保存先：

PRIVATE\SHARP\FAX\DOC\yyymmddkkk\
yyymmddは日付です。yyは西暦（下2ケタ）、mは月（1～C）、ddは日です。kkkには保存した順に001～4B0の番号（16進法）が入ります。

保存ファイル名：

hhmmsspp.TIF
hhmmssは時刻です。hhは時間、mmは分、ssは秒です。ppには保存した順に01～99の数字（原稿の枚数）が入ります。

■ 保存した画像データを本機で表示する

- ① 待受画面で「ファクスを見る」をタッチする
・ 待受画面（☎28ページ）が「電話画面」または「ワンタッチ」のときは、 を押したあと「ファクスを見る」をタッチしてください。
・ カードに保存されている画像データ、受信ファクスデータが表示されます。表示された一覧の見かたについては、71ページをご覧ください。
- ② 表示したい画像データを選んでタッチする
・ カードに保存された画像データは、「読込原稿」と表示されています。
- ③ 画像の確認が終わったら  を押す


1 SDカードを取り付ける（☎82ページ）

2 原稿をセットする


（☎60ページ 手順 1～4）

3 を押し、 をタッチする

4 [SDへ原稿を保存] をタッチする

- ・ 画質を変更したいときは  をタッチしてください（☎63ページ）。変更しないときは [小さな字] で保存されます。

5 をタッチする

- ・ 読み取りが始まります。保存が完了すると待受画面に戻ります。
- ・ 原稿の保存が完了すると、 が点滅します。

SDカードにファクス／録音データを保存する

親機に保存されているファクスデータや録音データをSDカードに保存(バックアップ)することができます。保存したデータは、本機の「見てからプリント」(☎71ページ)や「録音再生」(☎55ページ)で確認することができます。データは以下のように保存されます。

保存方法： 一括保存(個別に保存はできません)
最大保存枚数・最大保存時間： ファクス：1件につき最大99枚 録音：1件につき最大約120分
最大保存件数： ファクス：1200件 録音：1200件(120分の録音データを1200件保存することはできません)
保存ファイル形式： ファクス：TIFF形式とJPEG形式 録音：WAV形式 ファクスを保存すると、TIFF形式とJPEG形式の2種類のデータがSDカードに保存されます。どちらか片方だけを保存することはできません。
保存先： ファクス： PRIVATE\SHARP\FAX\DOC\yyymmddkkk\ 録音：PRIVATE\SHARP\FAX\REC\yyymmddkkk\ yyymmddは日付です。yyは西暦(下2ケタ)、mは月(1~C)、ddは日です。kkkには保存した順に001~4B0(録音)または001~4B0(ファクス)の番号(16進法)が入ります。
保存ファイル名： ファクス：hhmmsspp.TIF 録音：hhmmss01.WAV hhmmssは時刻です。hhは時間、mmは分、ssは秒です。ファクスのppには保存した順に01~99の数字(原稿の枚数)が入ります。

1 SDカードを取り付ける (☎82ページ)

2 を押し、**[SD]** をタッチする

3 [SDへファクスを保存] または [SDへ録音を保存] を選んでタッチする

- データの保存が開始されます。ディスプレイのメッセージが消えるまで、SDカードを取り外さないでください。

4 [完了しました] と表示されたら、 を押す

SDカードに電話帳のデータを保存する

親機に登録した電話帳のデータをSDカードに保存することができます。保存した電話帳のデータは、本機を初期化したときなど、電話帳が消えたときのバックアップとして使うことができます。また、パソコンで当社製の電話帳編集ソフトウェアを使って、SDカードに保存した電話帳のデータの編集や新規作成を行うことができます。

電話帳編集ソフトウェアについては、当社ファクシミリサポートステーションでご確認ください。
<http://www.sharp.co.jp/support/fax/index.html>

SDカードに電話帳データを保存する

電話帳データは以下のように保存されます。

- 保存方法：一括保存(個別に保存はできません)
- 保存先：PRIVATE\SHARP\FAX\BACKUP\
保存ファイル名：FAXADDR.DAT

1 SDカードを取り付ける (☎82ページ)

2 を押し、**[SD]** をタッチする

3 [SDへ電話帳を保存] をタッチする

- データの保存が開始されます。ディスプレイのメッセージが消えるまで、SDカードを取り外さないでください。

4 [完了しました] と表示されたら、 を押す

SDカードに保存した電話帳データを本機に読み込んで使う

SDカードから電話帳データを読み込むと、本機に登録されている電話帳データは上書きされます。

1 SDカードを取り付ける (☎82ページ)

2 を押し、**[SD]** をタッチする

3 [SDから電話帳を読み込み] をタッチする

- データの読み込みが開始されます。ディスプレイのメッセージが消えるまで、SDカードを取り外さないでください。

4 [完了しました] と表示されたら、 を押す

SDカードから携帯電話の電話帳を読み込む

SDカードに保存した携帯電話の電話帳データ(vCard形式)を、親機に読み込んで使うことができます。携帯電話の電話帳からは、「名前」「読み」「電話番号」がコピーされます。

miniSDカード、microSDカードをご利用になるときは、専用のアダプターが必要です。

1 携帯電話で電話帳データをSDカードに保存する

- ・操作については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

2 SDカードを取り付ける (☎82ページ)

3 を押し、**SD** をタッチする

4 [携帯電話の電話帳取り込み] をタッチする

- ・取り込みが開始されます。ディスプレイのメッセージが消えるまで、SDカードを取り外さないでください。

5 をタッチして取り込みたいデータを選び、**決定** をタッチする

6 登録内容を確認して **登録** をタッチする

- ・データの取り込みは1件ずつです。複数のデータを取り込むときは再度手順**5**から操作してください。

7 を押す

■ 1つの電話帳データに複数の相手先が保存されているときは

ファイル名の一覧から複数の相手先が保存されている電話帳データを選ぶと、電話帳データ内の相手先が500件まで表示されます。必要な相手先を選んで1件ずつ登録してください。

—<お知らせ>—

- ・絵文字や特殊文字は親機には取り込めません(スペースに置きかわります)。
- ・親機の電話帳にない項目を取り込むことはできません。
- ・「読み」の項目がないデータを取り込むことはできません。
- ・電話番号がないデータを取り込むことはできません。
- ・電話番号が複数保存されていても、取り込むことができるのは、それぞれの先頭の1件のみになります。
- ・SDカードに保存されている電話帳データのファイルは、親機では200個までしか表示されません。201個以上ファイルがある場合、取り込みたいファイルが表示されないときがあるので、あらかじめSDカードから不要なファイルを消去しておいてください。

携帯とくとくダイヤル機能を利用する

設定すると、携帯電話へ電話をかけるときに各電話会社の「事業者識別番号」（0033など）を自動的に付加してダイヤルするので、設定した電話会社の通話料金で通話できます*。
電源を入れたあとに設定していれば（☎22ページ）、そのままお使いください。設定を変えたいときは、下記の手順で設定してください。

ひかり電話（NTT東日本、NTT西日本の光回線電話など）をご利用の場合、携帯とくとくダイヤルはご利用になれませんので、本機では利用しない設定にお使いください。

IP電話をご利用の方へ

携帯とくとくダイヤルをご利用になりたいときは、「携帯とくとくダイヤル機能を設定する」の設定をしたあと、「IP電話解除番号を設定する」の設定をしてください。

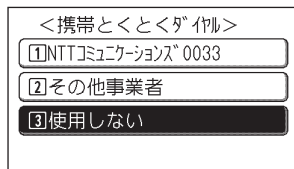
※通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者へ詳細をご確認ください。

携帯とくとくダイヤル機能を設定する

事業者識別番号を登録することで、自動的に「事業者識別番号」を付けて発信することができます。

- 1 **メニュー** を押し、**[はじめの設定]**
→ **[携帯とくとくダイヤル設定]**
→ **[携帯とくとくダイヤル]** の順に
タッチする

- 2 使用する事業者を選んでタッチする
○ **[NTTコミュニケーションズ0033]** または
[使用しない]（解除する）→ **手順4** へ
○ **[その他事業者]** → **手順3** へ



- 3 **事業者識別番号（最大6ケタ）**を入力し、**[決定]** をタッチする
・「事業者識別番号」とは、他の事業者の回線を通じて電話をかけるときにダイヤルしなければならない番号のことです。

- 4 **停止** を押す

- 一時的に携帯とくとくダイヤル機能を使用しないときは
解除番号「0000」を発信の前にダイヤルすると、事業者識別番号は発信されません。

NTT東日本、NTT西日本のサービス提供エリア外から電話をかけたときや、事業者識別番号が正しく入力されていないときは、正しく電話がかからないことがあります。

- **IP電話解除番号を設定する**
IP電話で携帯とくとくダイヤルをご利用になるには、携帯電話に発信するときだけ、NTTなどの一般回線を使う必要があります。以下の操作で「IP電話解除番号」を登録すると、携帯電話への発信時のみ、自動的に一般回線で発信できます。IP電話をご利用でないときは設定しないでください。
 - ① **メニュー** を押し、**[はじめの設定]**
→ **[携帯とくとくダイヤル設定]**
→ **[IP電話利用]** の順にタッチする
 - ② **[あり]** または **[なし]** を選んでタッチする
[あり] → **手順③** へ
[なし] → **手順④** へ
 - ③ IP電話解除番号（「0000」など。最大6ケタ）を入力し、**[決定]** をタッチする
 - ④ **停止** を押す

■ 携帯ととくとくダイヤルの対象番号 (携帯番号帯登録)

携帯ととくとくダイヤル機能の利用対象となる携帯電話の番号頭4ケタ(0901など)は、携帯番号帯としてあらかじめ登録されています。
ご利用の通信事業者にサービスの対象となる携帯電話番号をご確認のうえ、本機に登録済みの携帯番号帯に追加が必要なときは、番号頭4ケタを追加してください。

- ① を押し、[はじめの設定]
→ [携帯ととくとくダイヤル設定]
→ [携帯番号帯登録] の順にタッチする

登録する：

- ② **新規登録** をタッチする
- ③ 番号(4ケタ)を入力し、**決定** をタッチする
- ④ を押し

消去する：

- ② 消去したい番号をタッチする
- ③ **消去** を2回タッチする
- ④ を押し

■ 携帯ととくとくダイヤル機能の設定内容を表示する

携帯ととくとくダイヤル機能の利用設定および、IP電話の利用設定を確認することができます。

- ① を押し、[はじめの設定]
→ [携帯ととくとくダイヤル設定]
→ [設定内容表示] の順にタッチする
- ② 設定の内容を確認する
- ③ 確認が終わったら を押し

— <お知らせ> —

- ・ ひかり電話では、電話会社(通信事業者)を指定して電話をかけることができません。そのため、携帯ととくとくダイヤルはご利用になれませんので、設定しないでください。
- ・ 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者にお問い合わせください。
- ・ 通話先・通話時間や発信事業者の料金プラン等によっては、一部安くならない場合があります。
- ・ 携帯電話事業者の留守番電話サービスなど、一部ご利用いただけない番号があります。
こんなときは「0000」をダイヤルしてから電話をかけてください。携帯ととくとくダイヤル機能を使用せずに発信します。
- ・ 本サービスを利用した場合、携帯電話への通話料金は、利用した事業者から請求されます。
- ・ 本サービスは、マイラインの対象になりません。
- ・ 他のサービスと同時に、ご利用になれないことがあります。詳しくは、各通信事業者にお問い合わせください。

子機を増やす

- ・ 増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて最大4台までです。
- ・ 増設できる子機については144ページをご覧ください。JD-KS200は、機能的には付属の子機と同等です。144ページに記載されていない子機は増設できませんのでご注意ください(2011年10月現在)。

子機を増設する

別売の増設子機は、以下の操作で増設してください(下記の操作はKS-200での操作です)。

- ・ 増設/減設子機を親機のそばに用意してから操作してください。
- ・ 増設/減設の前に、子機を十分に充電してください。

1 子機背面の充電電池ふたと、充電電池を取り外す

2 再び充電電池を入れて、充電電池ふたを取り付ける

3 増設の確認メッセージが表示されたら、

を押し

- ・ 続けて親機を操作します。操作は2分以内に完了してください。

<次の操作は親機で行います>

4 [子機を増設します] と表示されるまで

を押し続ける(約5秒)

- ・ メッセージが表示されたらボタンを離してください。「ピー」と鳴ったら増設は完了です。
- ・ 「ピピピピ」と鳴ったときは、増設できていません。もう一度はじめてから操作してください。

■ 減設する(増設を取り消す)

<親機で操作します>

以下の操作で、すべての子機の増設登録が取り消されます。個別に減設したいときは、増設子機に付属の「子機増設登録操作説明書」をご覧ください。

① 「子機を増設します」と表示されるまで

を押し続ける(約5秒)

② 表示されたら、3秒以内に **0** を押ししたまま、[「メニュー」で子機を消去] と表示されるまで押し続ける(約5秒)

③ 表示されたら、子機が近くにあるのを

確認して を押し

「ピー」と鳴って、子機の増設登録が取り消されます。

- ・ 減設中に停電になったり、親機の電源プラグが外れたりすると、子機の減設が完了されないことがあります。その場合は、もう一度手順①からやり直してください。

1つの電話回線で複数の番号を使う (モデムダイヤルインサービス)

モデムダイヤルインサービスやひかり電話の「追加番号」サービス（マイナンバー）を利用することで、1つの電話回線で2つ以上の電話番号を使うことができます。本機では、電話用として最大5番号、ファクス用として1番号を設定することができます。電話用とファクス用にそれぞれ番号を持ったり、親機と子機の番号を別にしたりすることができます。また、番号ごとに着信音を変えることもできます。

ひかり電話をご利用の方は「追加番号」サービス（マイナンバー）をご利用ください。

・1つの電話回線ですので、ファクス送受信と同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。

このサービスを利用するには、**NTTとのご契約が必要です**

相手が電話用番号に電話をかけてくると…



電話に出てお話しください。

- ・相手と話したあとファクスに切り替えることもできます。
- ・着信音は番号ごとにすることができます。

相手がファクス用番号にファクスを送ってくると…



子機の着信音は
鳴りません

設定された呼出回数あと、ファクス受信に切り替わります。

- ・着信音は電話の着信音と鳴り分けすることができます(☎91ページ)。
- ・着信音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。
- ・ファクスに切り替わるまでの呼出回数を変更できます(☎90ページ)。

モデムダイヤルインサービスを利用するには

- ・[モデムダイヤルインサービスのご利用の手順]
- ・[ひかり電話「追加番号」サービス（マイナンバー）のご利用の手順]

NTTと契約する（有料）

下記NTT窓口にお申し込みください。

サービス開始の連絡を待つ

本機の設定をする(☎90ページ)

必ずサービスの開始後に行ってください。

モデムダイヤルインサービス、
マイナンバーサービスに関する
お問い合わせ、お申し込み先

NTT窓口

TEL：局番なしの

116（通話料金無料）

- ・電話番号は、変更になることがあります（2013年4月現在）。
- ・ひかり電話「追加番号」サービス（マイナンバー）をご利用のときは、ひかり電話対応アダプター/ルーター側の設定も必要となります。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

便利な機能

<お知らせ>

- ・「ダイヤルインサービス」には対応していません。「モデムダイヤルインサービス」を契約してください。
- ・正常に動作しなくなりますので、他の電話機などとブランチ式（並列）で接続しないでください。
- ・モデムダイヤルイン機能や、ひかり電話の「追加番号」サービス（マイナンバー）を利用する場合は、お申し込みおよび月額使用料、工事費が必要となります。また、本機能を利用する場合、NTTの各種サービスがご利用になれない場合や、一部制約を受けることがあります。接続する機器によっては、本機能を利用できない場合があります（詳しくは、お近くのNTTにお問い合わせください）。
- ・ホームテレホンや構内交換機（PBX）をお使いの場合は、ご利用になれません。
- ・他のサービスとの併用については、NTT窓口へご確認ください。
- ・ISDN回線のときは、TA（ターミナルアダプター）の設定が必要です。主番号に設定したアナログポートに接続してください。

モデムダイヤルインサービスを設定する

必ずサービスの開始後に行ってください。

- 1 **メニュー** を押し、[着信音と誰からコール]
→ [ダイヤルインの設定]
→ [ダイヤルイン機能] の順にタッチする
- 2 [使用する] または [使用しない] を選んでタッチする
- 3 **停止** を押す

ダイヤルイン番号を登録する

設定の前に、必ずモデムダイヤルインサービスを使用する設定にしてください（※上記）。

- 1 **メニュー** を押し、[着信音と誰からコール]
→ [ダイヤルインの設定]
→ [番号登録] の順にタッチする
- 2 番号の登録先を選んでタッチする
○ [TEL1~5] (電話用) → 手順3へ
○ [ファクス] (ファクス専用) → 手順4へ
- 3 登録したい親機、または子機の組み合わせを選んでタッチする

01	親機	07	子機1~4
02	子機1	08	親機、子機1
03	子機2	09	親機、子機2
04	子機3	10	親機、子機3
05	子機4	11	親機、子機4
06	親機、子機1~4		

- 4 ダイヤルイン番号 (最大20ケタ) を入力し、**決定** をタッチする

・ダイヤルイン番号は、市外局番から入力してください。

- 5 **停止** を押す

■ 設定内容を消去する

- 1 **メニュー** を押し、[着信音と誰からコール]
→ [ダイヤルインの設定]
→ [番号消去] の順にタッチする
- 2 消去したい項目を選んでタッチする
- 3 [消去する] をタッチする
- 4 **停止** を押す

■ 設定内容を表示する

- 1 **メニュー** を押し、[着信音と誰からコール]
→ [ダイヤルインの設定] の順にタッチする
- 2 [設定内容表示] をタッチする
- 3 確認が終わったら **停止** を押す

■ 設定される番号について

電話番号とファクス用番号に分ける場合は、必ず最初の電話番号 (契約者回線番号) を電話用番号に、ファクス用番号を追加された番号 (ダイヤルイン追加番号) に設定することをおすすめします。

電話用番号	最初の番号 (契約者回線番号)
ファクス用番号	追加された番号 (ダイヤルイン追加番号)

また、親機と子機で電話番号を分ける場合は、最初の電話番号を親機に、追加された番号を子機に登録することをおすすめします。

親機用番号	最初の番号 (契約者回線番号)
子機用番号	追加された番号 (ダイヤルイン追加番号)
2台目以降の子機番号	どちらでも可

■ ファクス時応答回数を設定する


追加された番号にかかってきたとき、ファクスに切り替わるまでの呼出回数を設定します。必ずモデムダイヤルインサービスの設定を [使用する] にしてください（※左記）。

- 1 **メニュー** を押し、[着信音と誰からコール]
→ [ダイヤルインの設定]
→ [ファクス時応答回数] の順にタッチする
- 2 **+** **-** をタッチして応答回数を選ぶ
- 3 **決定** をタッチする
- 4 **停止** を押す

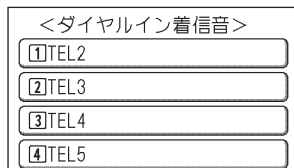
親機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

モデムダイヤルインサービスの番号登録で登録した番号に、それぞれの番号専用の着信音を設定します。

なお、「誰からコール」(☎ 109ページ)とは併用できません。「誰からコール」の設定を[使用しない]にしてお使いください(☎ 109ページ)。

- 1  を押し、[着信音と誰からコール] → [ダイヤルインの設定] → [ダイヤルイン着信音] の順にタッチする


- 2 着信音を設定したい登録先 ([TEL2] ~ [TEL5] または [ファクス]) を選んでタッチする



- ・ [TEL1] に登録した番号の着信音は、親機に設定されている音です。変更したい場合は、親機の着信音を変更してください(☎ 29ページ)。

- 3 設定したい着信音を選んで **決定** をタッチする

- ・ 鳴り分けできる着信音は、電話がかかってきたときに鳴る着信音と同じです(☎ 29ページ)。
- ・ 鳴り分けを解除するときは、[なし] を選んで **決定** をタッチしてください。



- 4  を押す



- **ダイヤルイン機能を設定したときは**
着信時にどの電話番号 (TEL1~5) に着信しているのかが表示されます。ただし、[ファクス]にかかってきたときや、「デカ文字着信」(☎ 99ページ)を[使用する]に設定しているときは表示されません。



子機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

ダイヤルイン鳴り分けは親機、子機それぞれ別に設定できます。子機では、[TEL2~5]の番号専用の着信音を設定することができます。

なお、「誰からコール」(☎ 109ページ)とは併用できません。「誰からコール」の設定を[使用しない]にしてお使いください(☎ 109ページ)。

- 1  を押し、 で [着信鳴り分け] を選ぶ


- 2  を押し、 で [ダイヤルイン] を選ぶ

- 3  を押し、 で [TEL2鳴り分け] ~ [TEL5鳴り分け] から着信音を設定したい登録先を選ぶ

- ・ [TEL1] に登録した番号の着信音は、子機に設定されている音です。変更したい場合は、子機の着信音を変更してください(☎ 30ページ)

- 4  を押し、 で着信音を選ぶ

- ・ 設定できる着信音は、電話がかかってきたときに鳴る着信音と同じです(☎ 30ページ)。

- ・ 鳴り分けを解除するときは、 で [解除] を選んでください(「ピピッ」と鳴ります)。

- 5  を押す

—<お知らせ>—

- ・ ダイヤルイン番号に電話がかかってくると、その番号を設定した親機または子機以外では電話に出ることはできません(電話をとりつくと通話できます)。
- ・ ダイヤルインサービスを利用しているときにファクス専用の番号を設定したいときは、受信モードの「ファクス専用」ではなく、ダイヤルインの「ファクス」を設定することをおすすめします。
- ・ ナンバー・ディスプレイの着信鳴り分け(☎ 112ページ)を設定したときは、そちらが優先されます。ただし、ファクス専用番号の着信音はダイヤルイン鳴り分けが優先されます。
- ・ 子機のダイヤルイン番号へ着信したときに内線通話をしていると、内線通話中の親機と子機の着信音が鳴ります。内線通話を終了すると、着信した子機の着信音が鳴ります。
- ・ TEL1~5に着信させる子機を設定するときは、付属の子機または増設登録している子機を設定してください。増設登録していない子機を設定しても、着信音は鳴りません。
- ・ 親機でコピーや印刷をしているときは、子機のダイヤルイン番号に着信しても親機の着信音が鳴ります。コピーや印刷が終了すると、子機からも着信音が鳴ります。

着信音や動作音を鳴らさないようにする（おやすみモード）

おやすみ中などに、着信音や動作音を鳴らさないように設定できます（おやすみモード）。特定の時間帯におやすみモードになるようにタイマー設定することもできます。設定中はディスプレイに「おやすみモード」と表示されます。

また、おやすみモード中は、着信させる番号を設定できる「選んで着信」が使えます。お子様のお留守番中にご家族の携帯電話からのみ着信させるといった使い方ができます。選んで着信のご利用にはナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。

おやすみモードに設定すると：

- ・着信音が鳴りません（内線は除く）。
- ・「選んで着信番号登録」に登録した番号以外からの着信に留守応答します。
- ・キータッチ音、ファクス・コピーの終了音が鳴りません。
- ・メモリー受信の場合、「選んで着信番号登録」に登録した番号以外から受信したファクスは印刷されません。記録紙受信では、おやすみモードのときも受信したファクスを自動で印刷します。
- ・「聞いてから応答」（☎ 35ページ）は利用できません。

手動でおやすみモードを設定／解除する

1 設定するときは、待受画面で **✳** を「ピー」と鳴るまで3秒以上押し続ける

解除するときは、設定中に **✳** を「ピー」と鳴るまで3秒以上押し続ける

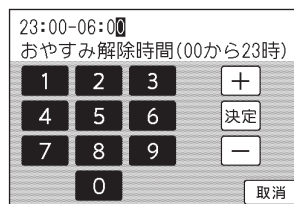
- ・メッセージが表示され、おやすみモードが設定／解除されます。
 - ・解除してもタイマー設定は消えません。
- 以下の操作でも設定できます。
- ① **メニュー** を押し、[着信音と誰からコール] → [おやすみ設定] → [おやすみ] の順にタッチする
 - ② 設定するときは[おやすみ開始]を、解除するときは[おやすみ解除]を選んでタッチする

特定の時間に、自動でおやすみモードに設定する

毎日、特定の時間だけおやすみモードが働くように設定できます。日付や曜日の指定はできません。

1 **メニュー** を押し、[着信音と誰からコール] → [おやすみ設定] → [おやすみ] → [タイマー設定] の順にタッチする

2 開始時刻と終了時刻（4ケタ、24時間制）を入力し、**決定** をタッチする



- ・開始時刻と終了時刻を同じ時刻にすると、常におやすみモードになります。

3 画面の内容を確認して **決定** をタッチする

- ・開始時刻になると、ディスプレイに おやすみモードが表示されます。

■ おやすみモードの設定内容を確認する

- ① **メニュー** を押し、[着信音と誰からコール] → [おやすみ設定] の順にタッチする
- ② [設定内容表示] をタッチする
- ③ 確認が終わったら **停止** を押す

■ おやすみモード中にファクスを受信したときはファクスの受信モードをメモリー受信に設定しているときは、おやすみモードを解除したときに、自動で印刷が開始されます。記録紙がない場合は、エラー音が鳴ります。

■ おやすみモード中に留守番メッセージを録音したときは

- 留守 **留守** が点滅します。再生の操作（☎ 55ページ）で内容を確認してください。

着信させる番号を登録する（選んで着信）

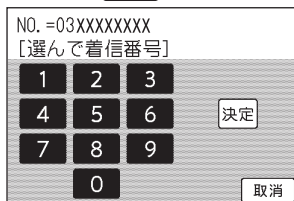
ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。
電話番号を登録しておく、おやすみモード中でも、登録した番号からの電話／ファクスに着信音を鳴らすことができます。登録できる番号は、最大30件です。

1 **メニュー** を押し、[着信音と誰からコール]
→ [おやすみ設定]
→ [選んで着信番号登録] の順に
タッチする

2 **新規登録** をタッチする

3 番号を登録する

- 電話帳から登録するとき→
電話帳 をタッチして **手順4** へ
- 直接番号を入力して登録するとき→
番号を入力して **決定** をタッチし、**手順5** へ



- ・ 着信させる番号は、市外局番から登録してください。
- ・ 電話帳に 21 ケタ以上で登録されている番号は選んで着信番号に登録できません。

4 登録したい相手先を選んで **決定** を
タッチする

5 **停止** を押す

■ 登録した番号を消去する

1 件ずつ消去：

- 1 **メニュー** を押し、[着信音と誰からコール]
→ [おやすみ設定]
→ [選んで着信番号登録] の順にタッチする
- 2 消去したい番号を選んでタッチする
- 3 **消去** を2回タッチする
- 4 **停止** を押す

すべて消去：

- 1 **メニュー** を押し、[各種全消去]
→ [選んで着信番号] の順にタッチする
- 2 [消去する] をタッチする

—<お知らせ>—

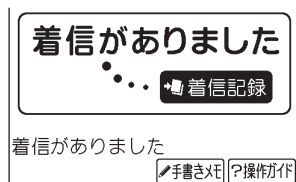
- ・ 日付・時刻を設定していないとおやすみモードは使用できません。
- ・ お断りが設定されているときは、お断り設定が優先されます。
- ・ 選んで着信番号に登録していない番号からの着信でも、着信中に電話に出ると通話できます。

不在時の着信をお知らせする

留守中などに着信した電話やドアホンの記録を確認できます。

親機で不在時の着信を確認する

1 ディ스플레이に [着信がありました] と表示されていたら、**着信記録** をタッチする



- ・ 着信記録 (☎ 111 ページ) が表示されます。[着信がありました] の表示は消えます。
- ・ **停止** を押すと、[着信がありました] の表示を消すことができます。

2 着信記録を確認する

3 確認が終わったら **停止** を押す

■ 着信通知を表示しないようにする

- 1 **メニュー** を押し、**#** を4回続けて押す
- 2 [電話関連の設定] → [着信通知] の順にタッチする
- 3 [使用しない] をタッチする
- 4 **停止** を押す

画面にメモを手書きする／ 指定時間にメモを表示する

親機の画面を使って、待受中や通話中にメモを取ることができます。保存したメモは「手書きメモ」として本体メモリーに保存され、指定した時間に「ピピピピ」という音とともに表示させることができます（最大20件）。

また、ファクスで送信したり、印刷したりすることもできます。

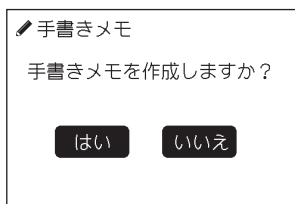
親機で手書きメモを書く

1 タッチペンを取る（☎ 19ページ）

2 待受画面または通話中に、**手書きメモ** をタッチする

3 手書きメモの新規登録画面を表示する

- 1件も手書きメモを登録していないとき：下記画面が表示されるので **はい** をタッチする



- 手書きメモを1件以上登録しているとき：手書きメモの一覧画面が表示されるので **新規登録** をタッチする

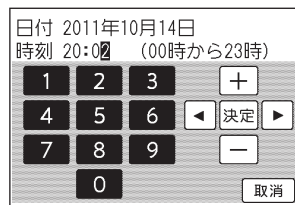
4 タッチペンを使って、画面にメモを取る

メモの書き方については、65ページをご覧ください。

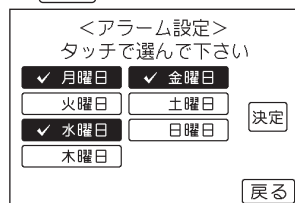
- アラーム設定をするとき：**アラーム** をタッチして手順**5**へ
- アラーム設定をしないとき：手順**7**へ

5 表示される日時を設定する

- 1度だけ表示するとき：**【1回だけ】** をタッチし、ディスプレイで日時を入力する



- 表示する曜日を指定するとき：**【曜日指定】** をタッチし、表示する曜日を選択して **決定** をタッチする



⇒ 時刻を入力する

- 毎日表示するとき：**【毎日】** をタッチし、時刻を入力する
- ・ 時刻は24時間制で2ケタで入力します。

6 設定内容を確認して **決定** をタッチする

- ・ 手書きメモの画面に戻ります。
- ・ 設定したあとにアラーム設定を確認したいときは、**アラーム** をタッチすると表示されます。設定を変更するときは、**変更** をタッチしたあと、手順**5**の操作を行ってください。
- ・ 設定したあとにアラームを解除するときは、**アラーム** をタッチしたあと **解除** をタッチしてください。設定内容は解除しても残るので、設定し直すときは **設定** をタッチしてください。アラーム設定を完全に消すときは **消去** をタッチします。

7 メモを作成したら **おわり** をタッチする

8 **【保存する】** をタッチする

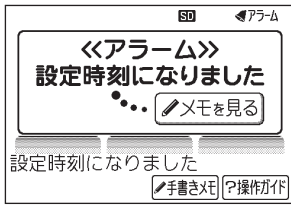
- ・ 保存しないときは、**【保存しないで終了する】** をタッチします。

9 **停止** を押す

10 タッチペンを戻す（☎ 19ページ）

■ 設定したアラームの時刻になると

設定したアラームの時刻になると、アラーム音が鳴り、ディスプレイに以下の画面が表示されます。



ディスプレイをタッチするとアラーム音が止まります。[メモを見る]をタッチすると、アラームを設定した手書きメモが表示されます。

- ・アラーム音は、ディスプレイをタッチしなくても約1分間で自動的に止まります。ただし、ディスプレイの画面は変更されません。
- ・アラーム音の音量は、親機の着信音量（☎29ページ）の大きさと同じです。着信音を鳴らさない設定にしているときは、[1 / 5段階]の音量で鳴ります。

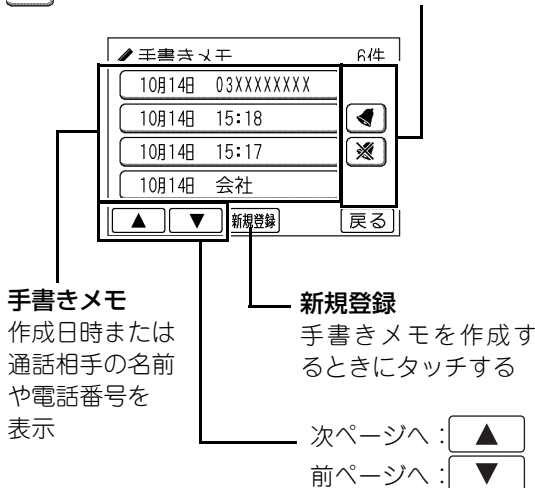
手書きメモの一覧画面の見かた

手書きメモが1件以上保存されているときに、待受画面や通話中に **手書きメモ** をタッチすると手書きメモの一覧画面が表示されます。

アラーム設定

手書きメモにアラームが設定されているときに表示

- : アラームが設定されている
- : 設定したアラームが解除されている



手書きメモ
作成日時または通話相手の名前や電話番号を表示

新規登録
手書きメモを作成するときにタッチする

次ページへ:

前ページへ:

保存した手書きメモを見る

1 待受画面または通話画面で **手書きメモ** をタッチする

2 確認したい手書きメモをタッチする



- ・保存した手書きメモは、作成日時が表示されています。

3 手書きメモを確認する

- ・手書きメモは拡大／縮小や回転、上下左右にスクロールすることはできません。

4 確認が終わったら **停止** を押す

手書きメモのアラーム設定を変更する

保存した手書きメモのアラーム設定を、手書きメモ一覧から変更することができます。

1 待受画面または通話画面で **手書きメモ** をタッチする

2 手書きメモの右側にある または をタッチする



- ・アラーム設定画面が表示されます。
- ・保存した手書きメモは、通話中に保存した手書きメモには通話相手の名前や電話番号が、それ以外の場合は作成日時が表示されています。
- ・手書きメモにアラーム設定がされていない場合は表示されません。新しく設定する場合は、手書きメモを修正（☎96ページ）してアラーム設定してください。


3 **設定** **解除** **消去** を選んでタッチする

- ・アラーム設定を変更するときは、**変更** をタッチしたあと、「親機で手書きメモを書く」（☎94ページ）の手順**5～6**の操作を行ってください。

4 **停止** を押す


保存した手書きメモを送信する

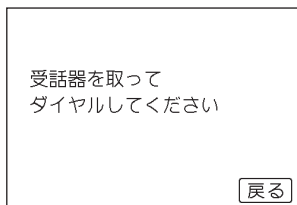
待受画面や通話中に、手書きメモを送信することができます。原稿をセットしているときは、取り出ししてください(☎62 ページ)。原稿をセットしていると、手書きメモを送信できません。

1 待受画面または通話画面で  **手書きメモ** をタッチする

2 送信したい手書きメモをタッチする

- ・ 保存した手書きメモは、作成日時が表示されています。


3  **ファクス送信** をタッチする



- ・ 原稿をセット(☎60ページ 手順 **1** ~ **4**)しているときは、選択できません。

4 受話器を取り、ダイヤルや電話帳などで電話をかける

- ・ すでに通話中のときは手順 **5** へ進んでください。

5  **[ファクスを送る]** をタッチする

6 受話器を戻す


保存した手書きメモを印刷する

1 記録紙をセットする(☎76ページ)

2 待受画面で  **手書きメモ** をタッチする


3 印刷したい手書きメモをタッチする

- ・ 保存した手書きメモは、作成日時が表示されています。

4  **印刷** をタッチする

■ 保存した手書きメモを修正する


① タッチペンを取る(☎19ページ)


② 修正したい手書きメモを表示中に  **修正** をタッチする

③ タッチペンで手書きメモを修正する


- ・ 新しくアラームを設定するときは、「親機で手書きメモを書く」(☎94 ページ)の手順 **5** ~ **6** の操作を行ってください。

④ 修正が終わったら、 **おわり** をタッチする

- ・ 修正せずに  **おわり** をタッチすると、手書きメモ一覧画面に戻ります。その場合は、手順⑥へ進んでください。

⑤  **[保存する]** をタッチする


- ・ すぐにファクス送信する場合は、「保存した手書きメモを送信する」(☎左記)をご覧ください。


⑥  **停止** を押す

⑦ タッチペンを戻す(☎19ページ)

- ・ 保存した手書きメモを修正すると、手書きメモの作成日時が更新されます。ただし、手書きメモの順番は変更されません。
- ・ 保存した手書きメモを修正しても、アラーム設定は更新されません。

■ 保存した手書きメモを消去する

① 消去したい手書きメモを表示中に  **消去** をタッチする

② もう一度  **消去** をタッチする

—お知らせ—

- ・ 本体メモリーの残量が少ない場合は、手書きメモの作成や修正ができないことがあります。

伝言などを録音する (メモ録音)

ご家族への伝言などを、メモ代わりに録音することができます。

親機でメモ録音をする


1 受話器を取る

2 を押す

- ・録音が始まります。
- ・**その他** → [メモ録音] の順にタッチして録音を始めることもできます。

3 録音が終わったら を押す

4 受話器を戻す

- ・メモを録音すると、 が点滅します。
- ・日時と件数が自動的に録音されます(日時スタンプ機能)。

■ 録音したメモを再生する (P.55ページ)

- **メモ録音中に電話がかかってくると**
録音は自動的に止まります。一度受話器を戻してから受話器を取って通話します。

—<お知らせ>—

- ・メモ録音をしているときは、子機で電話をかけたり、内線通話をしたりすることはできません。
- ・本体メモリーを使用しているときは、すべての録音を合わせて、最大約40分または最大60件まで録音できます。1件あたりの録音時間に制限はありませんが、1件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、60件録音できないこともあります。

通話内容を録音する (今から録音)

通話の内容を録音できます。通話内容のメモの代わりに使ったり、迷惑電話の内容を録音して相手に聞かせたりすることができます。

親機で「今から録音」する

1 通話中に を押す


- ・録音が始まります。
- ・通話中に **迷惑電話** → [今から録音] の順にタッチして録音を始めることもできます。

2 録音が終わったら を押す

- (メモリーがいっぱいになると、自動的に終了します)
- ・日時と件数が自動的に録音されます(日時スタンプ機能)。

3 通話中に再生するときは、**その他** を押す

4 [再生] をタッチする

- ・「今から録音」で録音した内容が再生されます(ほかに未再生録音があるときは、そちらが先に再生されます)。再生をやめるときは  を押します。

子機で「今から録音」する

1 通話中に を押す

- ・キータッチ音が鳴るように設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には録音を始めたことが分かりません。

2 で [今から録音] を選ぶ



3 を押す

- ・録音が始まります。


4 録音が終わったら を押す

- ・日時と件数が自動的に録音されます。

5 録音を通話中に再生するときは、

 を押し、 で [録音再生] を選ぶ

6 を押す

- ・「今から録音」で録音した内容が再生されます（ほかに未再生録音があるときは、そちらが先に再生されます）。再生をやめるときは  を押します。

— <お知らせ> —

- ・内線通話は録音できません。
- ・通話中に「戻って録音」をしたとき、同じ通話で「今から録音」はできません。
- ・SD自動録音（☎83ページ）を行っているときは、「今から録音」はできません。ただし、途中で録音を止めた場合は、「今から録音」を行うことができます。
- ・「今から録音」を行っているときは、通話を保留にすることができません。

通話内容をさかのぼって録音する（戻って録音）

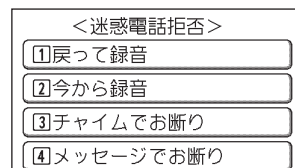
通話内容を最大約15分前までさかのぼって録音できます。しつこいセールスなどの迷惑電話に対して、録音した内容をそのまま相手に聞かせて撃退する、といった使いかたもできます。

親機で「戻って録音」をする

1 通話中に をタッチする

- ・キータッチ音を [あり] に設定していても、録音の操作音は鳴りませんので相手の方には録音を始めたことが分かりません。


2 [戻って録音] をタッチする



- ・通話していた内容が保存されます。

3 録音を通話中に再生するときは、 を押す

4 [再生] をタッチする

- ・「戻って録音」で録音した内容が再生されます。
- ・再生をやめるときは  を押します。

子機で「戻って録音」をする

1 通話中に を押す

- ・キータッチ音が鳴るように設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には録音を始めたことが分かりません。


2 で [戻って録音] を選ぶ

3 を押す

- ・通話していた内容が保存されます。

4 録音を通話中に再生するときは、 を押し、 で [録音再生] を選ぶ

5 を押す

- ・「戻って録音」した内容が再生されます。
- ・再生をやめるときは  を押します。

- 通話終了後、「戻って録音」を再生する
留守録音などと合わせて再生できます (☎55 ページ)。

■ 「戻って録音」の仕組み

通話が始まると、本機はその内容を一時的に録音します。「戻って録音」は、この一時的に録音されている内容を読み出し、録音データとして保存する機能です。

「戻って録音」をしなければ、一時的に録音された内容は通話終了時に消去されます。

■ 通話内容を相手に聞かせて、自動的にお断りする

「録音でお断り」をお使いください (☎38 ページ)。ただし、録音時間は15秒前からになります。また、通話内容は保存されません。

■ 「戻って録音」で録音できる時間を変更する

- ① を押し、 を4回押す
- ② [留守番電話関連の設定]
→ [戻って録音時間]の順にタッチする
- ③ [1分] [3分] [15分] のいずれかを選んでタッチする
- ④ を押す

— <お知らせ> —

- ・ 通話中に「今から録音」をしたときは、同じ通話で「戻って録音」はできません。
- ・ 内線通話 (☎39 ページ) は録音できません。
- ・ 「戻って録音」をすると、一度でメモリーがいっぱいになることがあります。

親機をもっと便利に使う

キーロック

親機のボタンを効かないようにして、電話を受ける以外の操作をできないようにすることができます。お手入れ中の誤操作などを防止できます。

- ① 設定するときは、待受画面で を「ピー」と鳴るまで3秒以上押し続ける

解除するときは、設定中に を「ピー」と鳴るまで3秒以上押し続ける

- ・ キーロックは親機と子機で個別に設定します。親機のキーロックを設定しても、子機の操作はロックできません。

音声操作案内

親機を操作中に流れる音声操作案内を流す／流さないの設定ができます。操作ガイドの音声と、電話帳登録などのその他のガイド音声を別々に設定することができます。

はじめはどちらも音声の流れの設定になっています。

- ① を押す
- ② [はじめの設定] → [音声操作案内] の順にタッチする
- ③ [操作ガイド] または [その他操作] から、変更したい項目を選んでタッチする
- ④ [あり] または [なし] を選んでタッチする
- ⑤ を押す

- ・ [操作ガイド] については、ガイド音声が出ているときに をタッチしても、設定を変更できません。

デカ文字着信

電話を受けるときに、ディスプレイの文字を大きくすることができます。

はじめは使用する設定になっています。

ただし、聞いてから応答 (☎36 ページ) を自動で表示する設定にしているときは、常にデカ文字で表示されます。

- ① を押し、 を4回続けて押す
- ② [電話関連の設定] → [デカ文字着信] と順にタッチする
- ③ [使用する] または [使用しない] を選んでタッチする
- ④ を押す

液晶濃度調整

液晶ディスプレイの表示濃度を調整することができます。

- ① を押す
- ② [はじめの設定] → [液晶濃度調整] の順にタッチする
- ③ **淡く** または **濃く** をタッチして濃度を調整し、**決定** をタッチする
- ④ を押す

ダイヤルライト

親機のダイヤルライトを点灯させる設定ができます。はじめは点灯させる設定になっています。

- ① を押し、**#** を4回押す
- ② [ダイヤルライト] をタッチする
- ③ [使用する] または [使用しない] を選んでタッチする
- ④ を押す

子機をもっと便利に使う

子機を使いやすく設定できる機能項目です。システム設定メニュー（待受画面で → で [システム設定] → ）から設定できます。

キータッチ音出力

子機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチ音）の有無を設定できます。

設定項目：[解除] または [設定]
工場出荷時の設定：[設定]

クイック通話

子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けられる機能の設定ができます。

設定項目：[解除] または [設定]
工場出荷時の設定：[解除]

液晶濃度調整

液晶画面の表示の濃度を16段階で調整できます。

設定項目：16段階の濃度（ で調整）
工場出荷時の設定：9段階目

ダイヤルライト点灯

子機を充電器から取ったときなどの、ダイヤルライト点灯の有無を設定できます。

設定項目：[解除] または [設定]
工場出荷時の設定：[設定]

以下の「キーロック」は待受画面で操作してください。

キーロック

子機のボタンを効かないようにして、電話を受ける以外の操作をできないようにすることができます。お手入れ中の誤操作などを防止できます。

- ① 設定するときは、待受画面で **#** を3秒以上押し続ける
解除するときは、設定中に **#** を3秒以上押し続ける

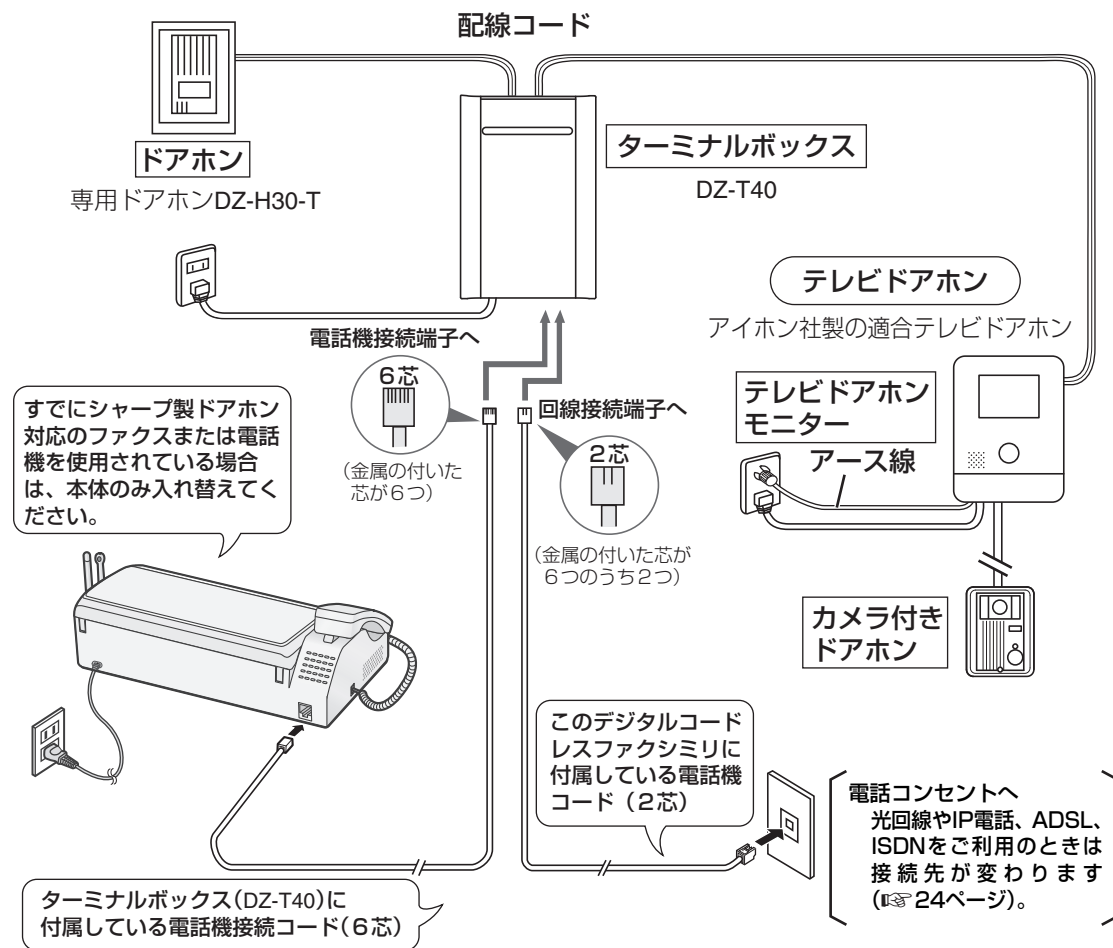
- ・ キーロックは子機と親機で個別に設定します。子機のキーロックを設定しても、親機の操作はロックできません。

ドアホンをつなぐ

別売のターミナルボックス（専用）とドアホン（テレビドアホン）を取り付けると、ドアホン通話することができます。ドアホンは最大2台まで接続することができます。詳しい接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

ドアホンのつなぎかた

(DZ-T40の接続例)



・カメラ付ドアホンでの映像は、親機の画面には映りません。テレビドアホンモニターで確認します。

■ ADSLやISDN、IP電話や光回線をご利用のときは (P.24ページ)

■ DZ-T40と接続できるドアホン

現在お使いのドアホンが下記の機種の場合、ターミナルボックス DZ-T40 をお求めいただくとお使いいただけます。

メーカー名	適合するドアホン (室外機の機種名) 2013年4月現在
シャープ	DZ-H30-T
アイホン	【テレビドアホン】:KD-55 KD-55-B KD-66 JES-1A-TB JES-1AK-T JES-1AE-T 【ドアホン】:IF-DA IF-DAW IE-DC IE-NC IE-RA IE-TAS IE-JA IE-DA IE-NXUシリーズ

※ 販売が終了した機種も含まれています。詳しくは、各メーカーにお問い合わせください。

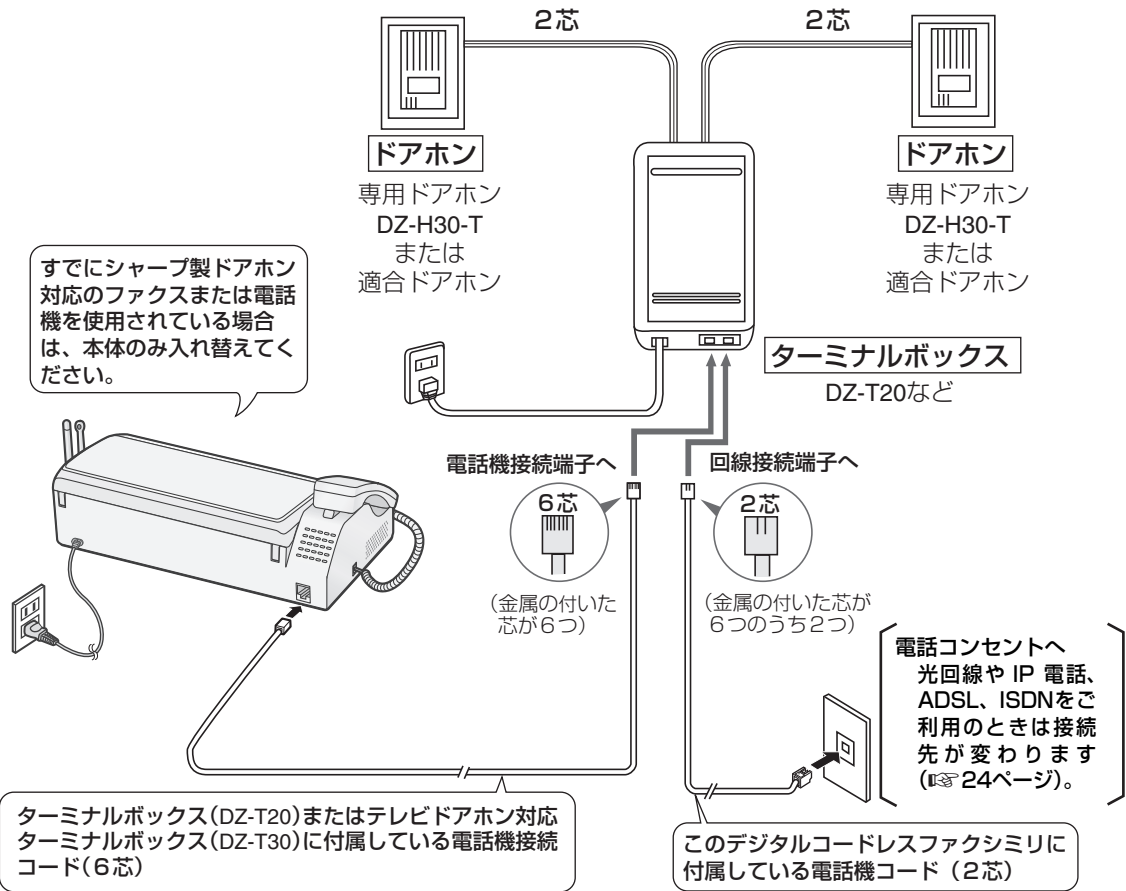
※ チャイム (室外と室内とで会話できないもの) は適合しません。

※ DZ-T40 のドアホン 1 はカメラ付ドアホン専用です。カメラのないドアホンは接続できません。

詳しくは DZ-T40 の取扱説明書をご覧ください。

ドアホンのつなぎかた

(ドアホンの接続例)



■ ADSLやISDN、IP電話や光回線をご利用のときは (☎ 24ページ)

■ DZ-T20またはDZ-T30と接続できるドアホン

現在、ターミナルボックス DZ-T20 または DZ-T30 (テレビドアホン用) をご利用の方は、下記のドアホンと接続が可能です。

メーカー名	適合するドアホン (室外機の機種名) 2013年4月現在
シャープ	DZ-H30-T DZ-H20 DZ-H21 DZ-H22 DZ-H23
アイホン	IE-DA IE-DC IE-NC IE-RA IE-TAS IE-JA IE-CA IF-DAW IE-NXS IE-NXBA IE-NXM IE-NXY IE-NXC IF-DA
岩通	ドアホンN
NTT	E-104DH E-ドアホンS E-ドアホンD E-ドアホンPL E-VXDアホン
パイオニア	TF-DR2
パナソニック	EJ-502 EJ-501W EJ-102 EJ-503F EJ-503A EJ-106A EJ-106S EJ-1021B VF-521 VF-522 VF-523U VF-523D VL-568 VL-568G VL-568U VL-568K VL-568KA VL-568D VL-568R VL-568S VL-568KAP VL-568GL VL-568UL VL-569 VL-580D VL-582A VL-584D VL-585D VL-586P VL-587P VL-592 VL-593 VL-594A
富士通	FC-201A FC-201B FC-201C FC-201D

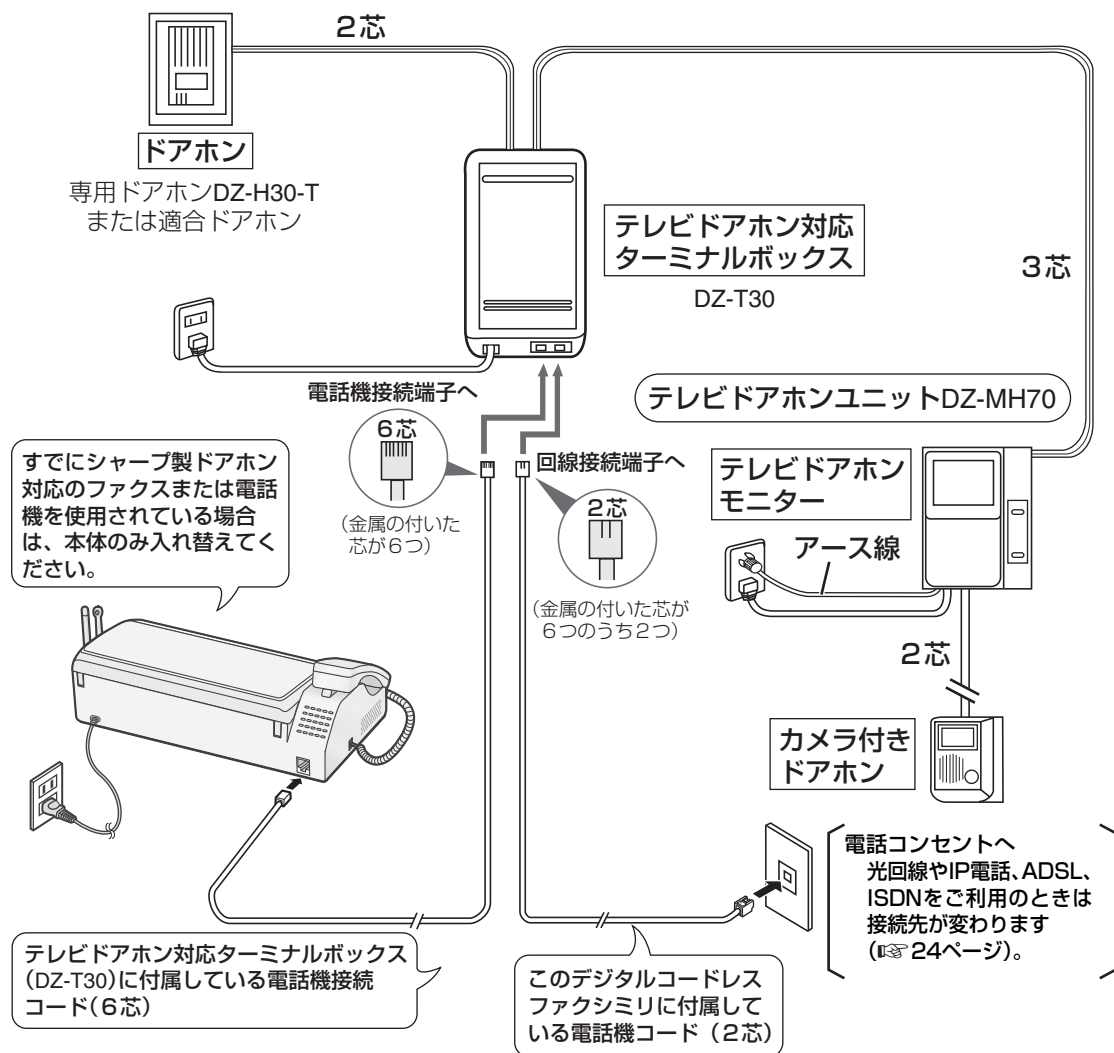
※ 販売が終了した機種も含まれています。詳しくは、各メーカーにお問い合わせください。

※ チャイム (室外と室内とで会話できないもの) は適合しません。

カメラ付ドアホンのつなぎかた

テレビドアホンユニットは、DZ-MH70、DZ-MH50、DZ-MH30が接続できます。
テレビドアホンユニットを取り付けるときは、必ずテレビドアホン対応ターミナルボックス（DZ-T30）をお使いください。

（カメラ付ドアホンの接続例）



便利な機能

- ・カラーカメラドアホン（DZ-TH10）は使用できません。
- ・カメラ付ドアホンでの映像は、親機の画面には映りません。テレビドアホンモニターで確認します。

■ 光回線やIP電話、ADSL、ISDNをご利用のときは（P.24ページ）

ドアホンと話す

ドアホンの着信音について

ドアホン1とドアホン2からの着信音は鳴りかたが違います。

親機	ドアホン1	
	ドアホン2	
子機	ドアホン1	
	ドアホン2	

親機でドアホンと話す

1 着信音が鳴ったら受話器を取る

2 通話が終わったら受話器を戻す

- 着信音が鳴ったあと、10秒以内に出ないと
10秒後に、もう一度ドアホンの着信音が鳴ります。そのままにしておくと、10秒後にドアホンは切れます。
ドアホンが切れると、親機に「着信がありました」と表示されます (☞ 93ページ)。

- 親機でドアホン通話中に電話がかかってくると
ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。
① 電話の着信音が聞こえたら、受話器を戻す
ドアホン通話は切れます。
② 受話器を取り上げる

- 親機でドアホン通話中にもう1台のドアホンから呼び出しがあると
ドアホン通話中の通話をやめて、もう1台のドアホンと通話ができます。
① ドアホンの着信音が「ピンポン」と聞こえたときは (1) を、「ピンポン ピンポン」と聞こえたときは (2) を押す
② (1) または (2) を押すごとに、2台のドアホンと交互に通話できます。
・ (キヤッチ) をタッチしても、2台のドアホンと交互に通話できます。

- 親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると
電話を保留にしてドアホンと通話ができます。
① ドアホンの着信音が聞こえたら、20秒以内に (保留) をタッチする
電話の相手の方には保留メロディが流れ、ドアホン通話になります。
② 電話に戻るときは、(保留解除) をタッチする
ドアホン通話は切れます。

- 親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると
内線通話をやめてドアホンと通話ができます。
① ドアホンの着信音が聞こえたら、20秒以内に受話器を戻す
内線通話は切れます。
② 受話器を取り上げる

子機でドアホンと話す

1 着信音が鳴ったら (受話器) を押す

2 通話が終わったら (切) を押す

- 子機でドアホン通話中に電話がかかってくると
ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。
① 「ピピ」と聞こえたら、(切) を押す
ドアホン通話は切れます。
② (受話器) を押す

- 子機でドアホン通話中にもう1台のドアホンから呼び出しがあると
ドアホン通話中の通話をやめて、もう1台のドアホンとの通話ができます。
① ドアホンの着信音が「ピロピロピロピロ」と聞こえたときは (1あ) を、「ピロリロピロリロ」と聞こえたときは (2か) を押す
・ (1あ) または (2か) (または (文字切替 キヤッチ)) を押すごとに、2台のドアホンと交互に通話できます。


- 着信音が鳴ったあと、10秒以内に出ないと
10秒後に、もう一度ドアホンの着信音が鳴ります。そのままにしておくと、10秒後にドアホンは切れます。

- 子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると
電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。
① ドアホンの着信音が聞こえたら、20秒以内に (内線/消去 保留) を押す
電話の相手の方には保留メロディが流れ、ドアホン通話になります。
② 電話に戻るときは、(内線/消去 保留) を2回押す
ドアホン通話は切れます。

■ 子機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

① ドアホンの着信音が聞こえたら、20秒以内に

①  を押す

内線通話は切れます。

②  を押す

—<お知らせ>—

- ・ 親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。
- ・ ドアホン通話の録音・保留・転送はできません。
- ・ ファクス送受信中は、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の着信音は鳴りません（通話もできません）。また、親機の着信音は鳴りますが、受話器を取っても通話はできません。
- ・ ドアホンの着信音は、電話がかかってきたときの着信音の大きさと同じです。また「切」に設定されているときは、最小の音量で鳴ります。
- ・ 3者通話中は、ドアホンとの通話はできません。
- ・ DZ-T40をお使いの場合、ドアホンモニターで応答しても、再び親機／子機の着信音が鳴ることがあります。このとき、ドアホンモニターで通話中だと、親機／子機で応答しても通話できません。ドアホンモニターの通話が終わっているときは、親機／子機で通話できます。


キャッチホン／キャッチホン・ディスプレイ

キャッチホン（通話中着信サービス）は、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話に出ることができるNTTのサービスです。キャッチホン・ディスプレイは、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができるNTTのサービスです。

ご利用には**NTTとの契約（有料）**が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。


キャッチホンを利用する

1 通話中に着信音が聞こえたら以下の操作をする

○親機： ⇒ [キャッチ] の順にタッチ


○子機： を押す

2 元の通話に戻るときは、もう一度以下の操作をする

○親機： ⇒ [キャッチ] の順にタッチ

○子機： を押す

■ キャッチホンを利用すると電話が切れてしまう／切り替わらないときは




キャッチホンの切替時間を変えることができます（キャッチホン切替時間  141ページ）。

■ キャッチホン・ディスプレイの設定をする

ご利用にはNTTとの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用のときは、必ず設定を〔使用する〕にしてください。設定を変更しないと、電話を受けられないことがあります（はじめは、〔使用しない〕に設定されています）。

また、ナンバー・ディスプレイを使用する設定にしてください（☎107ページ）。

- ①  を押し、 を4回押す
- ② [電話関連の設定] → [キャッチホン]
→ [キャッチホン・ディスプレイ] の順にタッチする
- ③ [使用する] または [使用しない] を選んでタッチする
- ④  を押す

— <お知らせ> —

- ・ キャッチホンを受けるときは、キャッチボタンをご使用ください。フックスイッチを押すと、キャッチボタンや保留ボタンが使えなくなることがあります。
- ・ ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
- ・ 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
- ・ 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると、電話が切れてもとの相手の方との通話には戻りません。
- ・ キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- ・ キャッチホン・ディスプレイのサービスをご利用の場合、キャッチホンでの通話中は、迷惑電話拒否機能（☎38ページ）は働きません。
- ・ キャッチホン・ディスプレイの表示の内容はナンバー・ディスプレイと同じですので、ナンバー・ディスプレイの表示のしかた（☎107ページ）をご覧ください。

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号を表示するサービスです。ご利用には、NTTとのご契約が必要です（有料）。

ナンバー・ディスプレイサービスを使うことで、本機の「誰からコール」や「着信鳴り分け」などの機能を使用できます。

■ 表示のしかた

ワンタッチダイヤル／電話帳に登録していない相手先から	番号を表示。
ワンタッチダイヤル／電話帳に登録している相手先から※ ¹ （親機と子機で個別に登録が必要）	登録した名前を表示。
番号非通知の相手先から	[非通知] と表示。
公衆電話から	[公衆電話] と表示。
表示圏外※ ² から	[表示圏外] と表示。
情報が受信できないとき	[外線着信] と表示。

※¹ ワンタッチダイヤルと電話帳の両方に登録している相手先からの着信は、ワンタッチダイヤルに登録した内容を表示します。

※² 番号通知ができない地域や回線（国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP電話など）

ナンバー・ディスプレイを利用する

<NTTをご利用の場合>

NTTと契約する（有料）

下記NTT窓口にお申し込みください。

本機の設定は必要ありません

はじめは使用する設定になっています。

NTTの工事終了後にサービスが利用できます

工事日数については、下記NTT窓口にお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイサービス、
キャッチホン・ディスプレイサービスに
関するお問い合わせ、お申し込み先

NTT窓口

TEL：局番なしの

116（通話料金無料）

・電話番号は、変更になることがあります（2013年4月現在）。

<NTT以外の電話会社をご利用の場合>

NTTのナンバー・ディスプレイ相当サービスの有無を各ご契約の電話会社にお問い合わせのうえ、お申し込みください。

■ ナンバー・ディスプレイの使用設定をする

はじめは、ナンバー・ディスプレイを使用する設定になっています。

ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイをご利用のときは使用する設定にします。構内交換機（PBX）に接続している場合など、内線電話としてお使いのときは使用しない設定にします。

① を押し、 を4回押す

② [電話関連の設定]

→ [ナンバー・ディスプレイ] の順にタッチする

③ [使用する] または [使用しない] を選んでタッチする

④ を押す

—<お知らせ>—

- ・ 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定にしてください。
- ・ ISDN回線でお使いになるときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプター（TA）をお使いください。
- ・ ナンバー・ディスプレイは、NTT の他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTへお問い合わせください。
- ・ ISDN回線のターミナルアダプターのアナログポート・構内交換機（PBX）や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。このときは使用しない設定にしてください。

ナンバー・ディスプレイを活用する

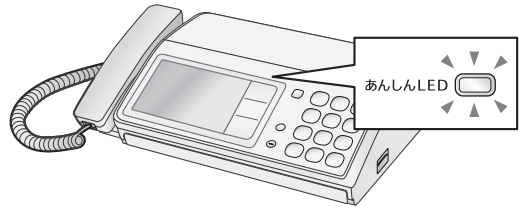
本機では、ナンバー・ディスプレイサービスを使って、以下の機能を使用できます。

名前の表示	ワンタッチダイヤル／電話帳に登録した名前を表示できます。
着信記録	相手の番号が記録されます (☎111ページ)。
着信鳴り分け	着信の種類によって着信音を変えられます (☎112ページ)。
あんしんLED	着信の種類によって、点灯／点滅するあんしんLEDのランプの色を変えられます (☎右記)。
迷惑電話お断り	特定の番号からの電話や、非通知の電話などを受けないように設定できます (☎113ページ)。
聞いてから応答	相手の方を名前や声で確認できるほか、表示される相手の方の名前や電話の種類を確認して、電話に出ないでお断りすることができます (☎36ページ)。
選んで着信	登録した番号からの電話だけ受けるように設定できます (☎93ページ)。
誰からコール	相手先の情報を音声でお知らせできます (☎109ページ)。
その他のサービス	キャッチホン・ディスプレイ (☎106ページ) やネーム・ディスプレイ (☎115ページ) のサービスを受けることができます。別途契約が必要です (有料)。

着信時に点灯／点滅するランプについて (あんしんLED)

電話がかかってきたとき、相手の電話の種類に合わせてあんしんLEDが色分けされて点灯／点滅します。ディスプレイを見なくても、電話の種類が分かるので便利です。

(例) 着信時



色分けされるランプは、以下の通りです。

相手の方の電話の種類	ランプ
非通知／公衆電話／表示圏外からの電話	赤色に点滅
親機のワンタッチダイヤル／電話帳に登録されていない電話番号	黄色に点滅
親機のワンタッチダイヤル／電話帳に登録されている電話番号	緑色に点灯
ナンバー・ディスプレイを使用しない場合のすべての着信	

あんしんLEDの点灯／点滅を設定する

はじめはあんしんLEDを点灯／点滅する設定になっています。

- 1 **メニュー** を押し、**[着信お断りの設定]**
→ **[あんしんLED]** の順にタッチする
- 2 使用するときには **[使用する]**、
使用しないときは **[使用しない]** を選んで
タッチする
- 3 **停止** を押す

—<お知らせ>—

- ・キャッチホンや内線通話、ドアホンからの着信では、あんしんLEDは点灯／点滅しません。
- ・あんしんLEDを使用する設定にしていると、未読の受信ファクスがある場合でも、着信中はファクスボタンが点滅しません。

着信を音声でお知らせする

誰からコール／誰あてコール／どこからコールについて

電話がかかってきたとき、「誰からの電話か」「誰あての電話か」「どこからかかってきているのか」などの情報を、親機と子機の音声でお知らせします（親機の電話帳に登録された情報を使用します）。

はじめは、これらの音声お知らせを使用する設定になっています。使用しない設定にするときは、「誰からコールの設定をする」（☞右記）、「どこからコールの設定をする」（☞110ページ）、をご覧ください。

誰からコール／誰あてコールの発声：

「お姉さんあてに〇〇さんからです」など

- ・「お姉さん」の部分には、電話帳登録時の誰あてコール設定で選択した名前が入ります。「〇〇さん」は電話帳に登録した相手先の名前です。
- ・電話帳に登録された「読み」に発声できない文字があるときは、「お姉さんあてにお電話です」のように発声します。

どこからコールの発声：

「(都道府県名)からです」「携帯電話からです」「PHSからです」のいずれか

- ・電話帳に登録されている相手先の場合は、誰からコール／誰あてコールが優先されます。

その他の発声：

番号非通知の相手先から：「非通知です」

公衆電話から：「公衆です」

表示圏外から：「圏外です」

誰からコールの設定をする

はじめは誰からコールを使用する設定になっています。

- 1 を押し、[着信音と誰からコール] → [誰からコール設定] → [誰からコール] の順にタッチする

- 2 使用するときには[使用する]をタッチして手順3へ
使用しないときは[使用しない]をタッチして手順4へ

- ・誰からコールを解除すると、誰あてコール、どこからコールも解除されます。どこからコールのみ解除したいときは、110ページをご覧ください。

- 3 着信鳴り分けを設定しているときは、誰からコールと併用できないため、確認画面が表示されます。画面が表示されないときは手順4へ進んでください。

着信鳴り分けを解除するときは [はい] を選んでタッチする

- ・着信鳴り分けをそのまま使用するときには [いいえ] を選んでタッチします。

- 4 を押す

■ 誰あてコールでお知らせする名前を登録する

誰あてコールでお知らせする名前を9つまで登録できます。はじめは①～⑥が登録されています。⑦～⑨に追加で登録できます。

はじめに登録されている名前：

- ①オトウサン ②オカアサン ③オニイサン
④オネエサン ⑤オジイサン ⑥オバアサン
⑦～⑨未登録

- ① を押し、[着信音と誰からコール] → [誰からコール設定] → [誰あてコール] の順にタッチする
- ② 名前の登録先をタッチして選び **修正** をタッチする
登録済みの項目を選ぶと名前を修正できます。
- ③ 名前（最大半角20文字）を入力し、**決定** をタッチする（☞46ページ）
- ④ を押す

- ・登録済みの名前を修正すると、その名前为谁あてコールを登録しているすべての電話帳の発声が変更されます。

■ 誰あてコールでお知らせする名前のアクセントを変更する

- ① **メニュー** を押し、[着信音と誰からコール] → [誰からコール設定] → [誰あてコール] の順にタッチする
- ② アクセントを変えたい名前を選んでタッチする
- ③ **再生** をタッチする
- ④ 名前の読み上げから3分以内に **1** ~ **9**、**0** で調整する
1 ~ **8** は、それぞれ左から数えて1~8番目の文字にアクセントを付けます。**9** はアクセントを自動設定し、**0** は平坦なアクセントに設定します。
- ⑤ **停止** を押し

■ 誰あてコールの設定をする

誰あてコールを使用するときは、誰からコールを使用する設定にしたうえで、電話帳の登録または修正時に、誰あての着信かを選んでください(☎42ページ)。

誰あてコールを使用しないときは、誰あての着信かを選ぶときに [特定しない] に設定してください。設定済みの誰あてコールを、一括ですべて発声しないようにすることはできません。

■ どこからコールの設定をする

どこからコールを使用する/使用しないの設定ができます。はじめは使用する設定になっています。また、どこからコールを使用するときは、誰からコールを使用する設定にしておいてください(☎109ページ)。

- ① **メニュー** を押し、**#** を4回押す
- ② [電話関連の設定] → [どこからコール設定] → [どこからコール] の順にタッチする
- ③ [使用する] または [使用しない] を選んでタッチする
- ④ **停止** を押し

■ どこからコールで発声する地名や発声のしかたを市外局番ごとに変更する(地域番号帯登録)

どこからコールで発声する地名を、市外局番ごとに変更することができます。市外局番と地名が合っていないときなどに変更してください。また、発声しない設定にしたり、「携帯電話」や「PHS」と発声させたりすることもできます。登録できる番号は、最大30件です。

- ① **メニュー** を押し、**#** を4回押す
- ② [電話関連の設定] → [どこからコール設定] → [地域番号帯登録] の順にタッチする
- ③ **新規登録** をタッチする
- ④ 発声のしかたを変更したい市外局番を入力し、**決定** をタッチする
- ⑤ 発声のしかたを選んでタッチする
[00:発声しない] [1~47:47 都道府県名]
[48:携帯電話] [49:PHS]
- ⑥ **停止** を押し
・ 地域番号帯を消去したいときは、手順②のあと消去したい番号帯をタッチして選び、**消去** を2回押します。修正したいときは、いったん消去してからあらためて登録します。

— <お知らせ> —

- ・ 誰からコールと誰あてコールでは、電話帳の「読み」にアルファベット、数字、記号を使っていると、途中までしか発声しないことがあります。
- ・ 誰からコール、誰あてコール、どこからコールを使用しているときは、着信音の種類を変更していても、固有の着信音で鳴ります。
- ・ 誰からコール、誰あてコール、どこからコールは、着信鳴り分けおよびダイヤルイン鳴り分けとは併用できません。
- ・ 内線通話中やドアホン通話中の着信、コピー中の着信、キャッチホンの着信では、誰からコール、誰あてコール、どこからコールは働きません。
- ・ どこからコールで地域番号帯を登録すると、指定した市外局番から始まる電話番号からの電話は都道府県名を発声しない設定にすることもできますので、自宅の市外局番等を登録しておけば、近所の方からの電話は都道府県名を発声しなくなります。

着信記録（着信履歴）を使う

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です
着信記録を使うと、電話をかけてきた相手先の番号や電話帳に登録した名前を確認できます。また、着信記録を使って電話をかけたり、ファクスを送ることができます。

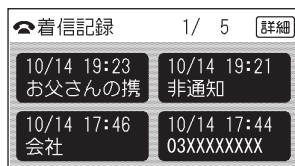
親機の着信記録を見る

保存できる着信記録は、最大20件までです。

1 を押し、[着信記録] をタッチする

- 待受画面（☎ 28ページ）が「電話画面」の場合は、待受画面の「着信記録を見る」をタッチします。


2 着信記録を確認する



- 着信した日時と番号（電話帳に登録した番号のときは名前）を確認できます。
- [詳細] をタッチすると、詳細メニューが表示されます。[全桁表示] をタッチすると、選択している相手先の名前と電話番号が全桁表示されます。また、番号や名前、着信した日時のほかに、以下のアイコンが表示されます。

不在: 出られなかった電話・ファクス・ドアホン着信に表示されます。

FAX専用: ファクス専用（☎ 139ページ）設定中の電話・ファクス着信に表示されます。



 **お断り設定**（☎ 113ページ）の対象になっている電話・ファクス着信に表示されます。

3 確認が終わったら を押し


親機で着信記録を使って電話をかける

着信記録を使って電話をかけるときは、33ページをご覧ください。

■ 親機の着信記録を消すときは1件だけ消す

-  を押し、[着信記録] をタッチする
・待受画面（☎ 28ページ）が「電話画面」の場合は、待受画面の「着信記録を見る」をタッチします。
- [詳細] をタッチする
- 消去したい番号をタッチして選び、**[消去]** をタッチする
- [消去する] をタッチする
-  を押し

すべて消す

-  を押し、[各種全消去] → [着信記録] の順にタッチする
- [消去する] をタッチする

■ 親機の着信記録を電話帳に登録する（☎ 43ページ）

子機で着信記録を使って電話をかける

保存できる着信記録は、最大20件までです。

1 子機を充電器から取る

2 を押し、 で番号を選ぶ

- 相手の方の番号は 20 ケタまで記録されています。








3 を押し

4 通話が終わったら を押し

5 充電器に戻す

■ 子機で着信記録に184（非通知）や186（通知）を付けて電話をかける

184や186などの番号を、着信記録の前に入れてダイヤルします。

-  を押し、 で番号を選ぶ
-  を押し、 で [特番ダイヤル] を選ぶ
-  を押し、184や186などの番号を入力（最大8ケタ）して  を押し
- 通話が終わったら  を押し
- 充電器に戻す

■ 子機で着信記録を使ってファクスを送る

- ① 親機に原稿をセットする
(☎60ページ 手順 1~4)
 - ② を押し、 で番号を選ぶ
 - ③ を押し
 - ④ 相手の方が電話に出たら、ファクスを送信することを伝え、ファクスを受信する操作をしてもらう
 - ⑤ 「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたら、 を押し、 で [FAX送信] を選択する
 - ⑥ を押し
 - ⑦ 子機を充電器に戻す
- ・上記の手順④で「ファクスを送信してください」という留守番メッセージや、相手の方が電話に出ないで「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたときも、続けて手順⑤~⑦の操作をしてください。
 - ・送信を中止するときは、親機の を押しします。
 - ・相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります (おまかせ送信)。

■ 子機の着信記録を消すときは

- ### 1件ずつ消す
- ① を押し、 で消去したい番号を選ぶ
 - ② を押し、 で [1件消去] を選ぶ
 - ③ を2回押し
- ### すべて消す
- ① を押し、 で [全消去] を選ぶ
 - ② を押し、 で [着信記録] を選ぶ
 - ③ を2回押し

■ 子機の着信記録を電話帳に登録する (☎44ページ)

—<お知らせ>—

- ・着信記録は親機と子機、別々に記録しています。
- ・電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
- ・親機では、お断りに設定している相手からの電話でも、着信記録が表示されます。子機では表示されません。
- ・親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。
- ・ダイヤルインサービスで子機専用の番号を設定した場合、着信音が鳴るのは子機のみですが、着信記録は親機にも残ります。

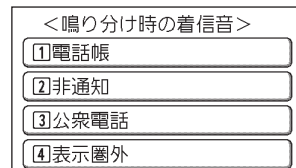
着信鳴り分けを使う

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です
電話がかかってきたとき、着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。鳴り分けができる着信は、「電話帳に登録されている相手先からの電話」、「非通知の電話」、「公衆電話からの電話」、「表示圏外からの電話」の4種類です。
はじめは、親機・子機とも設定されていません。

親機の鳴り分けを設定する

- 1 を押し、[着信音と誰からコール] → [鳴り分け時の着信音] の順にタッチする

- 2 鳴り分けする着信の種類を [電話帳] [非通知] [公衆電話] [表示圏外] から選んでタッチする



- 3 鳴り分け用の着信音を選んで をタッチする

- ・設定できる着信音の種類は、通常の着信音と同じです (☎29ページ)。
- ・着信鳴り分けを解除するときは [なし] をタッチします。

- 4 誰からコールを設定しているときは、着信鳴り分けと併用できないため、確認画面が表示されます。画面が表示されないときは手順 5 へ進んでください。








誰からコールを解除するときは [はい] をタッチする

- ・誰からコールをそのまま使用するときには [いいえ] をタッチします。

- 5 を押し

子機の鳴り分けを設定する

親機で「誰からコール」(☎ 109ページ)を設定しているときは、着信鳴り分けは働きません。使用するときは、親機の操作で「誰からコール」を使用しない設定にしてください(☎ 109ページ)。

- 1  を押し、 で [着信鳴り分け] を選ぶ
- 2  を押し、 で [電話帳 ワンタッチ] [非通知] [公衆電話] [表示圏外] のいずれかを選ぶ
・ [ダイヤルイン] については、91ページをご覧ください。
- 3  を押し、 で着信音を選ぶ
・ 設定できる着信音の種類は、通常の着信音と同じです(☎ 30ページ)。
・ 着信鳴り分けを解除するときは [解除] を選んでください(「ビピッ」と鳴ります)。
- 4  を押す


—<お知らせ>—

- ・ かかってくる相手の方ごとに着信音を変えることはできません。
- ・ ダイヤルイン鳴り分け(☎ 91ページ)と同時に設定した場合、電話帳鳴り分け、非通知鳴り分け、公衆電話鳴り分け、表示圏外鳴り分けが優先されます。ただし、ファクス専用番号の着信音はダイヤルイン鳴り分けが優先されます。

特定の種類・特定の番号の着信をお断りする

非通知／公衆電話／表示圏外お断り

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です
非通知の電話、公衆電話からの電話、表示圏外からの電話に対して、着信音を鳴らさずにお断りのメッセージを流すことができます。
はじめは設定されていません。

- 1  を押し、[着信お断りの設定] をタッチする
- 2 設定するお断りの種類を [非通知お断り] [公衆電話お断り] [表示圏外お断り] から選んでタッチする
- 3 [なし] または [お断り] を選んでタッチする
・ [非通知お断り] に設定すると、非通知の電話には、「この電話は、お受けすることはできません。恐れ入りますが、電話番号の前に186を付けてダイヤルするなど、電話番号を通知しておかけ直してください」と3回流れて電話が切れます。
・ [公衆電話お断り]、[表示圏外お断り]に設定すると、公衆電話または表示圏外からの電話には、「この電話は、お受けすることはできません」と3回流れて電話が切れます。

- 4  を押す

お断りしたい番号を登録する

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です
電話を受けたくない相手先の電話番号を、「お断り番号」として30件まで登録することができます。
登録した相手先から電話がかかってくると、着信音を鳴らさずに、相手先へお断りのメッセージを流すことができます。

1 **メニュー** を押し、**[着信お断りの設定]**
→ **[お断り番号登録]** の順にタッチする

2 **新規登録** をタッチする

3 電話番号（最大20ケタ）を入力し、**決定** をタッチする

・ お断り番号を登録すると、登録した相手の方からの電話には、「この電話は、お受けすることはできません」と3回流れて電話が切れます。

4 **停止** を押し


■ 登録したお断り番号を消去する
1 件ずつ消す

- 1 **メニュー** を押し、**[着信お断りの設定]**
→ **[お断り番号登録]** の順にタッチする
- 2 消去したい番号を選んでタッチする
- 3 **消去** を2回タッチする
- 4 **停止** を押し

すべて消す

- 1 **メニュー** を押し、**[各種全消去]** → **[お断り番号]** の順にタッチする
- 2 **[消去する]** をタッチする

—<お知らせ>—

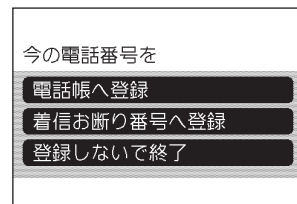
- ・ お断り番号に登録されている相手からの電話は、緊急の用件でも着信音が鳴りませんので、ご注意ください（親機のディスプレイは点灯します）。
- ・ お断り設定をした相手からの電話は、親機にのみ着信記録が残ります。また、その相手の番号には  のマークが表示されます（☎111ページ）。

通話後に電話番号を登録する (着信らくらく番号登録)

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です
電話帳に登録していない方からの着信があったときに、通話後にその電話番号をかんたんな操作で電話帳に新規登録したり、お断り番号として登録することができます。

通話後に電話帳に登録する

1 電話を切ったあと、登録画面が表示されたら、**[電話帳へ登録]** をタッチする



・ 登録画面が表示されてから、約1分間、何も操作をしないと待受画面に戻ります。

2 名前を入力して電話帳に登録する

・ 番号には通話した相手先の番号が入力されています。

通話後にお断り番号に登録する

1 電話を切ったあと、登録画面が表示されたら、**[着信お断り番号へ登録]** をタッチする

・ 登録画面が表示されてから、約1分間、何も操作をしないと待受画面に戻ります。

2 **決定** をタッチし、**[はい]** をタッチする

・ 相手先の番号がお断り番号に登録されます。

■ 着信らくらく番号登録を解除する

- 1 **メニュー** を押し、**[#]** を4回押す
- 2 **[電話関連の設定]** → **[着信らくらく番号登録]** の順にタッチする
- 3 **[使用しない]** をタッチする
着信らくらく番号登録を使用しない設定になり、電話のあとに登録画面が表示されなくなります。
- 4 **停止** を押し

ネーム・ディスプレイ を利用する

本サービスは、2013年2月28日にサービスの提供が終了しているため、ご利用になれません。

詳しくは、局番なしの**116**にお問い合わせください。

電話がかけられない

どこにも電話がかけられない／光回線に変更したら電話がかけられなくなった

手順に従って、電源プラグ、電話機コードが正しくつながっているか確かめます (☎ 20 ページ)。

設置時の回線種別が、まれに正しく設定されないことがあります。ご契約の回線種別を確認して手動で変更します (☎ 23 ページ)。

電話をかけて、つながるか確認してください。



それでもつながらない

引っ越しの直後など回線の工事が完了していないことがあります。ご契約と工事の日程を確認してください。

特定の番号にかけられない

例：フリーダイヤル (0120～)
ナビダイヤル (0570～) など



IP電話や光電話のどちらかを契約されていますか？

光電話

IP電話

一部のサービスの番号にかけることができません。詳しくは、ご契約の光電話会社にご確認ください。

一般加入回線も同時に契約されていますか？

いいえ

はい

一般加入回線を同時に契約していない場合は、フリーダイヤルやナビダイヤルにかけることができません。詳しくは、ご契約のIP電話会社にご確認ください。

設置時の回線種別が、まれに正しく設定されないことがあります。ご契約の回線種別を確認して手動で変更します (☎ 23 ページ)。

ご契約の電話会社またはサービス会社とは？

通話料金や電話サービスの請求書を送ってくる会社です。

それでもつながらない

一般加入回線を選択するための「IP電話解除番号」(☎ 87 ページ) をダイヤルしてから番号をダイヤルしてください。

受話器を取ってからダイヤルに時間がかかると、電話がつながらないことがあります。その場合は、先にダイヤルをしてから受話器を取ってください。

携帯電話にかけられない



「携帯ととくとくダイヤル機能」の設定を確認します。

IP電話や光電話を契約されていますか？

契約していない

通信事業者が合っていないとつながりません。正しく設定します (☎ 87ページ)。

事業者識別番号をもう一度チェック



光電話を契約している

ご利用になれません。機能を使用しない設定にします (☎ 87ページ)。

IP電話を契約している

一般加入回線も同時に契約していますか？

はい

通信事業者や「IP電話解除番号」が合っていないとつながりません。正しく設定します (☎ 87ページ)。

いいえ

ご利用になれません。機能を使用しない設定にします (☎ 87ページ)。

携帯電話にかけます (通話料は有料)。つながったら、設定は完了です。

●それでもつながらない場合

電話会社によっては、かけられない電話番号や受けられない電話サービスがあります。ご契約の電話会社や電話サービス会社にご確認ください。

※ IP電話とは、ADSLなど、インターネットの技術によって通信する電話です。
光電話とは、NTTのひかり電話など、光回線を利用して通信する電話です。

■ 回線種別とは…

回線の種類のことです。ダイヤル回線とプッシュ回線があります。本機の設定がご契約の回線と合っていない場合、電話がかけられないことがあります。

■ 回線種別の自動設定について

本機では、お買いあげ後にはじめて電源を入れたときと、登録初期化の操作をしたあとに、回線種別が自動的に設定されます。ただし、ご使用の状況によっては正しく設定されないことがあります。

電話がかけられない場合は、ご契約内容を確認し、設定が合っていない場合は手動で変更してください (☎ 23ページ)。

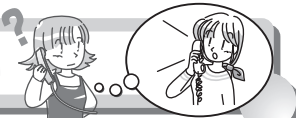
■ IP電話とは

IP電話では、インターネットの技術によって通信します。IPとは、internet protocol (インターネットプロトコル) の略です。従来とは異なる仕組みで通信するため、回線種別設定に関係なくつながります。

声が聞こえにくい

通話中、ご使用の電話回線や通話状態にあわせるため、自動的に通話レベルの調整を行うことがあります。調整には2～3分程かかり、その間の通話は音量が不安定になったり雑音が入ったりしますが、故障ではありません。

相手の方の声が聞こえにくい



聞こえにくいのは親機ですか？子機ですか？

親機

子機

雑音が入る

音が小さい／大きすぎる
声が響く

雑音が入る
相手の方の声がとぎれる
音が大きくなったり
小さくなったりする

■受話音量が大きすぎると雑音が入る場合があります。

それでも雑音が入る場合は

■キャッチホン・ディスプレイをご利用でないのに、使用する設定になっていませんか？
使用しない設定にします (☎ 106ページ)。

■受話音量を調整します。
☎ 29、30、140ページ
■送話音量が大きすぎると、自分の声が響いて聞こえる場合があります。
送話音量を調整します。
☎ 140ページ

■アンテナ表示2本以上の範囲でお使いください。
☎ 27ページ
■親機との距離や設置場所などお使いの環境をお確かめください。
「ご使用前に知っていただきたいこと」をご覧ください (☎ 10ページ)。
■親機のアンテナをまっすぐに立てます。

こちら側の声が相手に聞こえにくい



■送話口（マイク）を手でふさいでいませんか？
■回線の状態などによって、聞こえにくくなる場合があります。
送話音量を大きくしてください (☎ 140ページ)。

ファクスを送れない



ファクスを送れない

まず、ここを確認してください

- 原稿は正しくセットされていますか？
☎ 60ページ
- 原稿送りローラーは正しく取り付けられていますか？
☎ 126ページ
- 相手の方が非通知お断りに設定していませんか？
番号の前に「186」を付けてダイヤルしてください。

それでもファクスを送れないときは

- 相手の方のファクスが記録紙切れなどで受信できる状態になっていないかもしれません。
相手の方に確認してください。

受話器を取ってからファクスを送るときは、ダイヤルに時間がかかると、ファクスを送れなくなることがあります。その場合は、先にダイヤルをしてから受話器を取ってください。



ファクスを送ったが...

相手の方の記録紙に印刷されない

- 原稿は正しくセットされていますか？
送る面を裏向きにセットします (☎ 60ページ)。

相手の方に届いた画像が悪い

- 原稿送りローラーや読み取り部 (ガラス) が汚れていませんか？
汚れをふき取ります (☎ 126ページ)。

こまったときは

ファクスを受けられない／着信音が鳴らない

ファクスを受けられない



メモリーがいっぱいになっていませんか？

いっぱいになっている

いっぱいになっていない

- ファクス受信方法が記録紙受信の設定になっていませんか？
記録紙をセットしてから、もう一度送信してもらいます (☎ 76ページ)。
- 留守設定などでファクスを受けるときは、「応答メッセージ待ち時間」や「発信音待ち時間」が短いと、受信できないことがあります。
待ち時間の設定を長くします (☎ 139ページ)。

- 受信ファクスを印刷／消去します。
☎ 74、77ページ
- 不要な録音を消去します。
☎ 55ページ
- SDカードを利用すると、保存できる容量を増やすことができます。
☎ 80ページ

それでも受けられない

- 写真原稿などを受信すると、受信中にメモリーがいっぱいになる場合があります。このときは、ファクス受信方法を記録紙受信に設定し、記録紙をセットして受信してください。
☎ 139ページ

着信音が鳴らない



親機の着信音が鳴らない

親機も子機も
着信音が鳴らない


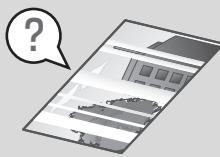
子機の着信音が鳴らない

- 着信音を鳴らさない設定に
していませんか？
☎ 29ページ

- 着信音を鳴らさない設定に
していませんか？
☎ 29ページ
- 親機がコピー中、印刷中では
ありませんか？
終わるまで子機は使用
できません。



- ファクス優先またはファクス専用
に設定していませんか？
解除します (☎ 139ページ)。
- おやすみモードに設定して
いませんか？
解除します (☎ 92ページ)。
- 各種お断りを設定して
いませんか？
解除します (☎ 113ページ)。
- モデムダイヤルインサービスを
契約しているときは、特定の親機
または子機のみ着信する設定に
すると、他の親機または子機
では着信音が鳴りません。
解除します (☎ 90ページ)。

コピーや印刷ができない

正しく給紙しない 	・ 記録紙は、当社の推奨品をお使いください。	137
	・ インクリボンは、当社の純正品をお使いください。	137
	・ 記録紙が正しく給紙しているか確認します。	76
	・ 記録紙が、記録紙押さえの間にまっすぐセットされているか確認します。	76
	・ 記録紙は、よくさばいて紙の先端をそろえてから、そっと置くようにセットします。記録紙トレイを開いたときや、記録紙を追加するときも、いったん記録紙を取り出してからセットします。	76
	・ 一度にセットできる記録紙は、15枚までです。	—
	・ 後ろカバーをしっかりと閉めてから記録紙をセットします。	25 76
	・ それでも正しく給紙しないときは、記録紙給紙ローラーを清掃してください。	133
コピーできない	・ 原稿ガイドを原稿の幅に合わせて調節します。	60
	・ 原稿を正しい位置にセットします。	60
	・ 原稿挿入口に紙片などの異物がつまっていれば、取り除きます。	—
	・ 原稿送りローラーが正しく取り付けられているか確認してください。	126
印刷した画像が汚い 	・ 記録紙は、当社の推奨品をお使いください。	137
	・ インクリボンは、当社の純正品をお使いください。	137
	・ 記録ヘッドや記録紙給紙ローラーが汚れているか確認し、汚れをふき取ります。	133
	・ キャッチホンを利用しているときなど、ファクス受信中に電話がかかると、画像が乱れることがあります。	—
	・ 原稿や記録ヘッド、読み取り部（ガラス）が汚れているか確認し、汚れをふき取ります。	126 133
	・ 気温が低いときや本機の電源を入れた直後は、印刷がかすれたり、薄くなる場合があります。	—
記録紙に印刷されない	・ ファクス受信時は、原稿の向きが裏表逆になっていないか、相手の方に確認します。	—
	・ コピー時は、原稿が裏向きにセットされていることがあるため、正しくセットされているか確認します。	—

こまったときは


子機が使えない

動作しない 	・ 充電器に子機を戻して充電します。使いはじめや充電電池を交換したときは、10時間以上の充電が必要です。ディスプレイに何も表示されないときは、数分間子機を充電器に置いたままにしておく则表示されます。	27
	・ いっぱいに充電してもすぐに通話できなくなる場合は充電電池の寿命です。充電電池を交換してください。	135
	・ 充電電池のコネクターが正しく接続されているか確認します。	26
	・ 充電器の電源プラグが正しく接続されているか確認します。	27
	・ 親機の電源プラグや電話機コードが正しく接続されているか確認します。	21
	・ 親機や他の子機が使用中のときは、使用できません。	—
	・ 停電中は、子機を使用できません。	—
	・ 子機のディスプレイに「通話圏外」と表示されているときは、子機を親機に近づけて  を押してください。	—
	・ 親機との距離や設置場所などお使いの環境をお確かめください。	10
	・ それでも動作しないときは、子機の充電電池を取り付け直してください。	26

留守モードが正しく働かない

留守設定できない	・メモリーがいっぱいになっていないか確認し、以下の操作を行います。 ⇒ファクスの受信データを消去 ⇒ファクスの受信データの印刷 ⇒不要な録音の消去	74 77 55
	・SDカードを利用すると、保存できる容量を増やすことができます。	80
録音やファクス 受信ができない	・着信するまでの回数が長いとファクス受信できないことがあるため、留守時応答回数を現在の回数より少なくします。	59
	・相手の声が小さいときや、用件が短いときは、途中で途切れたり録音されないことがあります。	—
録音した応答 メッセージが 流れない	・応答メッセージを正しく録音します。	57
	・メモリーがなくなると自動的に固定メッセージに切り替わります。	—
	・おやすみモードに設定していないか確認します。	92
	・お声拝聴機能を使用する設定にします。	139
リモート操作 ができない	・留守設定にしていると外出先からリモート操作できません（在宅時応答回数、ファクス自動受信、ファクス優先のいずれかを設定しているときは、留守設定していなくてもリモート操作できます）。	—
	・暗証番号を登録していないと外出先からリモート操作できません。	—
留守設定を解除 してもボタンが 点滅している	・未再生の録音をすべて再生すると消灯します。	55

SDカードが使えない

SDカードを認識 しない 	・SDカードは表裏を確認したうえで、しっかりと奥まで差し込んでください。	82
	・SDカードは、当社で動作確認済みのSDカードをご使用ください。マルチメディアカードは使用できません。	80
	・パソコンでフォーマットしたSDカードは、本機で使用できないことがあります。使用できる形式でフォーマットされたSDカードを使用してください。	80
	・もう一度SDカードを抜き差ししてください。	—
	・それでも認識しないときは、SDカードや本機の読み込み部が故障している可能性があります。	—
	・SDカードの種類や保存されているデータによっては、読み込みの時間が3分以上かかることがあります。	—
SDカードに保存 できない	・SDカードのロックを解除してから、本機に取り付けてお使いください。	—
	・SDカードの容量がいっぱいになっているときは、本機やパソコンなどでデータを消去してください。	55 74
	・録音データ、受信ファクスデータは1200件を超えて保存することはできません。不要なデータは消去してください。	55 74

ナンバー・ディスプレイが使えない

相手の方の番号を表示しない	・ ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。局番なしの116番へお問い合わせください。	-
	・ NTTとの契約が済んで、工事が完了していないときは、局番なしの116番へお問い合わせください。	-
	・ 構内交換機やホームテレホンに接続していると表示できません。	-
	・ ナンバー・ディスプレイを使用する設定にしてください。	107
	・ ひかり電話などの光回線やIP電話を利用しているときは、各契約会社へお問い合わせください。	-
	・ ISDNのターミナルアダプター（TA）がナンバー・ディスプレイ対応でないと表示できません。対応しているときは、ターミナルアダプター（TA）側でナンバー・ディスプレイを使用する設定にしてください。	-
相手の名前を表示しない／着信音が変わらない	・ 相手の方の電話番号は市外局番から登録しないと鳴り分け機能や名前を表示できません。市外局番から入力してください。	-
	・ 「誰からコール」と鳴り分け機能は同時に利用できません。鳴り分け機能をご利用になるときは、「誰からコール」を使用しない設定にしてください。	109
こちら側の電話番号が相手側の電話機に表示されない	・ 電話番号が「通常非通知」の契約の場合は、最初に「186」を付けてダイヤルしてください。	-
	・ 相手側がナンバー・ディスプレイを契約していないと表示されません。契約しているときは、電話会社へお問い合わせください。	-

ADSLやひかり電話をご契約の方へ

ひかり電話などの光回線を利用しているとき	・ ナンバー・ディスプレイやダイヤルインサービス（マイナンバー／追加番号）が動作しないときは、ご契約の内容を確認してください。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。	-
IP電話／ADSLを利用しているとき	・ 以下の状態のときは、スプリッタを含むADSL機器を取り外して、改善されるか確認してください。また、回線からスプリッタまでの配線を短くして、改善されるか確認してください。 ⇒ ファクスの送受信ができない ⇒ 電話やファクスを使っていないのに [外線使用中] などの表示が出る ⇒ ナンバー・ディスプレイが動作しない ⇒ 電話の音が聞こえにくい・雑音が入る ⇒ 受話器を取ると「キーン」という音が出る 改善されるときは、ADSL業者にご相談ください。 改善されないときは、シャープお客様ご相談窓口にご相談ください。	- 156
	ISDNを利用しているとき	・ 以下の状態のときは、ターミナルアダプターの送話・受話音量を調節してください。 ⇒ 受話器を取ると「キーン」という音が出る ⇒ 音がワンワン響く・大きすぎる ⇒ ナンバー・ディスプレイが動作しない ⇒ 電話の音が聞こえにくい・雑音が入る ⇒ 受話器を取ると「キーン」という音が出る 改善されないときは、ターミナルアダプターのメーカーへお問い合わせください。
・ ナンバー・ディスプレイを利用するときは、ターミナルアダプターの設定が必要です。ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。		-

こまったときは

その他 こまったときは

正しく操作しても動かない／動作がおかしい	・ 電話機コードや電源プラグを正しく接続します。	21
	・ 電源を入れ直したり、「強制リセット」すると正常に動作することがあります。	136
	・ それでも改善されないときは、シャープお客様ご相談窓口にご相談ください。	156
登録していた日時が自動的に変更される	・ 親機の日時登録を変更すると、自動的に子機の日時登録が上書きされます。親機の日時登録を転送したくないときは、時計バックアップを使用しない設定にしてください。	141
おしゃべり電話帳、誰からコール、誰あてコール、どこからコールの音声聞き取りにくい	・ 親機のスピーカー音量を調整してください。	29
	・ アクセントを変更してください。	45 110
	・ 音声合成システムで作った音なので、人の声に比べると聞き取りにくいことがあります。	—
タッチパネルが反応しない／タッチした項目とは違う項目が反応する	・ タッチパネル調整を行ってください。	125
通話中などに突然ファクスに切り替わる	・ 声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。何度も続けて起こるときは、おまかせ受信をしない設定にします。	140
インクリボンがなくなった	・ 必ず当社の純正品をお使いください。 ○ UX-NR8G (33m × 1本) ○ UX-NR8GW (33m × 2本) ギアなしタイプはお使いになれません。	—
各種サービスを受けられない	・ ひかり電話などの光回線やIP電話では、受けられないサービスがあります。各契約会社にお問い合わせください。	—
ディスプレイに商品案内が表示され音楽が流れる	・ 店頭などで商品案内に使用される「デモモード」が起動しています。デモ起動をしない設定にします。	141
ディスプレイに何も表示されない	・ 省電力モードになっていませんか？待受画面によって異なりますが、初期画面では約1分間、何も操作をしないと、ディスプレイのバックライトが消灯します。さらに約3分間、何も操作をしないと、節電のためにディスプレイの表示が消えます。いずれかのボタンを押すと、再びディスプレイが表示されます。	—
CS デジタル放送の映像にノイズや雑音が入る	・ CSデジタル放送の受信機器から本機を遠ざけてください。	10
	・ シールド性の高い CS・BS 対応の分波器、分配器、混合器、接続ケーブルをご使用ください。	10

停電になったときは

電話機	・ 親機で電話を受けたり、かけたりすることはできません。
	・ 子機を使用することはできません。
	・ 各種サービスは働きません。
	・ ナンバー・ディスプレイの着信記録は消えません。
	・ 通話中に停電したときは、通話が切れてしまいます。
留守番	・ 留守番電話動作中に停電したときは、電話が切れて録音もされません。
	・ 外出先からリモート操作中に停電したときは、電話が切れて動作も止まります。
	・ 録音内容は消えません。
ファクス	・ ファクスを送ることも受けることもできません。
	・ 送信や受信をしているときに停電になると、通信が切れてしまいます。送信のときは、復旧したあと原稿を取り出して再送信してください。受信のときは、相手の方にもう一度再送信を依頼してください。
	・ メモリー受信したデータは、停電になっても消えません。
	・ 紙が詰まった場合は、用紙を取り除いてから再度操作してください(☞ 127ページ)。
コピー	・ コピーはできません。復旧後あらためてコピーしてください。
登録した内容	・ 電話帳などに登録されている内容は消えません。
	・ 日付・時刻の設定は消えてしまいます。子機の日付・時刻が設定されていて、親機の電波が届く範囲にある場合に、親機の時計バックアップを使用する設定にしているときは、子機から親機へ自動的に日付・時刻が転送されます(☞ 141ページ)。転送されなかったときは、あらためて手動で設定し直してください(☞ 30ページ)。

タッチに正しく反応しないときは

タッチに反応しない、タッチした項目とは違う項目が選択される、手書きファクスの線がずれるなど、タッチパネルが正常に反応しないときは、以下の操作で調整します。

1 **メニュー** を押し、**(#)** を4回押す

2 **(7)** を押す

3 表示される十字マークの中心をタッチする

中央のボタンの中心を
タッチしてください

+

4 画面表示に従って、左上、左下、右下、右上でも、それぞれ同じようにタッチする

+

左上のボタンの中心を
タッチしてください

・ 5か所すべての場所を正しくタッチすると、パネルが正常に反応するように調整されます。

5 [完了しました] と表示されたら

停止 を押し

・ 以上の操作を行ってもタッチパネルが正常に反応しないときは、十字マークの中心を正しくタッチできていなかった可能性があります。手順**1**からやり直してください。

こまったときは

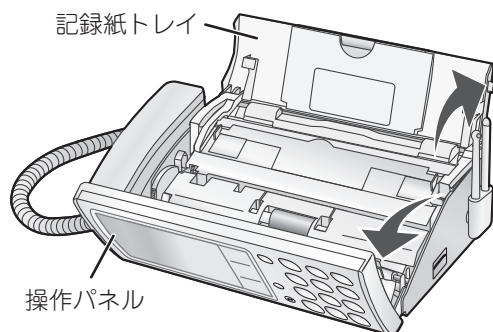
記録紙に白や黒の線が入るときは

コピーやファクス送信したときに、記録紙に白や黒の線が入るときは、原稿読み取り部のガラスが汚れていることがあります。こんなときは、読み取り部を清掃してください。

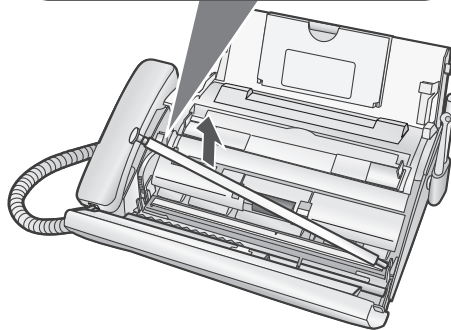
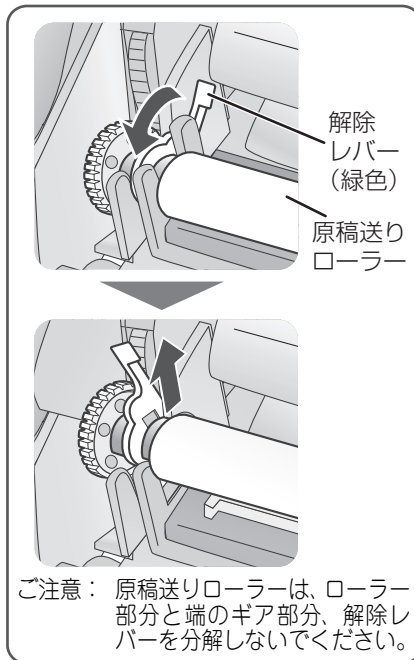
また、読み取り部を清掃しても線が消えないときは、記録ヘッド手前のリボンガイド部を清掃してください（☞133ページ）。

読み取り部を清掃する

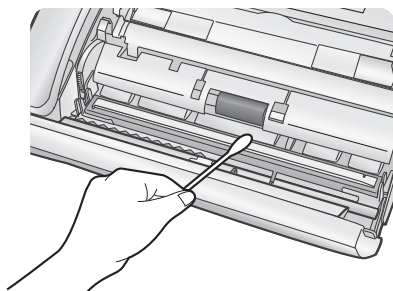
1 記録紙トレイを後ろに、操作パネルを前に起こす



2 原稿送りローラーの左側の解除レバーを前に倒し、原稿送りローラーを引き上げる



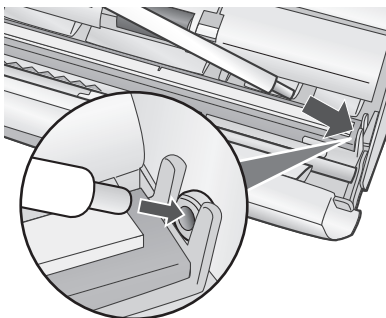
3 原稿送りローラー下部のガラス面を綿棒や乾いた布でふく



ガラス面の汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。そのあと、もう一度乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。

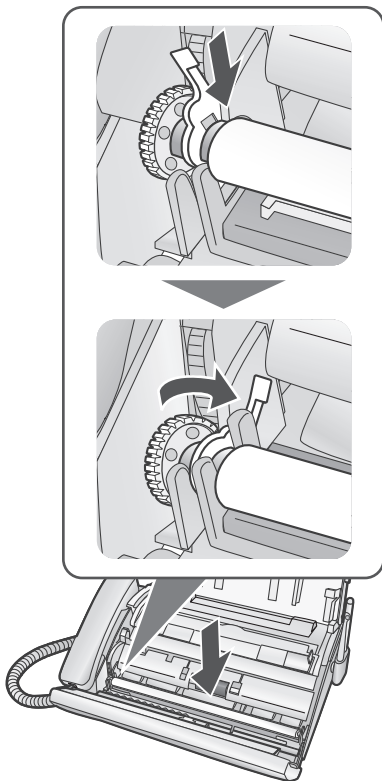
次ページへ

4 原稿送りローラーの右端を穴に差し込む

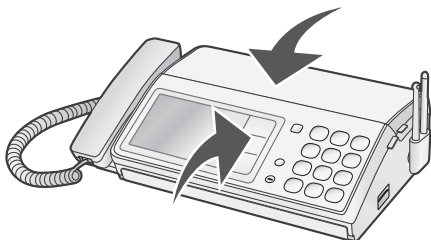


原稿送りローラーは必ず正しく取り付けてください。取り付けが不完全なまま操作パネルを閉めると、親機が破損する原因になることがあります。また、取り付けが不完全だったり、はずしたままお使いになると、コピーやファクス送信ができません。

5 原稿送りローラーの左端を戻し、解除レバーを後ろに戻す




6 操作パネル、記録紙トレイの順に閉める

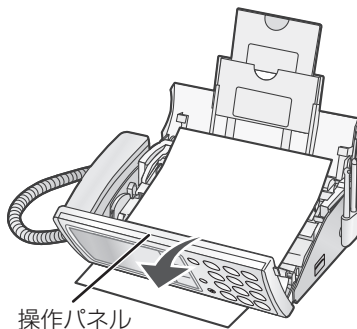


原稿や記録紙が つまったときは

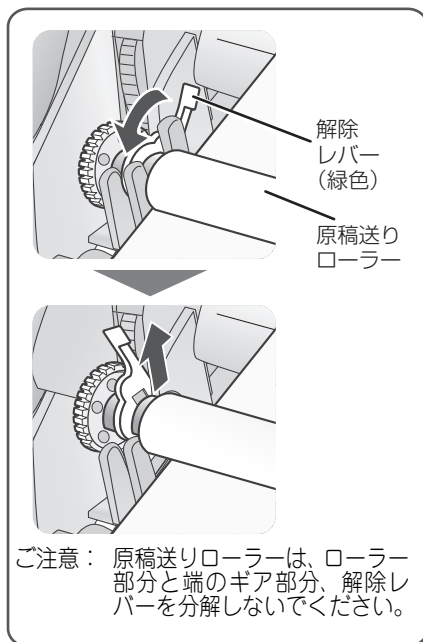
原稿がつまったときは

原稿がつまったときは、まず  を押したあと [原稿の排出] をタッチして原稿を排出してください。排出されないときは、次の手順で取り除いてください。記録紙をセットしているときは、記録紙を取り出してから操作します。

1 操作パネルを前に起こす



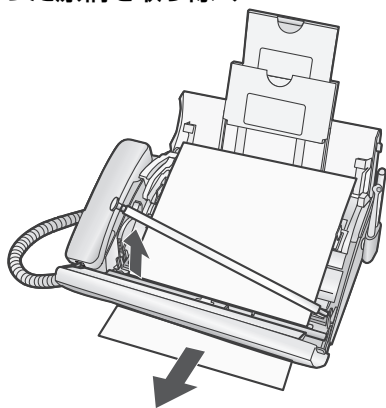
2 原稿送りローラーの左側の解除レバーを前に倒し、原稿送りローラーを引き上げる



こま
った
とき
は

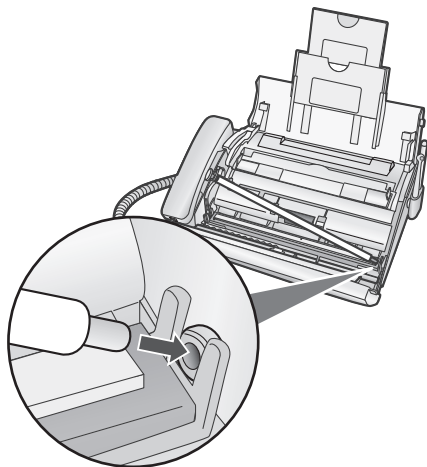
次ページへ

3 つまった原稿を取り除く



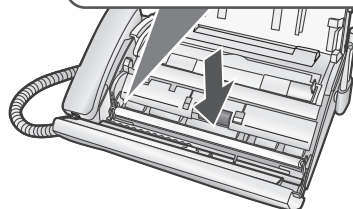
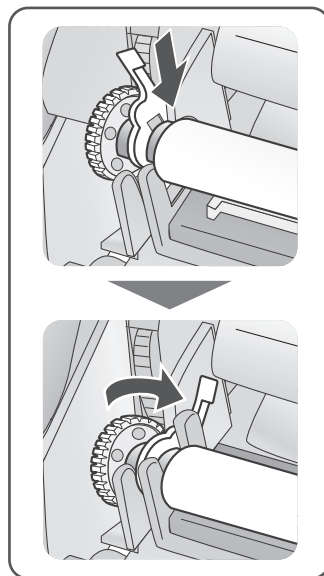
- ・ つまった原稿は途中で破れないように注意して取り除いてください。無理に引っ張ると、破れることがあります。また、故障の原因になります。
- ・ 万一破れてしまったときは、本体の中に破れた紙が残らないように注意深く取り除いてください。

4 原稿送りローラーの右端を穴に差し込む

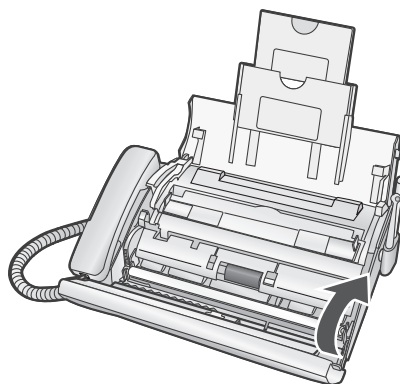


原稿送りローラーは必ず正しく取り付けてください。取り付けが不完全なまま操作パネルを閉めると、親機が破損する原因になることがあります。また、取り付けが不完全だったり、はずしたままお使いになると、コピーやファクス送信ができません。

5 原稿送りローラーの左端を戻し、解除レバーを後ろに戻す



6 操作パネルを閉める



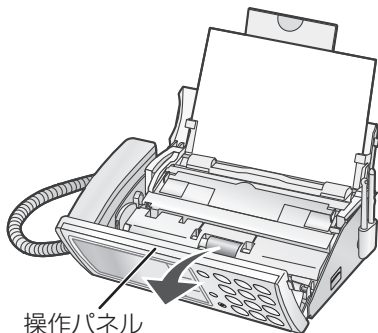
- ・ 原稿や記録紙をセットしてください (P.60、76ページ)。

記録紙が詰まったときは

記録紙が詰まったときは次の手順で取り除いてください。

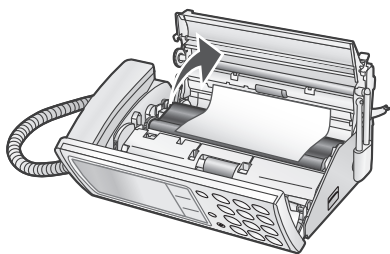
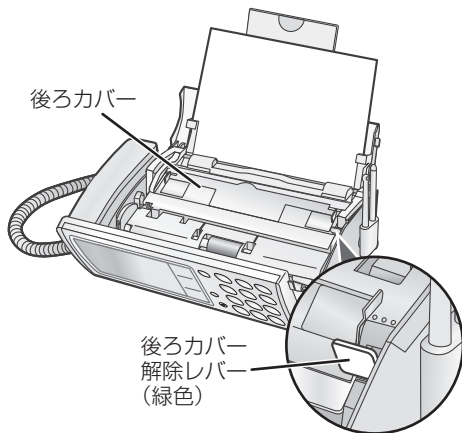
印刷の途中でインクリボンがなくなったときは、記録紙が途中で止まる（つまる）ことがあります。そのときは記録紙を取り出したあと、インクリボン交換してください（☞134ページ）。

1 操作パネルを起こす

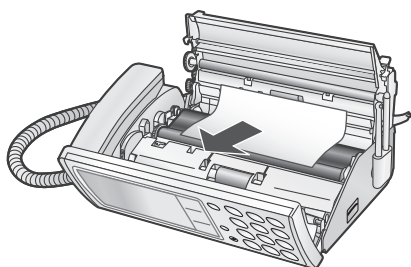


- ・記録紙がセットされているときは、残りの記録紙をいったん取り出してから操作します。

2 後ろカバー解除レバーを押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす

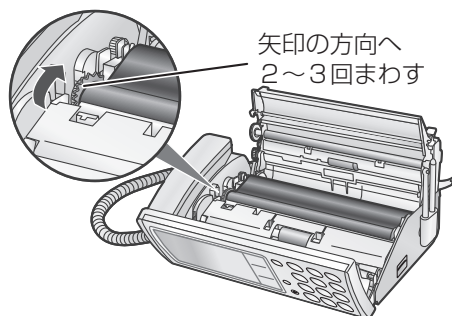


3 つまった記録紙を取り除く

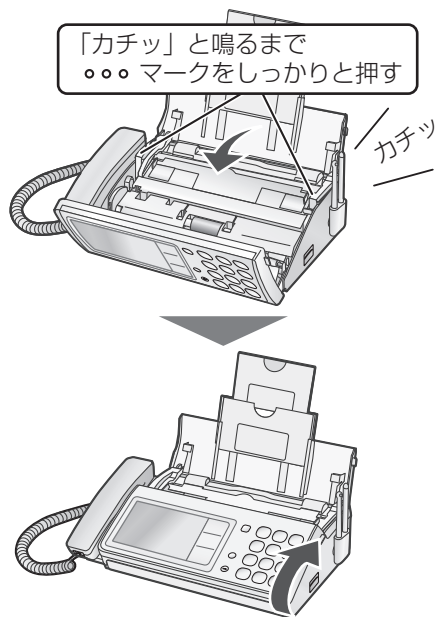


- ・操作パネルや後ろカバーを閉じたまま、つまった記録紙を引き抜かないでください。故障の原因になることがあります。
- ・記録紙が破れたときは、紙片が親機の中に残らないよう、完全に取り除いてください。

4 インクリボンのたるみを取る



5 後ろカバー、操作パネルの順に閉める





- ・記録紙を再セットしてください（☞76ページ）。

こまったときは

エラー表示／エラー音について

- ・ エラーメッセージに「操作ガイド」の表示がある場合は、**？操作ガイド** をタッチして対応を表示できます。
- ・ お知らせやエラーメッセージが1行を超えるときは、1行ずつ交互に表示されます。

お知らせ／エラー表示

	表示／エラー音	対応
あ 行	インクリボン切れのため ファクスを中断しました 操作ガイド	<ul style="list-style-type: none"> ・ インクリボンを交換します (☎134ページ)。 ・ 緑色のギアをまわして、インクリボンのたるみをとります (☎25ページ)。
	インクリボンがありません 型番は UX-NR8G/GW 操作ガイド	
	後ろカバーが開いています 閉めてください 操作ガイド	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後ろカバーを閉め直します (☎25ページ)。
	応答がありません 操作ガイド	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「親機でお話してからファクスを送る」の方法で送信してください (☎60ページ)。
か 行	外線自動応答中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 留守モードなどで応答メッセージが流れて自動応答しています。
	外線使用中 また、「ツーツー」と聞こえる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子機を使用中です。子機の使用が終わるまでお待ちください。
	記録紙切れのため ファクスを中断しました 操作ガイド	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記録紙がないときはセットします。セットしているときは、正しくセットされているかを確認してください (☎76ページ)。
	記録紙がつまりました 取り除いてください 操作ガイド	<ul style="list-style-type: none"> ・ つまった記録紙を取り除きます (☎129ページ)。 ・ 記録紙が正しくセットされているかを確認してください (☎76ページ)。
	記録紙づまりのため ファクスを中断しました 操作ガイド	
	原稿がつまっています 取り除いてください 操作ガイド	<ul style="list-style-type: none"> ・  を押したあと [原稿の排出] をタッチすると原稿が自動的に排出されます。 ・ それでも原稿がつまっているときは、操作パネルを開けて原稿を取り出します (☎127ページ)。
	原稿を取り除いてください	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファクスそのまま転送 (☎73ページ) や手書きファクス (☎64ページ) でファクス送信操作をしたときに、紙の原稿がセットされています。  を押したあと [原稿の排出] をタッチして原稿を取り除いてください。
	子機を確認ください	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子機が使用できない状態 (電池切れ／電波が届かないなど) になっていないか確認してください。
	子機使用中 また、「ツーツー」と聞こえる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子機を使用中です。子機の使用が終わるまでお待ちください。
	子機を増設します	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親機が子機増設登録モードになっています。別売の増設子機を登録する場合は、増設子機に付属している「子機増設登録操作説明書」をご覧ください。 ・ 子機増設登録操作中は、外線着信を含む他の操作を行うことはできません。子機を増設しないときはそのまま、この表示が消えるまでお待ちください (約30秒で子機増設モードは解除されます)。

	表示／エラー音	対応
さ 行	受信ファクスがあります [ファクスする]を押す	・メモリー受信したデータを印刷してください(☎77ページ)。 ・「見てからプリント」で確認して、不要なら消去してください(☎71ページ)。
	SDカードが入っていません	・SDカードが入っていないか、正しく取り付けられていません(☎82ページ)。
	SDカードを読み込みできません	・SDカード内に読み込むデータがありません。
	SDカードが書き込み禁止になっています	・SDカードがロックされています(☎80ページ)。
	設定時刻になりました [メモを見る]を押す	・手書きメモに設定したアラーム時刻になりました(☎94ページ)。 [メモを見る]をタッチすると、設定した手書きメモが表示されます。 ・アラーム音は、ディスプレイのいずれかをタッチするか、約1分後に止まります。
た 行	着信がありました	・留守中などにかかってきた電話やファクス、ドアホン着信などがあります。[着信記録]をタッチして確認してください(☎111ページ)。
	通信エラー(1～15) 操作ガイド また、「通信エラーがありました」と聞こえる	・相手の方に確認のうえ、もう一度送信するか、相手の方に送信してもらいます(1～15の番号は、当社のサービスマンが通信状況などを確認するためのものです。頻繁に起こるときは、当社のご相談窓口までご連絡ください)。
は 行	ファクス受信メモリー一杯です 不要なファクスを消去 操作ガイド	・メモリー受信した内容を消去または印刷します(☎74、77ページ)。 ・不要な録音を消去します(☎55ページ)。
	プリンタが高温です	・長時間連続して印刷やコピーをしていると、記録部の過熱保護機能が働いて動作しなくなることがあります。しばらくお待ちください。
	プリンタが高温のため ファクスを中断しました	
ま 行	未再生録音があります [留守]を押す	・未再生の留守録音があります。再生してください(☎55ページ)。
	メモリーフルです	・SDカードの容量がいっぱいです。
ら 行	録音があります [用件を再生する]を押す	・未再生の留守録音やその他の録音があります。再生または消去してください(☎55ページ)。
	録音があります [用件を聞く]を押す	
	録音メモリーが一杯です 不要な録音を消去 操作ガイド	

こま
った
とき
は

子機を使用しているとき

表示／エラー音	対応
親機検索中	<ul style="list-style-type: none"> ・親機の電源プラグを接続してください (☎21ページ)。 ・他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすいところでは使用しないでください (☎10ページ)。 ・親機からの電波が届く範囲でご使用ください。 ・子機の充電池を取り付け直してください。
外線使用中	<ul style="list-style-type: none"> ・親機が使用中です。親機の使用が終わるまでお待ちください。
子機で通話中に「ピーピー」と2回鳴ってすぐに切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・雑音の少ないところでご使用ください。 ・PHSなどの近くでお使いのときは、それらの機器よりできるだけ離してお使いください。
新着あり	<ul style="list-style-type: none"> ・未再生の録音があります。親機または子機を操作して、再生してください。
自動応答中	<ul style="list-style-type: none"> ・留守モードなどで、応答メッセージが流れて自動応答しています。
受信FAXあり	<ul style="list-style-type: none"> ・メモリ受信したデータを印刷してください (☎77ページ)。
通話圏外	<ul style="list-style-type: none"> ・親機の電源プラグを接続してください (☎21ページ)。 ・他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすいところでは使用しないでください (☎10ページ)。 ・親機からの電波が届く範囲でご使用ください。 ・☎を押すと表示が消えて使えるようになることがあります。
「ピーピー」	<ul style="list-style-type: none"> ・親機や増設子機が使用中です。 ・親機の電源プラグを接続してください (☎21ページ)。 ・他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすいところでは使用しないでください (☎10ページ)。 ・親機からの電波が届く範囲でご使用ください。
「ピピピピ」	<ul style="list-style-type: none"> ・名前の文字数や日時登録の設定などが登録範囲を超えています。
「ピピッ……ピピッ……」	<ul style="list-style-type: none"> ・充電器に子機を戻して充電してください。約1分後に電話は切れますので、通話を止めて充電器に戻してください。 ・長時間充電しても、すぐに容量がなくなるときは、新しい充電池と交換してください (☎137ページ)。

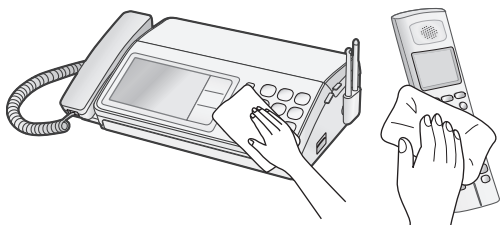
お手入れのしかた

誤って操作しないように、清掃の前にキーロックを設定してください(親機 ☎99ページ/子機 ☎100ページ)

親機や子機を清掃する

お手入れには、乾いた柔らかい布(眼鏡ふきなど)をお使いください。

汚れがひどいときは、水にひたしてよくしぼった布で清掃してください。そのあと、水分が残らないように、乾いた布でからぶきしてください。



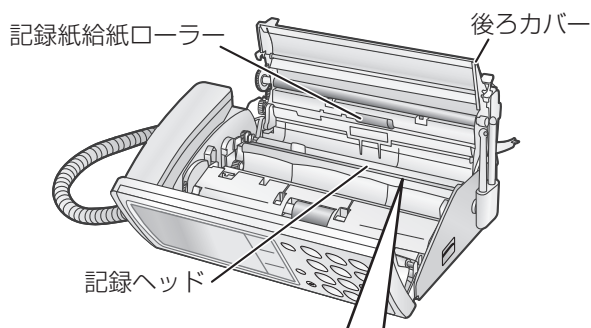
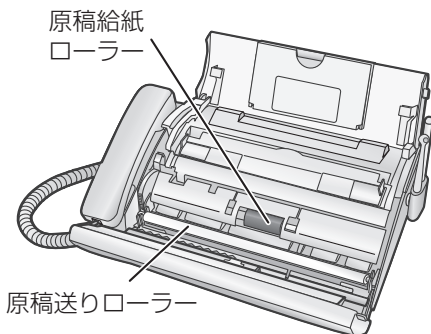
液晶ディスプレイ(タッチパネル)を清掃する

液晶ディスプレイ(タッチパネル)に指紋などが付いたときは、乾いた柔らかい布(眼鏡ふきなど)で清掃してください。傷が付くことがありますので、お手入れに目の粗い布は使用しないでください。



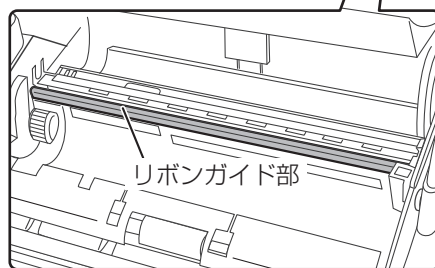
記録ヘッドやローラー、リボンガイド部を清掃する

原稿や記録紙に汚れが付くときは、親機内部の記録ヘッドやローラー、リボンガイド部を乾いた柔らかい布で清掃してください。ローラーの部分はまわしながらふいてください。



⚠ 注意

お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて(記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから)行ってください。感電やけが(やけど)の原因になることがあります。



後ろカバーの開けかた ☎ 25 ページ手順 1 ~ 3

■ 汚れが落ちないときは

- ・コピーして、まだ汚れているときは、もう一度清掃し直してください。
- ・コピーが正常で、受信ファクスの汚れが消えないときは、相手側の読み取りが悪い場合があります。

— <お知らせ> —

- ・アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因になります。
- ・紙粉の付着が多く、記録紙が正しく給紙しないときや、汚れのひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。ただし記録ヘッドは水ぶきしないでください。

こまったときは

使用済みのインクリボンを交換する

ディスプレイに「インクリボンがありません 型番はUX-NR8G/GW」と表示されたときは、インクリボンを使い切っています。新しいインクリボンに交換してください。

記録紙がセットされているときは、いったんすべて取り出してください。

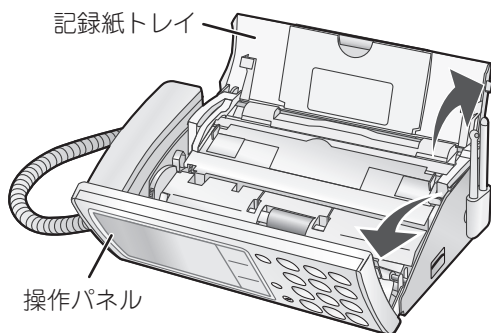
インクリボン(ギア付きタイプ)は、必ず当社の純正品をお使いください(☎ 137ページ)。

- UX-NR8G (33m×1本)
- UX-NR8GW (33m×2本)

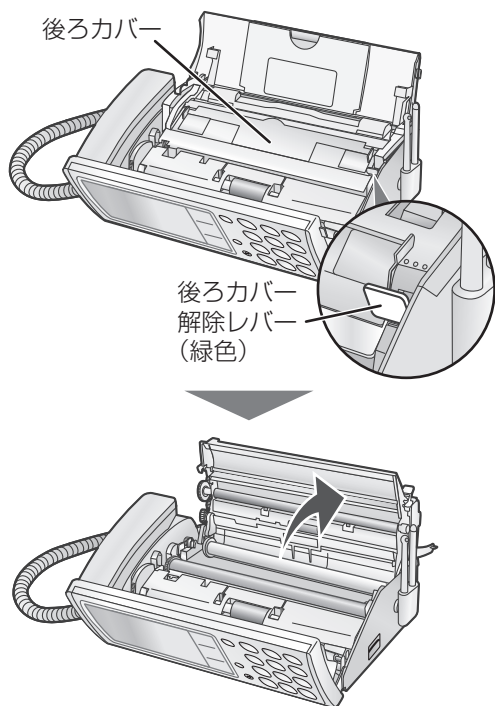
33mでA4原稿を最大で約105枚(※)印刷することができます(ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください)。

※1件5枚の受信ファクスをくり返し印刷した場合

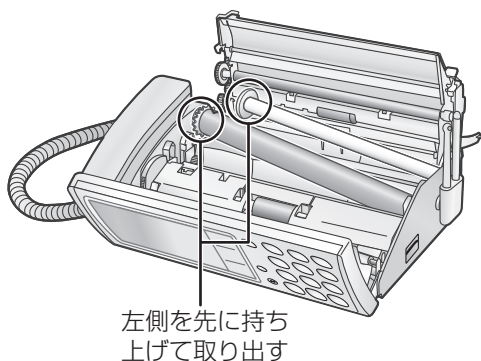
1 記録紙トレイを後ろに、操作パネルを前に起こす



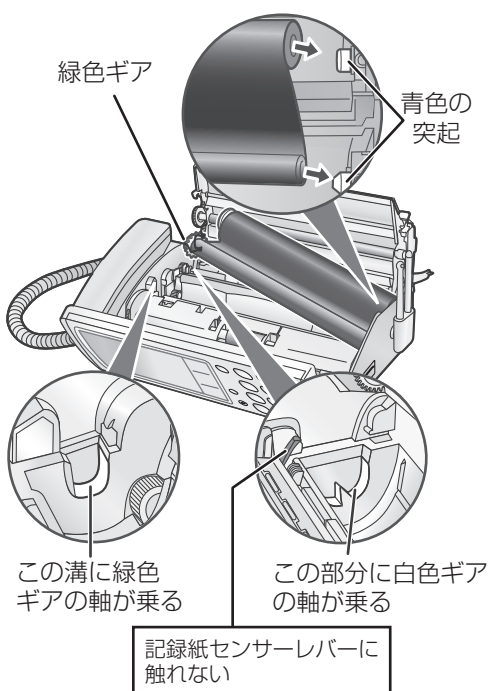
2 後ろカバー解除レバー(緑色)を押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす



3 使用済みのインクリボンを取り出す

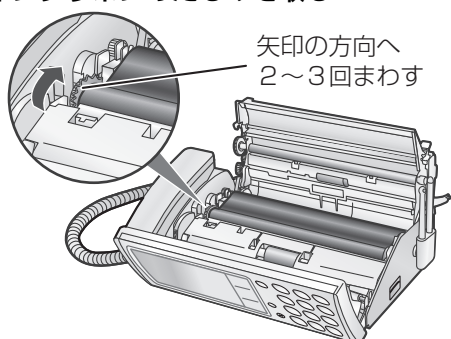


4 新しいインクリボン、青色の突起に差し込んでから取り付ける

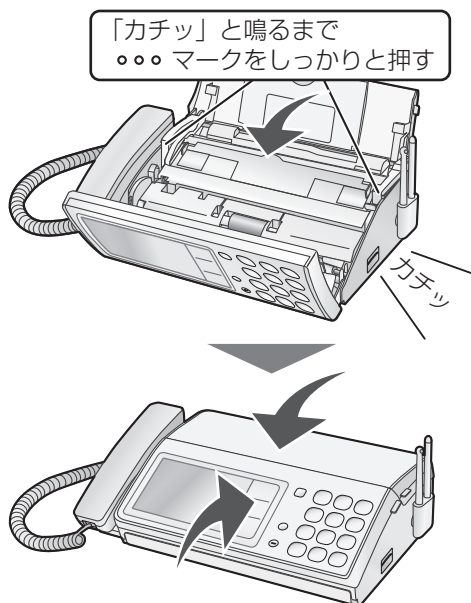


次ページへ

5 インクリボンのたるみを取る



6 後ろカバーを閉め、操作パネル、記録紙トレイの順に閉める



—お知らせ—

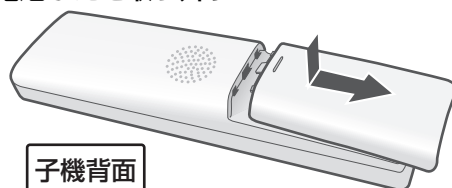
- ・ 使用済みのインクリボンには、コピーや受信ファクスの内容が白く残っています。内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切り刻んでから、捨ててください。
- ・ 使用済みのインクリボンは「燃えないゴミ」として捨ててください（地域によっては「燃えるゴミ」として取り扱われている場合もあります）。
 - ・ インクリボンのフィルムは、ポリエチレン、カーボン、パラフィンなどでできています。
 - ・ インクリボンの芯やギアは、ポリスチレン、ポリアセタール、金属などでできています。
- ・ 使用済みのインクリボンのギアだけを取り外して再利用することはできません。新しいインクリボン（ギア付きタイプ）をお使いください。

充電電池を交換する

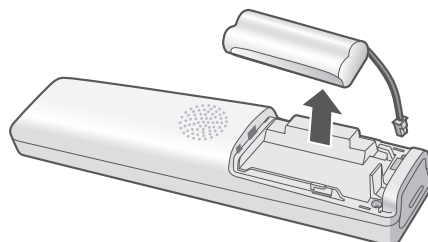
充電電池は2年程度で交換してください
(型番は M-003)

子機の充電電池は消耗品です。使用頻度にもよりますが、2年程度で充電電池の容量が減少していきます。長時間充電してもすぐに充電電池の容量がなくなるときには、新しい別売の充電電池に交換してください。充電電池は必ず137ページに記載されているものをお使いください。

1 充電電池ふたを取り外す



2 充電電池を取り外す



3 新しい充電電池を入れる

- ・ 「STEP1 充電電池をセットする」(P.26ページ)を参考に、新しい充電電池を入れて10時間以上充電してください。

■ 充電式電池のリサイクルご協力をお願い

充電式電池はニッケル水素電池を使用しています。この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。



Ni-MH

ニッケル水素電池の
リサイクルマークです。

- ・ ご使用済みの電池は、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取り扱いのお店へご持参ください。
- ・ リサイクル時のときは、次のことにご注意ください。
 - (+) 端子と (-) 端子にテープを貼る
 - 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさない
 - 分解しない

しまったときは

故障かな？と思ったときは（修理依頼される前に）

- ・ディスプレイ表示が化けている（意味不明の文字列や画像が表示されている）。
- ・ボタンがまったく効かない。 ・電話帳リストなどを印刷するとデータが乱れている。
- ・コピーなど、印刷ができない状態が続く。 ・その他、正しく動作しない。

上記のような症状の多くは、一般に、マイコン（IC）を使用している機器が、大きな外来ノイズにより誤動作することで発生します。修理やアフターサービスをお申し付けになる前に、下記の操作をお試してください。また、登録・設定した内容により、お客様の意図しない機能が働いている場合、工場出荷時の状態に戻すことで、症状が改善することがあります（電話帳以外初期化、電話帳消去、登録初期化 138ページ）。

子機のボタンが効かないとき

■ 子機の充電機のコネクターを抜き差しする

子機の充電機のコネクターを抜いて、もう一度接続してみてください（126ページ）。



- ・子機の日付・時刻の設定は消えます。親機が電波の届く範囲にあり、日付・時刻が設定されていれば、自動的に日付・時刻が転送されます（時計バックアップの設定が使用する設定のとき 141ページ）。転送されなかったときは、あらためて手動で設定してください。


その他の場合

タッチパネルが正しく反応しないときは、125ページをご覧ください。

■ 親機を再起動する

ボタンが効かないといった状態になったときは、親機を再起動してください。

- ① 停止  を約15秒以上押したままにする
- ② ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示されたら 停止  から指を離す

- ・自動的に再起動が行われます。
- ・再起動しても、登録した内容は消えません。
- ・ 停止  を約15秒以上押したままにしても再起動しない場合は、電源を入れ直してください（125ページ）。

再起動しても症状が改善されないときは、下記をご覧ください。

■ 電源を入れ直してみる



親機を再起動しても改善されないときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてもう一度差し込んでみてください。

- ・親機の日付・時刻の設定は消えます。子機が電波の届く範囲にあり、日付・時刻が設定されていれば、自動的に日付・時刻が転送されます（時計バックアップの設定が使用する設定のとき 141ページ）。転送されなかったときは、あらためて手動で設定してください。

左の操作をしても症状が改善されないときは次の操作（強制リセット）を行ってみてください。**【ただし、強制リセットを行った場合、電話帳に登録した内容など、すべてのデータが消えて工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。】**

- ・この操作を行う前に、必要な録音データやファクスデータ、電話帳のデータなどをSDカードに保存しておくことをおすすめします（85ページ）。

■ 親機を強制リセットする

- ① 電源プラグを電源コンセントから抜く
 - ② 7 と 停止  を同時に押したまま、電源プラグを電源コンセントに差し込む
 - ③ ディスプレイに「メモリークリア中」と表示されたら、7 と 停止  から指を離す
「メモリークリア中」と表示中は、電源プラグを電源コンセントから抜かないでください。
- ・強制リセットをすると、ご購入時にあらかじめ登録されていた電話帳2件分が復活します。
 - ・電源を入れ直したり、強制リセットしたときは日付・時刻の設定をやり直してください（21ページ）。
 - ・強制リセットをすると、日付・時刻の設定のあと、自動的に回線種別を設定します。電話などをかけられるときは、回線種別の設定（約20秒）が終わってからにしてください。
 - ・強制リセットをしても、タッチパネルの調整は工場出荷時の状態に戻りません。タッチパネルの反応がおかしいときは、調整してください（125ページ）。

強制リセットを行っても症状の改善が見られない場合、または症状が再三発生する場合は、シャープお客様ご相談窓口（156ページ）へお申し付けください。

別売品／消耗品

別売品／消耗品として、次のものを用意しています。

このデジタルコードレスファクシミリを長い間安心してお使いいただくためにも、当社の純正品や推奨品をお使いください。純正品以外のインクリボン、推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用されると印刷がかすれたり、薄くなることがあります。なお、価格などは予告なく変更することがありますので、ご了承ください。別売品／消耗品のご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。

品名	形名	サイズ	数量	希望小売価格
ファクシミリ用 普通紙	PP110MA4	A4サイズ	250枚	630円（税抜価格600円）

品名	形名	サイズ	数量	希望小売価格
インクリボン (ギア付きタイプ)	UX-NR8G	A4幅×33m	1本	1,312円（税抜価格1,250円）
	UX-NR8GW	A4幅×33m	2本1組	2,415円（税抜価格2,300円）

ギアなしタイプのインクリボンは、使用することができません。

品名	形名	部品コード	流通コード	希望小売価格
子機用充電池※ (ニッケル水素電池)	M-003	UBATM0030AFZZ	142 932 0086	1,680円 (税抜価格1,600円)

※シャープエンジニアリング（株）扱い

品名	形名	希望小売価格
増設子機（☎88ページ）	JD-KS100	16,800円（税抜価格16,000円）
	JD-KS200	19,950円（税抜価格19,000円）

・増設可能な子機については、144ページをご覧ください。

品名	形名	希望小売価格
ターミナルボックス（ドアホン接続用）	DZ-T40	16,800円（税抜価格16,000円）
ドアホン	DZ-H30-T（ブラウン）	4,200円（税抜価格4,000円）

種類	部品コード	流通コード	希望小売価格
延長コード（モジュラープラグ付き）			
5m（2芯）（白）	QCNWG0121AFSA	142 512 0331	535円（税抜価格510円）
10m（2芯）（白）	QCNWG0122AFSA	142 512 0332	819円（税抜価格780円）

—<お知らせ>—

- ・希望小売価格は2013年4月現在のものです。
- ・小さい原稿を送信するときに使用するキャリアシートはご使用になれません。

登録や設定・電話帳の内容を初期化する

登録・設定した内容を工場出荷時に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。ただし、SDカードのデータは消去されません。

登録データ初期化をすると登録・設定した内容の他に、留守録などの録音、メモリー受信データがすべて工場出荷時の内容に戻ります（消去されます）。

本機を廃棄、譲渡などするときは

お客様の個人情報流出による被害を防ぐために、親機の「電話帳以外初期化」と「電話帳消去」、子機の「登録初期化」の操作を行って、本機に記録したデータを消去することをおすすめします。親機のデータは、「強制リセット」(P.136ページ)で一括して消去することもできます。また、ご使用のSDカードを廃棄するときは、データを完全に消去して、それぞれの地域のルールに従って分別廃棄してください。

■ 親機の登録や設定の内容を工場出荷時に戻す（電話帳以外初期化）

- ① を押し、 を4回押す
- ② [電話帳以外初期化] をタッチする
- ③ [する] をタッチする
- ④ を押す

・電話帳の内容、誰あてコール設定、日付・時刻の設定を除いて、工場出荷時の設定に戻ります。

■ 親機の電話帳に登録した内容をすべて消去する（電話帳消去）

電話帳がすべて消えます。誰あてコール設定は工場出荷時の設定に戻ります。操作の前に、電話帳のデータをSDカードに保存しておくことをおすすめします (P.85ページ)。

- ① を押し
- ② [各種全消去] → [電話帳] の順にタッチする
- ③ [消去する] をタッチする

■ 子機の登録や設定の内容をすべて工場出荷時に戻す（登録初期化）

- ① を押し、 で [システム設定] を選ぶ
- ② を押し、 で [登録初期化] を選ぶ
- ③ を押し、 で [全ての登録] を選ぶ
- ④ を2回押す

・子機の登録内容がすべて工場出荷時の設定に戻ります。

■ 子機の登録や設定の内容を工場出荷時に戻す（電話帳以外）

- ① を押し、 で [システム設定] を選ぶ
- ② を押し、 で [登録初期化] を選ぶ
- ③ を押し、 で [電話帳以外] を選ぶ
- ④ を2回押す

■ 子機の電話帳に登録した内容をすべて消去するには (P.44ページ)

— <お知らせ> —



- ・親機登録データ初期化をしたあと自動的に回線種別の設定を行います。電話などをかけられるときは、回線種別の設定（約20秒）が終わってからかけてください。
- ・本機でSDカードのデータを完全に消去することはできません。パソコンなどを利用してデータを完全に消去するか、SDカードを物理的に破壊してデータの読み出しができないようにすることをおすすめします。

特別設定について



使用状況に応じて、以下の項目を親機で設定できます。
 「選択項目」に太字で記載されている項目は、初期設定（工場出荷時の設定）です。

特別設定メニューは、**メニュー** を押したあと、**(#)** を4回押して呼び出します。

設定項目	設定の内容	選択項目
[留守番電話関連の設定]		
[応答メッセージ待ち時間]	留守番電話などの応答メッセージが流れるまでの時間を設定できます。	[1 秒] [2 秒] [4 秒] [8 秒]
[発信音待ち時間]	応答メッセージが終わってから、「ピー」という録音開始音が流れるまでの時間を設定できます。	[1 秒] [2 秒] [4 秒] [8 秒]
[お声拝聴]	留守番電話設定中の応答メッセージと、相手の方の録音中の声をスピーカーから出力する機能の設定ができます。	[あり] [なし]
[留守録音時間]	留守録の録音時間を設定できます。	[30 秒] [1 分] [2 分]
[戻って録音時間]	99ページをご覧ください。	[1 分] [3 分] [15 分]
[ファクス関連の設定]		
[ファクス受信方法]		
[見てからプリント]	受信した内容を親機のメモリーまたはSDカードに記録し、印刷する前にディスプレイで確認することができます。	[見てから プリント]
[メモリー受信]	受信した内容を親機のメモリーまたはSDカードに記録してから、自動的に印刷します。 ・記録紙やインクリボンがなくなったとき、受信データは親機のメモリーまたはSDカードに保存されます。	[メモリー受信] [記録紙受信]
[記録紙受信]	受信した内容を、直接記録紙に印刷します。 ・記録紙やインクリボンがなくなったときは受信できません。 ・受信メモリーが残り少ない場合など、メモリー受信できないときに設定します。ただし2枚に分かれて印刷されることがあります。	
[受信モード]		
[ファクス優先]	いったん着信したあと、電話かファクスかを本機が自動的に判断する機能です。ファクスなら着信音を鳴らさずに受信し、電話なら着信音を鳴らします。 自動で着信したときから、相手の方に通話料金がかかります。設定するときは、4~25回の着信音回数を設定します。 ・留守番電話を設定しているときは動作しません。留守番電話を解除すると、再びファクス優先が働きます。 ・設定中は、ディスプレイに [ファクス優先] と表示されます（留守設定時や、おやすみモード設定時は表示されません）。 ・設定中、親機の着信音は [電話ベル音] になります。また、誰からコール、誰あてコール、どこからコールは働きません。	[ファクス優先] (4~25回) [ファクス専用] [設定しない]
[ファクス専用]	すべての着信で、着信音を鳴らさずにファクス受信に切り替わる機能です。自動着信したときから、相手の方に通話料金がかかります。 設定すると、電話を受けることができませんのでご注意ください（電話をかけることはできます）。 ・留守番電話を設定しているときは動作しません。留守番電話を解除すると、再びファクス専用が働きます。 ・設定中は、ディスプレイに [ファクス専用] と表示されます（留守設定時や、おやすみモード設定時は表示されません）。 ・設定中でも、ファクスが受信できない状態のときには着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間に受話器を取れば、電話でお話できます。 ・設定中は、相手の方の受話口に「ピー…ヒョロロ」という音が鳴ります。	
[設定しない]	ファクス優先やファクス専用を使用しないときに設定します。	

特別設定メニューは、 を押したあと、 を4回押して呼び出します。

設定項目	設定の内容	選択項目
[ファクス関連の設定]		
[在宅時応答回数]		
[回数選択]	電話に出られなかったとき、留守設定をしなくても相手先に以下の応答メッセージを流すように設定できます。 [回数選択]を選んで着信音の回数(1~25回)を設定すると、設定した回数の着信音が鳴り終わると相手先にメッセージを流します(自動着信すると、相手の方に通話料金がかかります)。 応答メッセージの内容： 「ただ今近くにおりません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが後程おかけ直しください」 ・着信音の回数を7回以上に設定すると、相手の方が自動送信した場合などに、ファクスに切り替わらないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、自動的にファクスを受けたいときは、着信音の回数を6回以下に設定してください。	[回数選択] (1~25回) [無制限呼出]
[無制限呼出]	電話に出られなかったとき、応答メッセージは流れず、相手が電話を切るまで着信音が鳴り続けます。	
[おまかせ受信]	相手先からファクスが自動送信されているとき(「ポー・ポー・ポー…」と聞こえるとき)、受話器や子機を取ると自動的にファクス受信に切り替える機能の設定ができます。	[あり] [なし]
[縮小受信]	ファクスを印刷するときに、受信日付や相手の方のファクス番号を記入するため、自動的に約93%に縮小して印刷する機能の設定ができます。 ・[なし]に設定すると、相手の方がA4サイズで送信していても、受信日付などの記入でA4サイズを超えるため、こちらでは2枚に分かれて印刷されることがあります。また、白紙が1枚出てくる場合があります。	[あり] [なし]
[発信音検出]	電話帳やワンタッチダイヤル、再ダイヤルを使ってファクスを自動送信するときに、本機が自動的に「ツー」という発信音を検出し、正しく送信できるようにします。 ・自動送信がうまくできないときは、この設定を[なし]にするか、受話器を取って送信してください。	[あり] [なし]
[音関連の設定]		
[親機送話音量切替]	親機での通話時に相手先へ送出される音量を切り替えられます。	[小] [標準] [大]
[子機送話音量切替]	子機での通話時に相手先へ送出される音量を切り替えられます。	[小] [標準] [大]
[子機受話音量切替]	子機での通話時に相手先から聞こえる音量を切り替えられます。 ・通話中に子機の操作で受話音量を切り替えることもできます(☎30ページ)。	[小] [標準] [大]
[子機受話音質切替]	すべての子機の受話音質を一度に調整できます。 ・[低い]を選ぶと低音を、[高い]を選ぶと高音を強調した音質になります。 ・使用中の子機のみ変更したいときは、「子機の通話音質を変える」(☎30ページ)をご覧ください。	[低い] [標準] [高い]
[キータッチ音]	親機のボタンを押したときに鳴る音(キータッチ音)の有無を設定できます。	[あり] [なし]

特別設定メニューは、 を押したあと、 を4回押して呼び出します。

設定項目	設定の内容	選択項目
[電話関連の設定]		
[ナンバー・ディスプレイ]	107 ページをご覧ください。	[使用する] [使用しない]
[キャッチホン]		
[キャッチホン・ディスプレイ]	106 ページをご覧ください。	[使用する] [使用しない]
[キャッチホン切替時間]	キャッチホン利用時に回線を開放する時間を設定できます。 ・ 交換機の種類などによっては、キャッチホン利用時に電話が切れてしまうことがあります。こんなときは、短い時間に設定します。	[0.4秒] [0.6秒] [0.8秒]
[着信らくらく番号登録]	114 ページをご覧ください。	[使用する] [使用しない]
[どこからコール設定]		
[どこからコール]	110 ページをご覧ください。	[使用する] [使用しない]
[地域番号帯登録]	110 ページをご覧ください。	(番号一覧を表示)
[着信通知]	93 ページをご覧ください。	[使用する] [使用しない]
[デカ文字着信]	99 ページをご覧ください。	[使用する] [使用しない]
[時計機能]		
[時計バックアップ]	親機または子機いずれかの日時設定が消えたときに、もう一方から自動的に日時設定を転送する機能を設定できます。 ・ 日時が登録されていないときや、親機の電波範囲内に子機がないときは転送できません。	[使用する] [使用しない]
[子機へ時計送信]	親機に登録されている日時を子機に転送します。 ・ あらかじめ親機の日時を登録しておいてください。 ・ 子機が2つ以上あるときは、子機番号の1から順番に転送します。 ・ 時計転送に対応していない子機を増設した場合は、日付や時刻は転送されません。	(子機へ送信)
[子機から時計受信]	子機1に登録されている日時を親機に転送します。 ・ あらかじめ子機1の日時を登録しておいてください。 ・ 子機1が使用範囲外にあるなどで転送できないときは、子機2から転送します。すべての子機が転送できない状態にあるときは、転送せずに終了します。	(子機から受信)
[ダイヤルライト]	100 ページをご覧ください。	[使用する] [使用しない]
[タッチパネル調整]	125 ページをご覧ください。	(タッチパネルの調整)
[電話帳以外初期化]	138 ページをご覧ください。	[しない] [する]
[デモ起動]	商品紹介用のデモの表示条件を設定できます。	[しない] [する (回線種別連動)] [する (常に実行)]

仕様

外觀・仕様は予告なしに変更することがあります。

■ ファクシミリ部

形名	UX-900CL/UX-900CW 送受信兼用卓上型
使用回線	一般加入電話回線、NCC回線、 Fネット（16Hz対応のみ）
圧縮方式	MH・MR・MMR・独自圧縮
通信モード	G3・ECM *1
走査方式	密着イメージセンサー方式
走査線密度	主：8ドット/mm （普通字、小さな字、精細、写真） 副：3.85本/mm（普通字） 7.7本/mm（小さな字、写真） 15.4本/mm（精細）*2
記録方式	熱転写記録方式
表示装置	4.9型モノクロHVGA液晶ディスプレイ*3 （バックライト付）漢字表記
通信速度	14400 / 12000 / 9600 / 7200 / 4800 / 2400 bit/s ：自動フォールバック
電送時間	約9秒 *4
中間調伝送	有り（64階調）
記録紙 サイズ	A4サイズ
最大記録 有効幅	205mm
最大送信 原稿幅	210mm
読み取り 有効幅	205mm
受信 メモリー	A4標準原稿 約130枚（普通字モード時） *5

■ コードレス部（子機）

充電完了 時間	約10時間
使用可能時間 （充電完了後）	待受時：約200時間 *6 通話時：最大約8時間
表示装置	液晶ディスプレイ 漢字3行+ピクト
増設可能子機	JD-KS100 JD-KS200

■ 電話部

	親機	子機
ダイヤル 形式	押しボタン式パルスダイヤル ／押しボタン式トーンダイヤル	
選択信号 種別	DP信号（10PPS/20PPS） ／PB信号（DTMF）	
呼び出し 方式	トーンリンガー（着信音）呼び出し ／（音量切替式）	
電話帳の 件数	100人分 （32桁以内） ×1番号	100人分 （24桁以内） ×1番号
再ダイヤル の記憶件数	20件	10件

■ SDカード

対応カード 種類	SDメモリーカード miniSDカード *7 microSDカード *7 （最大2GB） SDHCメモリーカード miniSDHCカード *7 microSDHCカード *7 （最大32GB）
フォーマット	SDメモリーカード：FAT16/ FAT12 SDHCメモリーカード：FAT32

*1 本機で送受信できるのは、相手機も G3 規格のファクシミリに限られます。（カラーの送受信はできません）

*2 ITU-T（国際規格）準拠

*3 ピューエリアのサイズです。

*4 A4判700字程度原稿を標準的画質（8×3.85本/mm）で高速モード（14400bit/s）、ECMモードで送ったときの速さです。これは画像情報みの電送速度で、通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。

*5 受信原稿によっては、1枚の受信でメモリーがいっぱいになる場合もあります。

*6 待受時とは、充電完了後、子機を充電器に置かずに、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信音が鳴ったりすると待受時の使用可能時間は短くなります。

*7 本機で使用するときは、SDカードアダプターが必要です。

■ 留守録部

自作応答メッセージ	1件
用件録音時間	約40分（自作応答メッセージ1件、メモリー受信データ、手書きファクス含む）（本体メモリー設定時） 用件ごとに記録する日時スタンプは、別の専用メモリーを使っています。


■ 共通部

	親機	子機	充電器
寸法 幅×奥行×高さ (約/mm)	296×190×88 (受話器、突起部、アンテナを除く) 296×256×279 (記録紙トレイ伸長時 突起部、アンテナを除く)	49×28×176	93×76×27
質量	約 2.3kg (受話器、インクリボンを含む)	約132g (充電池含む)	約132g
電源	A C 100V ±10V 50/60Hz	DC2.4V、600mAh (ニッケル水素電池) *8	入力：A C 100V ±10V 50/60Hz
消費電力 (100VAC)	約0.6W (ディスプレイ非表示の待機時) 約90W (動作時最大)	約0.6W (待機時) 約0.9W (急速充電時)	
直流抵抗	187Ω	—	—
静電容量	1.0μF以下	—	—
使用環境	温度 5℃～35℃ 相対湿度 30%～85%RH		

* 8 充電池はリサイクル可能なニッケル水素電池です。使用済み電池につきましては、お買いあげの販売店までご持参いただき、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

登録／設定早見表

登録／設定項目一覧表（親機）

メニュー  を押したあと、登録・設定の項目を選ぶことができます。

「選択内容」に太字で記載されている項目は、初期設定（工場出荷時の設定）です。

操作	機能名／機能の説明	選択項目	参照ページ
はじめの設定			
① ①	日付・時刻 日付と時刻を登録できます。	(日付・時刻を登録)	30
① ②	発信元番号 (あなたの番号) ファクスを送ったときに記録される発信元番号を登録できます。	登録/消去	31
① ③	発信元名 (あなたの名前) ファクスを送ったときに記録される発信元名を登録できます。	登録/消去	31
① ④	回線種別選択 電話回線の種別を設定できます。	プッシュ回線 (トーン) / ダイヤル回線 (20 PPS) / ダイヤル回線 (10 PPS) / 自動設定	23
① ⑤	液晶濃度調整 液晶ディスプレイの濃度を調整できます。	8段階の濃度 初期設定は 4段階目	100
① ⑥ ①	携帯ととくとくダイヤル設定 → 携帯ととくとくダイヤル 携帯ととくとくダイヤル機能の設定ができます。	NTTコミュニケーションズ0033/その他事業者/ 使用しない	87
① ⑥ ②	携帯ととくとくダイヤル設定 → IP電話利用 IP電話をご利用中、携帯電話への電話だけ自動的に一般回線で電話するように設定できます。	あり/ なし	87
① ⑥ ③	携帯ととくとくダイヤル設定 → 携帯番号帯登録 携帯ととくとくダイヤルの利用対象となる電話番号の頭4ケタを登録/消去できます。	(番号一覧を表示) 0901~0909など複数件登録済み	88
① ⑥ ④	携帯ととくとくダイヤル設定 → 設定内容表示 携帯ととくとくダイヤルの設定内容を表示できます。	(設定を表示)	88
① ⑦ ①	音声操作案内 → 操作ガイド 操作ガイドの音声を流す/流さないの設定ができます。	あり / なし	99
① ⑦ ②	音声操作案内 → その他操作 操作ガイド以外で操作中に流れる音声を流す/流さないの設定ができます。	あり / なし	99
① ⑧	スピーカー音量 親機のスピーカー音量を設定できます。	5 / 5段階~1 / 5段階 初期設定は 3 / 5段階	29

操作	機能名/機能の説明	選択項目	参照ページ
着信音と誰からコール			
② ①	親機着信音量 親機の着信音の大きさを設定できます。	5/5段階～1/5段階/ 着信音量切 初期設定は 3/5段階	29
② ②	親機着信音選択 親機の着信音を設定できます。	電話ベル音/鳥の声/電子音/インベンション/ジュ・ト・プ/シンフォニー 40番/はにゅうの宿/メヌエット/セレナーデ	29
② ③ ①	おやすみ設定 → おやすみ おやすみモードの設定/解除とタイマーの設定ができます。	おやすみ解除/おやすみ開始/タイマー設定	92
② ③ ②	おやすみ設定 → 選んで着信番号登録 おやすみモード設定中でも着信させる電話番号を登録できます。	(番号一覧を表示)	93
② ③ ③	おやすみ設定 → 設定内容表示 おやすみモードの設定内容を表示できます。	(設定を表示)	92
② ④ ①	誰からコール設定 → 誰からコール 着信があったとき、誰からの電話か音声でお知らせする機能の設定ができます。	使用する/使用しない	109
② ④ ②	誰からコール設定 → 誰あてコール 誰あてコールでお知らせする名前を登録できます。	オトウサン/オカアサン/オニイサン/オネエサン/オジイサン/オバアサン/未登録3件	109
② ⑤ ①	鳴り分け時の着信音 → 電話帳 電話帳に登録している方からの着信音の設定ができます。	電話ベル音/鳥の声/電子音/インベンション/ジュ・ト・プ/シンフォニー 40番/はにゅうの宿/メヌエット/セレナーデ/なし	112
② ⑤ ②	鳴り分け時の着信音 → 非通知 非通知からの着信音の設定ができます。		
② ⑤ ③	鳴り分け時の着信音 → 公衆電話 公衆電話からの着信音の設定ができます。		
② ⑤ ④	鳴り分け時の着信音 → 表示圏外 表示圏外からの着信音の設定ができます。		
② ⑥ ①	ダイヤルインの設定 → 番号登録 ダイヤルインに追加する番号を登録できます。	TEL1～TEL5/ファクス (選択して番号登録)	90
② ⑥ ②	ダイヤルインの設定 → 番号消去 ダイヤルインに追加した番号を消去できます。	TEL1～TEL5/ファクス (選択して番号消去)	90
② ⑥ ③	ダイヤルインの設定 → ダイヤルイン機能 ダイヤルイン機能の設定ができます。	使用する/使用しない	90
② ⑥ ④	ダイヤルインの設定 → ファクス時応答回数 ダイヤルインのファクス切替までの着信音の回数を設定できます。	0/2～6回	90
② ⑥ ⑤	ダイヤルインの設定 → ダイヤルイン着信音 ダイヤルインで追加した番号の着信音の鳴り分けを設定します。	TEL2～TEL5/ファクス (選択して着信音設定)	91
② ⑥ ⑥	ダイヤルインの設定 → 設定内容表示 ダイヤルインの設定内容を表示できます。	(設定を表示)	90

操作	機能名／機能の説明	選択項目	参照ページ
電話帳の設定			
③ ①	電話帳登録 親機の電話帳の登録／修正／消去ができます。	新規登録／修正／消去	42
③ ②	ワンタッチダイヤル登録 親機のワンタッチダイヤルを登録／修正／消去ができます。	ワンタッチ1/ワンタッチ2 ワンタッチ3/ワンタッチ4 (選択して登録/修正/消去)	40
③ ③	子機転送 親機の電話帳の内容を子機の電話帳にコピーできます。	全件転送/1件毎転送	50
③ ④	おしゃべり電話帳 電話帳を音声でお知らせする機能の設定ができます。	使用する/使用しない	45
留守番電話の設定			
④ ①	用件録音全消去 録音している用件をすべて消去できます。	消去しない/消去する	55
④ ②	留守時応答回数 → 変更 留守モード時の着信音の回数を設定できます。	1～25回 初期設定は4回	59
④ ③	応答メッセージ 応答メッセージの種類を選択できます。	固定メッセージ1/ 固定メッセージ2/ 自作メッセージ	57
④ ④ ①	外出先での操作 → リモート暗証番号 リモート操作に必要な暗証番号を登録／消去できます。	登録/消去	58
④ ④ ②	外出先での操作 → トールセーバー トールセーバーを使用する/使用しないの設定ができます。	使用する/使用しない	59
④ ⑤	SD自動録音 SD自動録音を使用する/使用しないの設定ができます。	使用しない/ 発着信時/ 着信時/ 発信時	83
着信お断りの設定			
⑤ ①	非通知お断り 「非通知お断り」の設定ができます。	なし/お断り	113
⑤ ②	公衆電話お断り 「公衆電話お断り」の設定ができます。	なし/お断り	113
⑤ ③	表示圏外お断り 「表示圏外お断り」の設定ができます。	なし/お断り	113
⑤ ④	お断り番号登録 「お断り番号」を登録できます。	(番号一覧を表示)	114
⑤ ⑤	チャイム後自動設定 「チャイムでお断り」をしたあとに、自動的にお断りの設定をする/しないの設定ができます。	しない/する	38
⑤ ⑥	あんしんLED 着信時にあんしんLEDのランプを点灯または点滅する/しないの設定ができます。	使用する/使用しない	108
⑤ ⑦	聞いてから応答 着信時に、聞いてから応答画面を自動で表示する/しないの設定ができます。	使用する/使用しない	35
ファクスの受け方			
⑥	ファクス自動受信 ファクス自動受信をする/しないの設定と、自動受信をするときの着信音の回数を設定できます。	自動受信しない/ 自動受信する	70

操作	機能名／機能の説明	選択項目	参照ページ
メモリー残量の表示			
⑦	メモリー残量の表示 ファクス受信や録音できるメモリーの残量を表示することができます。	(メモリー残量を表示)	68
各種全消去			
⑧ ①	用件録音 留守番電話などの録音データをすべて消去できます。	消去しない/消去する	55
⑧ ②	再ダイヤル 再ダイヤルの電話番号をすべて消去できます。	消去しない/消去する	34
⑧ ③	着信記録 着信記録をすべて消去できます。	消去しない/消去する	111
⑧ ④	受信ファクス メモリー受信したファクスデータをすべて消去できます。	消去しない/消去する	74
⑧ ⑤	確認済受信ファクス 確認済みのメモリー受信したファクスデータをすべて消去できます。	消去しない/消去する	74
⑧ ⑥	お断り番号 登録したお断り番号をすべて消去できます。	消去しない/消去する	114
⑧ ⑦	選んで着信番号 選んで着信番号をすべて消去できます。	消去しない/消去する	93
⑧ ⑧	電話帳 登録した電話帳をすべて消去できます。	消去しない/消去する	138
⑧ ⑨	ワンタッチダイヤル 登録したワンタッチダイヤルをすべて消去できます。	消去しない/消去する	41
印刷			
⑨ ①	メニュー設定 (最大6枚) 親機の登録設定の一覧を印刷できます。	しない/する	79
⑨ ②	着信記録 着信記録の一覧を印刷できます。	しない/する	79
⑨ ③	電話帳 電話帳に登録されている相手先の一覧を印刷できます。	しない/する	79
⑨ ④	お断り番号 お断りに登録されている番号の一覧を印刷できます。	しない/する	79
原稿の排出			
⑩	原稿の排出 セットしている原稿を排出できます。	(原稿を排出)	62


特別設定項目一覧表（親機）

メニューを押し、**（#）**を4回続けて押したあと、ダイヤルボタンで登録・設定の項目を選ぶことができます。「選択内容」に**太字**で記載されている項目は、初期設定（工場出荷時の設定）です。

操作	機能名／機能の説明	選択項目	参照ページ
留守番電話関連の設定			
① ①	応答メッセージ待ち時間 応答メッセージが流れるまでの時間を設定できます。	1 秒/2 秒/ 4 秒 /8 秒	139
① ②	発信音待ち時間 応答メッセージが終わってから、「ピー」という録音開始音が流れるまでの時間を設定できます。	1 秒/2 秒/ 4 秒 /8 秒	139
① ③	お声拝聴 留守録設定中の応答メッセージと、相手の方の録音中の声をスピーカーから出力する設定ができます。	あり /なし	139
① ④	留守録音時間 留守録の録音時間を設定できます。	30 秒 /1 分/2 分	139
① ⑤	戻って録音時間 戻って録音の録音時間を設定できます。	1 分/3 分/ 15 分	99
ファクス関連の設定			
② ①	ファクス受信方法 ファクスの受信方法を設定できます。	見てからプリント / メモリー受信 / 記録紙受信	139
② ②	受信モード お使いの状況に合わせて、ファクスの受信モードを設定できます。	ファクス優先 / ファクス専用 / 設定しない	139
② ③	在宅時応答回数 留守設定せずに自動でファクスを受けるときの着信音の回数を設定できます。	回数選択（1～25回） / 無制限呼出	140
② ④	おまかせ受信 相手の方がファクスを送信したときの音が聞こえると、自動でファクス受信に切り替える設定ができます。	あり /なし	140
② ⑤	縮小受信 ファクスを印刷するときに、日時を印刷するために自動でファクスを縮小して印刷する設定ができます。	あり /なし	140
② ⑥	発信音検出 ファクスを自動送信するときに、「ツー」という発信音を検出してから送信する設定ができます。	あり /なし	140
音関連の設定			
③ ①	親機送話音量切替 親機の送話音量を変更できます。	小/標準/大	140
③ ②	子機送話音量切替 子機の送話音量を変更できます。	小/標準/大	140
③ ③	子機受話音量切替 子機の受話音量を変更できます。	小/標準/大	140
③ ④	子機受話音質切替 子機の受話音質を変更できます。	低い/標準/高い	140
③ ⑤	キータッチ音 キータッチ音のあり/なしを設定できます。	あり /なし	140

操作	機能名/機能の説明	選択項目	参照ページ
電話関連の設定			
④ ①	ナンバー・ディスプレイ ナンバー・ディスプレイを使用する/しないの設定ができます。	使用する/使用しない	107
④ ② ①	キャッチホン → キャッチホン・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイを使用する/しないの設定ができます。	使用する/使用しない	106
④ ② ②	キャッチホン → キャッチホン切替時間 キャッチホンの操作で電話が切れてしまうときなど、キャッチホンの切替時間を変更できます。	0.4秒/0.6秒/0.8秒	141
④ ③	着信らくらく番号登録 着信した相手先の番号を、電話帳やお断り番号に登録できる機能のあり/なしを設定できます。	使用する/使用しない	114
④ ④ ①	どこからコール設定 → どこからコール どこからコールの設定ができます。	使用する/使用しない	110
④ ④ ②	どこからコール設定 → 地域番号帯登録 地域番号の登録や消去ができます。	(番号一覧を表示)	110
④ ⑤	着信通知 着信通知を使用する/使用しないを設定できます。	使用する/使用しない	93
④ ⑥	デカ文字着信 着信時の文字の大きさを変更できます。	使用する/使用しない	99
時計機能			
⑤ ①	時計バックアップ 時計転送を使用する/しないの設定ができます。	使用する/使用しない	141
⑤ ②	子機へ時計送信 親機の日時設定を子機へ送信(転送)できます。	(子機へ日時を送信)	141
⑤ ③	子機から時計受信 子機の日時設定を受信(転送)できます。	(子機から日時を受信)	141
ダイヤルライト			
⑥	ダイヤルライト 電話をかけるときなどにダイヤルボタンを点灯させる機能の設定ができます。	使用する/使用しない	100
タッチパネル調整			
⑦	タッチパネル調整 タッチパネルの調整ができます。	(タッチパネルの調整)	125
電話帳以外初期化			
⑧	電話帳以外初期化 電話帳を除くすべての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。	しない/する	138
デモ起動			
⑨	デモ起動 商品紹介用のデモの表示条件を設定できます。	しない/する(回線種別連動)/する(常に実行)	141

機能項目一覧表（子機）

 を押したあと、登録・設定できる項目の一覧です。

機能名		機能の説明	参照ページ
留守番電話	用件再生	録音されている内容を再生できます。	56
	留守設定切替	留守番電話を設定できます。	54
	録音全消去	留守録メッセージをすべて消去できます。	56
電話帳	電話帳登録	子機の電話帳に登録できます。	44
	ワンタッチ登録	子機のワンタッチダイヤルに登録できます。	41
	電話帳全転送	電話帳を親機や別の子機に転送できます。	51
着信音量		着信音の大きさを変更できます。	29
着信音色		着信音の種類を変更できます。	30
着信鳴り分け		着信鳴り分け機能の設定ができます。	91、113
システム設定	日時登録	日付・時刻を登録できます。	30
	キータッチ音出力	ボタン操作音の設定ができます。	100
	クイック通話	クイック通話の設定ができます。	100
	使用者表示	子機の使用者名を登録できます。	31
	液晶濃度調整	液晶の濃度を調整できます。	100
	ダイヤルライト点灯	ダイヤルライトを点灯させるかどうかの設定ができます。	100
	登録初期化	登録・設定した内容をすべて工場出荷時の状態に戻すことができます。	138
全消去	再ダイヤル	再ダイヤルをすべて消去できます。	35
	着信記録	着信記録をすべて消去できます。	112
	電話帳	電話帳をすべて消去できます。	44
	ワンタッチ	ワンタッチ登録をすべて消去できます。	42

リモート操作手順カード

外出先から録音メッセージを聞きたいとき（リモート操作 58ページ）は、下記の手順カードを切り取ってお使いください。

停止中	録音内容を聞く	① #
	再生済みの録音を消す	0 ① #
	録音内容をすべて消す	0 ② #
	留守を設定／解除する	⑥ #

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

- リモート操作には暗証番号を使います。
- リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。
（ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は、電話をかけてからトーン信号に切り替えます。）
- 詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

SHARP®

停止中	録音内容を聞く	① #
	再生済みの録音を消す	0 ① #
	録音内容をすべて消す	0 ② #
	留守を設定／解除する	⑥ #

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

- リモート操作には暗証番号を使います。
- リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。
（ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は、電話をかけてからトーン信号に切り替えます。）
- 詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

SHARP®

停止中	録音内容を聞く	① #
	再生済みの録音を消す	0 ① #
	録音内容をすべて消す	0 ② #
	留守を設定／解除する	⑥ #

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

- リモート操作には暗証番号を使います。
- リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。
（ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は、電話をかけてからトーン信号に切り替えます。）
- 詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

SHARP®

〈いろいろなりリモート操作をするには〉

1. 電話をかける
2. 応答メッセージが聞こえたら→**Ⓜ**を押す。
3. 応答メッセージが止まったら→**〇〇〇〇**
(暗証番号)と**Ⓜ**を押す。
4. **①** **Ⓜ**を押す。



新しい用件(ファクス本体の留守ボタンを押してまだ聞いていない用件)が再生されます。

再生中	再生中の用件を聞き直す	③ Ⓜ
	1件前の用件を聞き直す	③ Ⓜ ③ Ⓜ
	次の用件を聞く	④ Ⓜ
	再生を途中で止める	⑤ Ⓜ
	本体メモリー設定時	
	早聞きや遅聞きをする (押すたびに「早聞き」→「遅聞き」→ 「通常の再生」→…)	① Ⓜ
	SDカード設定時 10秒戻す	⑧ Ⓜ
	SDカード設定時 30秒進める	⑨ Ⓜ

〈いろいろなりリモート操作をするには〉

1. 電話をかける
2. 応答メッセージが聞こえたら→**Ⓜ**を押す。
3. 応答メッセージが止まったら→**〇〇〇〇**
(暗証番号)と**Ⓜ**を押す。
4. **①** **Ⓜ**を押す。



新しい用件(ファクス本体の留守ボタンを押してまだ聞いていない用件)が再生されます。

再生中	再生中の用件を聞き直す	③ Ⓜ
	1件前の用件を聞き直す	③ Ⓜ ③ Ⓜ
	次の用件を聞く	④ Ⓜ
	再生を途中で止める	⑤ Ⓜ
	本体メモリー設定時	
	早聞きや遅聞きをする (押すたびに「早聞き」→「遅聞き」→ 「通常の再生」→…)	① Ⓜ
	SDカード設定時 10秒戻す	⑧ Ⓜ
	SDカード設定時 30秒進める	⑨ Ⓜ

〈いろいろなりリモート操作をするには〉

1. 電話をかける
2. 応答メッセージが聞こえたら→**Ⓜ**を押す。
3. 応答メッセージが止まったら→**〇〇〇〇**
(暗証番号)と**Ⓜ**を押す。
4. **①** **Ⓜ**を押す。



新しい用件(ファクス本体の留守ボタンを押してまだ聞いていない用件)が再生されます。

再生中	再生中の用件を聞き直す	③ Ⓜ
	1件前の用件を聞き直す	③ Ⓜ ③ Ⓜ
	次の用件を聞く	④ Ⓜ
	再生を途中で止める	⑤ Ⓜ
	本体メモリー設定時	
	早聞きや遅聞きをする (押すたびに「早聞き」→「遅聞き」→ 「通常の再生」→…)	① Ⓜ
	SDカード設定時 10秒戻す	⑧ Ⓜ
	SDカード設定時 30秒進める	⑨ Ⓜ

保証とアフターサービス（よくお読みください）

ご相談いただく前に・・・

- ①116～136ページの「こまったときは」をご覧ください。
- ②ファクシミリサポートページの「Q&A情報」や「故障診断ナビ」をご活用ください。

ファクシミリサポートステーション
<http://www.sharp.co.jp/support/fax/index.html>

保証書（☎163ページ）

- ・ 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- ・ 当社は、デジタルコードレスファクシミリの補修用性能部品を製品の製造打切後、5年保有しています。
- ・ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

不明な点や修理に関するご相談は

- ・ 修理サービスや使いかた、お手入れなどのご相談は、まずお買いあげの販売店へご相談ください。
- ・ ご転居や贈答品でお買いあげの販売店が分からない場合は、お客様ご相談窓口へご相談ください。

ご購入店	
電話番号	— —
お買いあげ日	年 月 日

- ・ お買いあげの際に、ご記入いただくことをおすすめします。

修理を依頼されるときは 持込修理

- ・ 「こまったときは」（☎116～136ページ）を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。
- ・ 故障や修理の際に、お客様が登録した電話帳などのデータが変化・消失する場合がありますので、大事なデータは「登録した内容を印刷する」（☎79ページ）などの機能を使用して、控えをとっておくことをおすすめします。
データが変化・消失した場合の損害につきまして、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って当社が修理させていただきます。


保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料金（出張修理の場合）などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

長年ご使用のデジタルコードレスファクシミリの点検を！	
愛情点検 	このような症状はありませんか？ <ul style="list-style-type: none">●電源コードが異常に熱い●コゲくさい臭いがする●電源コードに深いキズや変形がある●その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ずお買いあげの販売店にご依頼ください。なお、点検・修理に関する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようおかけください。

お電話では、次の内容をお知らせください。

・「品名（デジタルコードレスファクシミリ）」、「形名（UX-900CLまたはUX-900CW）」

・必要に応じて、本機の使用環境をお尋ねします。

（例：お使いの電話回線の回線種別、IP電話や ひかり電話などをお使いかどうか、NTTのナンバー・ディスプレイをご契約されているかどうか）

ファクス送信される場合は、製品の品名、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。

【お客様ご相談窓口における個人情報の取り扱いについて】

お客様ご相談窓口へお問い合わせいただいた場合、お客様のご相談内容を正確に把握し、適切に対応するため、当社では通話内容を録音させていただいております。

<個人情報利用目的>

お客様ご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応を実施するためのみを目的として利用します。

<個人情報の取り扱い>

当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務を委託する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。なお、当社の個人情報保護基本方針については、下記の当社ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.sharp.co.jp/privacy-j.html>



メールでのお問い合わせなど【シャープサポートページ】

<http://www.sharp.co.jp/support/>

■よくあるご質問などもパソコンから検索できます。



使用方法のご相談など【お客様相談センター】おかけ間違いのないようご注意ください。

受付時間（年末年始を除く） ●月曜～土曜：9:00～18:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

 **0120 - 663 - 700**

携帯電話からは、ナビダイヤル

 **0570 - 550 - 194**

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電 話	FAX
06 - 6792 - 1583	06 - 6792 - 5993
〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町 3-1-72	



修理のご相談など【修理相談センター】おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間 (年末年始を除く) ●月曜～土曜: **9:00～20:00** ●日曜・祝日: **9:00～17:00**

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120 - 02 - 4649

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570 - 550 - 447

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

	電話	FAX
東日本地区	043 - 299 - 3863	043 - 299 - 3865
西日本地区	06 - 6792 - 5511	06 - 6792 - 3221

持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口（サービスセンター/テクニカルセンター）でも承っております。


受付時間 (祝日など弊社休日を除く) ●月曜～土曜: **9:00～17:40** ただし、沖縄地区は 月曜～金曜: **9:00～17:40**

北海道	・札幌 011-641-4685 〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7丁目3-17	中部	・静岡 054-344-5781 〒424-0067 静岡市清水区鳥坂1170-1	近畿	・大阪 06-6794-5611 〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
	・仙台 022-288-9142 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27		・名古屋 052-332-2623 〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5		・広島 082-874-8149 〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
東北	・宇都宮 028-637-1179 〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41	近畿	・金沢 076-249-2434 〒921-8801 野々市市御経塚4-103	四国	・高松 087-823-4901 〒760-0065 高松市朝日町6-2-8
関東	・東東京 03-5855-0432 〒114-0012 北区田端新町2-2-12		・京都 075-672-2378 〒601-8102 京都市南区上烏羽菅田町48		・福岡 092-572-4652 〒812-0881 福岡市博多区井相田2-12-1
	・横浜 045-753-4647 〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23	・阪神 06-6422-0455 〒661-0981 尼崎市猪名寺3-2-10	・沖縄	・那覇 098-861-0866 〒900-0002 那覇市曙2-10-1	

- ・お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
- ・所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2013年11月現在)

さくいん

【あ】

ISDN (アイエスディーエヌ)	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	123
他の機器との接続例	24
IP 電話	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	123
IP 電話利用	87
携帯ととくとくダイヤルの設定	87
他の機器との接続例	24
アクセントを変更する	
おしゃべり電話帳	45
誰あてコール	110
アドレス帳  電話帳	
アフターサービス	155
アラーム	94
あんしん LED	108
今から録音	97
インクリボン	
インクリボンのご購入は	137
インクリボンを交換する	134
使用済みのインクリボンを捨てるときは	135
印刷	77
ADSL (エーディーエスエル)	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	123
他の機器との接続例	24
液晶ディスプレイ	16、17
液晶濃度調整	100
SD カード	
SD カードが使えない	122
SD カードにデータを保存する	84、85
使用できる SD カード	80
取り付けかた	82
SD 自動録音	83
エラー表示	130
選んで着信	93
応答メッセージ	57
応答メッセージ待ち時間	139
お気に入りスタート画面	28
お客様ご相談窓口	156
お断り番号登録	114
おしゃべり電話帳	45
お手入れ	133
お問い合わせ	156
お待たせ (保留)	32
おやすみモード	92
オリジナルメッセージ (自作メッセージ)	57
音質	30、140
音声操作案内	99
オンフックダイヤル	32
音量	
親機の受話音量を変える	29
親機のスピーカー音量を変える	29
親機の着信音量を変える	29
子機の受話音量を変える	30、140
子機のスピーカー音量を変える	30
子機の着信音量を変える	29
こちらの声が相手に聞こえにくいときは	118

【か】

回線種別	23
------	----

外線リモート	58
書き加えてファクスを送る	75
画質を選ぶ	63
紙づまり	127
画面	16、17
キータッチ音 (キータッチトーン)	100、140
聞いてから応答	36
キーロック	99、100
キャッチホン	105、141
キャッチホン・ディスプレイ	105、141
記録紙	
記録紙がつまったときは	129
記録紙に白や黒の線が入るときは	126
記録紙をセットする	76
記録紙受信	68、139
クイック通話	100
区点コード	142
クリア	
強制リセット	136
電話帳以外初期化	138
電話帳消去	138
登録初期化	138
携帯ととくとくダイヤル機能	
IP 電話利用	87
携帯番号帯登録	88
設定/解除する	87
設定内容表示	88
原稿	
原稿がつまったときは	127
原稿の排出	62
原稿をセットする	60
セットできる原稿のサイズ	63
公衆電話お断り	113
コピー	78

【さ】

再起動	136
再生	55
再ダイヤル	
再ダイヤルの記録を消去する	34
再ダイヤルの記録を電話帳に登録する	43、44
電話をかけ直す	34
ファクスを送る	62
3 者通話	39
時刻設定	30
自作メッセージ	57
自動受信 (ファクス)	
自動的にファクスを受ける	70
電話に出ないで自動で受ける	92、139
留守設定にする	54
充電	27
修理	155
受信する (ファクス)	69
仕様	144
消耗品	137
初期化する	138
スピーカーホン通話	32、34
清掃する	126、133
操作ガイド	17
送信する (ファクス)	60
増設子機	88
相談窓口	156

【た】	
ダイヤルインの設定	90
誰あてコール	109
誰からコール	109
チャイムでお断り	38
着信お断り	113
着信音	
親機の着信音の種類を変える	29
親機の着信音量を変える	29
子機の着信音の種類を変える	30
子機の着信音量を変える	29
着信音の回数を変える	59、70、139、140
着信記録	111
着信通知	93
着信鳴り分け	112
着信メロディ  着信音	
着信らくらく番号登録	114
通話音質	30
ディスプレイの濃度	100
停電時の動作	125
手書きファクス	64
手書きメモ	94
伝言メモ	97
転送	
電話帳の転送	50
電話をとりつぐ	39
電話がかけられないときは	116
電話帳	
SDカードにバックアップを取る	85
転送する	50
電話をかける	33、49
登録する	42、44
登録した内容を印刷する	79
ファクスを送る	62
電話をかける	
再ダイヤルで電話をかける	33、34
着信記録で電話をかける	33、111
電話帳で電話をかける	33、49
電話をとりつぐ	39
ドアホン通話	101、104
登録初期化	138
登録/設定早見表	146
トーン(プッシュホン)	23
トーン信号(プッシュ信号)	32
時計	30
時計バックアップ(時計転送)	141
どこからコール	109
とりつき転送	39

【な】	
内線通話	39
ナンバー・ディスプレイ	107
ネーム・ディスプレイ	115

【は】	
バックアップ	
受信ファクスデータ	85
電話帳	85
録音データ	85
発信元番号(あなたの番号)	31
発信元名(あなたの名前)	31
光回線	24

ひかり電話	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	123
他の機器との接続例	24
非通知	107、113
日付・時刻設定	30
表示	16、17
表示圏外お断り	113
ファクス専用	139
ファクスそのまま転送	73
ファクス優先	139
ファクスを受信する	69
ファクスを送信する	60
不在着信	93
付属品	6
プッシュ信号(トーン信号)	32
別売品	137
ポーズ(待ち時間)	32
保証	155
保留	32

【ま】	
待受画面	28
窓口	156
見たままプリント	77
見てからプリント	71
迷惑電話拒否機能(迷惑電話お断り)	38
メッセージでお断り	38
メモリー残量表示	55、68
メモリー受信	68、139
文字入力	46
モデムダイヤルインサービス	89
戻って録音	98

【ら】	
リセット(強制的に初期状態にする)	136
リダイヤル(再ダイヤル)	33、34
留守番電話	54
録音する	
通話中の会話を録音する	97
通話内容をさかのぼって録音する	98
通話内容をまるごと録音する	83
伝言メモを録音する	97
留守録設定時の応答メッセージを録音する	57
録音でお断り	38
録音を聞く	55

【わ】	
ワンタッチダイヤル	
電話をかける	33、41
登録する	40、41

製品登録の
お願い

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、〈SHARP i CLUB〉で
ご愛用製品の登録をお願いいたします。（登録無料）

<http://iclub.sharp.co.jp/m/>

スマートフォンや
携帯電話はこちらから



メールでのお問い合わせなど
【シャープサポートページ】

シャープ お問い合わせ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/>

こんなときは、取扱説明書で再度ご確認ください。

- ・ お買いあげ後の接続や設定のしかた（☞ 20ページ）
- ・ 電話がかからないときは（回線種別の設定 ☞ 23ページ）
- ・ 携帯電話に電話がかからないときは（☞ 117ページ）
- ・ 子機の通話中に雑音が入ったり声が途切れるときは（☞ 11ページ）
- ・ ナンバー・ディスプレイサービス、キャッチホン・ディスプレイサービスに関する
お問い合わせ、お申し込み先
NTT窓口 TEL：局番なしの 116（通話料金無料）
- ・ 本機が正しく動かないなどお困りのときは、116～136ページをご覧ください。



ビジュアルガイド

FAXの操作方法を動画で案内します。

左記QRコードをスマートフォンやタブレット端末の
バーコードリーダーで読み取ってください。
QRコードが読み取れない場合、パソコンで確認される場合は、
アドレスを直接入力してください。

<http://www.sharp.co.jp/support/visualguide/index.html#FAX>

※当サイト及び動画の試聴は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。パケット定額
サービスにご加入でないお客様は、高額になる可能性がございますのでご注意ください。

取扱説明書をご確認いただいても解決しないときは、156ページをご覧ください、
お客様相談センターへご連絡ください。

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号

デジタル情報家電事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地
モバイルソリューション事業部



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、
本製品がエネルギースタープログラムの基準に適合していると
判断します。

